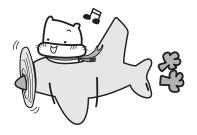
Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書『活用例集』

品番 CF-X1 シリーズ

パソコンを楽しく便利に使いこなすための活用例を紹介しています。

パソコンがおもしろくなる

活用例集

本書のほかに…

はじめましてパソコン
知っておいてほしいこと・必ずやってほしいこと・パソコンの基本のほか、パソコンによって広がる世界について紹介しています。

一問一答集
パソコンの一般的な操作方法やよくある質問を紹介しています。

説明書の使い分け

まず、最初に
ご覧ください。

『はじめましてパソコン』

パソコンを安全にお使いいただくための大切な情報や、必ずしていただきたいこと、パソコンの基本操作を説明しています。

文字入力やファイル操作などは『はじめましてパソコン』だね。

暮らしにパソコンを
活かす本です。

本書

『活用例集』

パソコンに入っているたくさんのアプリケーション。
こんなことがしたいときはどの機能を使うのか、ひととおりの基本操作を説明、紹介しています。
各アプリケーションについての詳しい使いかたは、アプリケーションに用意されているオンラインマニュアルやヘルプ（いずれも画面で見る説明）をご覧ください。

パソコンの一般知識と
困ったときの対処法
はこちらへ！

『一問一答集』

本機各部の働き・充電方法・CDのセットなどディスクやドライブの知識・周辺機器・オンラインマニュアルなどについてや、インターネットにつながらないとき、パソコンが思うように動かないときの対処方法をQ&A形式で説明しています。

下記のアプリケーションのお問い合わせ先については、8ページをご覧ください。

- 蔵衛門8 デジブック for パナソニック
- BeatJam X-TREME PLAYER
- 駅すぱあと
- 印刷工房2001for パナソニック
- 筆ぐるめ
- MobileEditor 2000
- VirusScan（操作方法は 『一問一答集』）
- MotionDV STUDIO/ DV@Talk
- WinDVD 2000 ＜DVD-ROMドライブ搭載機種のみ＞
- B's Recorder GOLD/ B's CLiP については161ページをご覧ください。

この説明書での約束ごと

キーの表記

・キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。

（例） N み

N と書かれていたら N み を押して「N」を入力する意味です。

み と書かれていたら N み を押して「み」を入力する意味です。

・あるキーを押しながら、別のキーを押すような操作の説明は、次のように「＋」を使って表記します。

（例） Fn + F5 ：Fn を押しながら F5 を押すという意味です。

参照先の表記

参照してほしいページ・項目・他の説明書などがある場合は、 の後に参照先を記載しています。

（例） 本書 24 ページ

本書「インターネットにつなごう」

『はじめましてパソコン』「使う前の準備」

画面やイラスト

本文中の画面やイラストは一例です。一部実際と異なる場合があります。

機種によって説明が異なる場合

（例）

<DVD-ROM ドライブ搭載機種のみ >： DVD-ROM&CD-R/RW 一体ドライブを搭載している CF-X1FR、CF-X1FM には「DVD-ROM ドライブ」についての説明がすべてあてはまります。CD-R/RW ドライブを搭載している CF-X1FW にはあてはまりません。

お願い

蔵衛門 8 デジブック for パナソニックの表記について

以降のページでは、略して「蔵衛門デジブック for パナソニック」または「蔵衛門デジブック」と表記します。

デスクトップのアイコンに表示されるアプリケーション名について

正式なアプリケーション名と異なる場合があります。

(例） 正式名称　蔵衛門 8 デジブック for パナソニック

アイコンの表示　蔵衛門デジブック for パナソニック

もくじ

画　像

（つづき）

つくる

インターネット・メール

(95ページ)

いろいろ
（137 ページ）

アプリケーションのお問い合わせ先一覧

(2001年4月現在)

お願い

アプリケーションが正常に動作しない場合、まず、オンラインマニュアルやヘルプを十分にご確認ください。
また、同時に付属の取扱説明書『一問一答集』もよくお読みください。

● BeatJam X-TREME PLAYER
（株）ジャストシステムサポート窓口
TEL: 東京 03-5412-8205 大阪 06-6886-8205

●筆ぐるめ
富士ソフトＡＢＣ（株）インフォメーションセンター
受付時間:9:30-12:00 13:00-17:00
土・日・祝日・富士ソフトABC指定休業日を除く
TEL: 03-5600-2551 FAX :03-3634-1322
E-mail: users@fsi.co.jp （電話がつながりにくい場合はFAX、E-mailをご利用ください）

●蔵衛門デジブック for パナソニック
トリワークス（株）
TEL: 044-813-7597（平日10:00-12:00 13:00-17:00 サポート専用）
FAX: 044-813-6976（24時間受付）
E-mail:support@triworks.com（メール入力例：本書67ページ[ヘルプ]の[お問い合わせ]をご参照）

●駅すぱあと
株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター
TEL: 03-5373-3522 E-mail: support@val.co.jp
FAX: 03-5373-3523

●印刷工房2001for パナソニック
ヒサゴテクニカルサポートセンター
TEL: フリーダイヤル 0120-135-666（10:00-16:00／土・日・祝日を除く）
FAX: 052-936-1343
インターネット（ソフトウェアサポート） http://www.hisago.co.jp/software/support_1.htm

● B's Recorder GOLD（本書161ページ）

● VirusScan
日本ネットワークアソシエイツ株式会社 テクニカルサポート
TEL: 03-3379-7770

● MobileEditor 2000
株式会社ハル・コーポレーション ユーザー・サポートセンター
TEL: 03-5642-6780 E-mail: support@halcorp.co.jp

●MotionDV STUDIO/DV@Talk
ナショナルパナソニックお客様ご相談センター
TEL: （フリーダイヤル） 0120-878-365 受付時間： 9時～20時、365日（年中無休）

● WinDVD 2000＜DVD-ROMドライブ搭載機種のみ＞
WinDVD 2000のご使用にあたって、なにか問題が発生した場合は、まず、インタービデオジャパンのホームページ（http://www.intervideo.co.jp）にあるFAQ(よくある質問)をご参照ください。ここに問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、下記のサポートセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際には、必ず、お使いのパソコンの状況をご連絡ください。

- InterVideo Japan Inc.
  〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-5-3 ダイアモンドパレス 415
  http://www.intervideo.co.jp
- ユーザサポート:
  E-mail: support@intervideo.co.jp
  TEL: (03) 3343 - 2838 Fax :(03) 5325 - 4169
  受付時間：月～金 9:30 ～ 17:00(12:00 ～ 13:30 および祝祭日休み)

●そのほかのアプリケーション
『はじめましてパソコン』「保証とアフターサービス」に記載されている「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」までお願いいたします。

パソコンがCDプレーヤーに！

お気に入りの曲をききながらパソコンが使えます。

マイベストソング集づくりに挑戦しよう！

ご自分の音楽CDをパソコンに録音。
好きな曲を好きな順番でCDやMDに書き込み、自分専用のベストソング集がつくれます。

音楽CDをきこう

Windows Media Player/本体の操作パネル

お気に入りの音楽をききながら、パソコンが使えます。
また、Windowsが起動していないときでも、本体の操作パネルで音楽CDをきくことができます。

音楽をききながらパソコンを使うとき

1 パソコンの電源を入れた状態で、音楽CDをセットする。

CDのセット/取り出し
『一問一答集』

しばらくするとWindows Media Playerが起動し、再生が始まります。

そのほかの起動のしかた
デスクトップの[Windows Media Player]アイコンをダブルクリックします。

2 Windows Media Playerを終わる。

お願い
音楽CDを取り出すときは、必ず、再生を停止し、アクセスランプが消えたことを確認して取り出してください。

Windows Media Playerのさらに詳しい使いかたについては、「ヘルプ」をご覧ください。

本体の操作パネルを使うとき

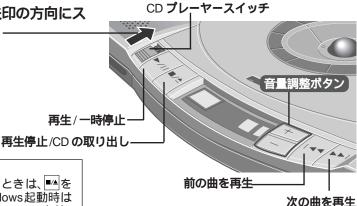
<再生する場合>

1 **CDプレーヤースイッチを矢印の方向にスライドして「ON」にする。**

2 **音楽CDをセットする。**

本書 10 ページ

3 **[▶/II] を押す。**

再生が始まります。

> **CD の取り出し**
> Windows が起動していないときは、[■/▲]を押して取り出します。（Windows起動時は前ページの「取り出しボタン」のみ有効）

<再生を停止する場合>

1 **[■/▲] を押す。**

2 **アクセスランプが消えたことを確認し、音楽CDを取り出す。**

3 **CDプレーヤースイッチを矢印の方向にスライドして「OFF」にする。**

操作パネルを使わないときは、誤動作防止のため速やかに、CD プレーヤースイッチを「OFF」にしてください。

> **Windows が起動しているとき**
> 操作パネルは、次のアプリケーションで使用できます。
> （音量調整ボタン[+] [−]はアプリケーションにかかわりなく、使用できます。）
> - Windows Media Player（音楽 CD 再生時のみ）
> - DV キャプチャー（動画の再生時 本書 48 ページ）
> - WinDVD 2000（DVD-ROM ドライブ搭載機種のみ。DVD ビデオの再生時）
>
> **Windows が起動していないとき** *
>
> ＊スタンバイ、休止状態を含みます。
>
> - 音楽 CD のみ再生することができます。
> - 下記のボタンの動作が、上記<再生する場合>の説明と異なります。
>
> [|◀◀] ：再生中に押すと、その曲の先頭に戻ります。もう 1 回押すと、前の曲の再生が始まります。
>
> **連続再生時間は、約 6 時間 * です**
>
> ＊「Windows の終了」から「終了」を選んでパソコンの電源を切った状態で、満充電状態のバッテリーパックを使用し最大音量で連続再生した場合

バッテリーパックを使っての再生時（パソコンの電源は「切」の状態）、CD プレーヤースイッチを「ON」にしたまま10分間放置すると、省電力のため自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。この後再生する場合は、いったんCDプレーヤースイッチを「OFF」にした後、CDプレーヤースイッチを「ON」にしてください。

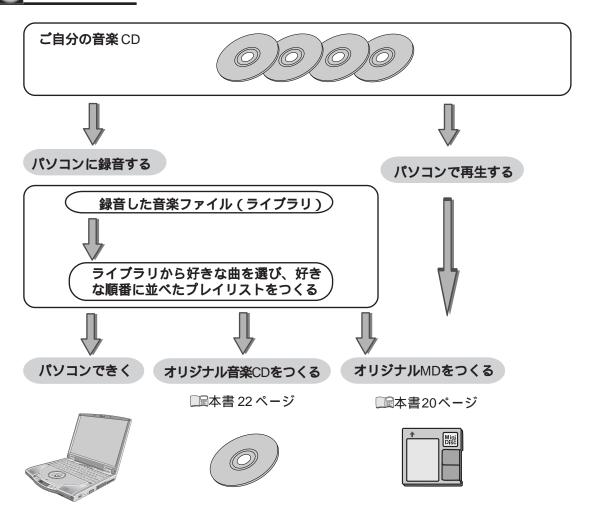
マイベストソング集をつくろう

BeatJam X-TREME PLAYER

BeatJam X-TREME PLAYER（以後、「BeatJam」と記載）を使って、ご自分の音楽CDをパソコンに録音。お好きな曲をお好きな順番に並べてパソコンできくのはもちろん、CDやMDに書き込み、自分専用のベストソング集をつくれます。

操作の流れ

本書 22 ページ

本書20ページ

著作権に気をつけて！

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■著作権について

●放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
従って、それらから録音したCD(CD-R)やMD、テープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

●使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) の本部または最寄の支部（本書 169ページ）にお尋ねください。

BeatJam X-TREME PLAYER を起動する

1 他の音楽アプリケーションを使用している場合、終了する。

2 デスクトップの をダブルクリックする。

ミニプレーヤーが表示されます。

音楽 CD の再生

ミニプレーヤーで音楽 CD を再生する場合は、次のようにします。

①[Menu]→[CD]をクリックし、プレーヤーのボタンを操作します。

：再生を開始します。

：再生中に押すと、再生を一時停止します。

：再生を停止します。

：前の曲へ。

：次の曲へ

：音量を大きく。

：音量を小さく。

この章で出てくるパソコンの音楽用語

- WAVE 形式：Windows で一般的に使われている音楽データ形式です。
- WMA 形式：Windows Media Technologiesの音声フォーマットです。WMA形式のファイルには著作権保護のためにデジタル IDが付加されます。（音楽CDに書き込んできくことができません。）ファイルサイズはWAVE形式の約 1/10 になります。
- MP3 形式：音声圧縮規格の 1 つ、MPEG Audio Layer-3 の略です。MP3 は高音質のまま、ファイルサイズがWAVE形式の約1/10に圧縮されるので、パソコンで音楽を楽しむのに便利です。また、ポータブル MP3 プレーヤーでも楽しめます。本機では、MP3 形式の音楽ファイルを再生できますが、MP3 形式で録音することはできません。
- CD TEXT：CD TEXT対応のCDプレーヤーやカーオーディオに表示するためにつくられた、曲名やアーティストの文字情報です。
- ライブラリ：音楽CDから録音して作成された音楽ファイルが登録されるところです。
- プレイリスト：ライブラリの音楽ファイルの中から好きなものを再生したい順に並べたリストです。

音楽 CD をパソコンに録音する

音楽 CD の曲をパソコンのハードディスクに音楽ファイルとして保存します。1 曲（トラック）が 1 ファイルとして保存されます。録音時に音楽ファイルの形式を、WAVE または WMA 形式のどちらかに指定できます。（MP3形式で録音することはできません。ファイルの形式については📖本書 13 ページ）

保存した音楽ファイルから音楽 CD をつくる場合
パソコンへの録音時に、必ず、WAVE 形式を指定して音楽ファイルをつくってください。
WMA 形式の音楽ファイルは、CD-R に書き込むことができません。（📖本書 22 ページ）

1 BeatJamのメインプレーヤーを表示する。

クリック
メインプレーヤーが表示されます。

2 CDの情報を表示する。
＜メインプレーヤー＞

このアプリケーションに収録されているサンプルファイル

① [CD]を クリック

② 音楽CDをドライブにセットする。（📖『一問一答集』）
以前に BeatJam で曲の情報を入力した音楽 CD や CD TEXT（📖本書 13 ページ）の情報を含む音楽CDの場合は、曲の情報が表示されます。この場合、次ページ手順 *4* に進んでください。

③ [編集]を クリック

インターネット上のサーバーに作られた音楽 CDのデーターベース CDDB から、曲名などの情報を入力することができます。詳しくは「ヘルプ」をご覧ください。（📖本書 19 ページ）

3 必要に応じて、曲の情報を入力する。

① ゆっくり2回クリックして、アルバム名を入力 する。（2回クリックすると、文字が入力できる状態になります。）

② トラック一覧の曲を１曲ずつ選び、タイトルの入力欄にその曲名を入力する。

③ アーティスト名を入力する。

④ ▼をクリックして、ジャンルを選ぶ。

⑤ ［閉じる］を クリック

4 録音する形式やファイルを指定する。

[オプション]を クリック

オプション

録音 | 保存 | CDドライブ | CDDB | 関連付け | 再生

ファイル形式(T) WAV (Windows Wave File)

形式(S) 44.100Hz, 16 ビット, ステレオ

OK | キャンセル

1 クリックして、録音するファイル形式を選ぶ。

お願い

・作成した音楽ファイルから音楽CDをつくる場合は必ず「WAV (Windows Wave File)」を選びます。
・音楽CDと同等の音質で録音する場合は、必ず、「形式」で「44.100Hz,16 ビット , ステレオ」を選んでください。

1 録音したい曲にチェックマークを付ける。

2 [録音開始]を クリック

指定した形式での録音が始まり、ボタンの表示が[録音開始]から[中止]に変わります。**録音中でも音は鳴りません。**録音が終わると、[中止]から[録音開始]に変わります。(録音時間は、録音する音楽ファイルの総再生時間の約 1/5 になります。)

途中で録音を止めるには

[中止]を クリック

音楽ファイルが保存される場所

C:\JUST\BEATJAMX\MyMusic のフォルダーに保存されます。
保存先のフォルダーを変える場合は、手順 4 で次の操作をします。
①[オプション]を クリック
②[保存]タブをクリックし、「保存先」で音楽ファイルを保存するフォルダーを指定する。
③[OK]を クリック

ファイル名の規則

録音された曲のタイトルが、ファイル名になります。
ファイル名の命名規則は、上記の保存先フォルダーの変更と同じ画面で変更できます。

録音した曲をパソコンできく

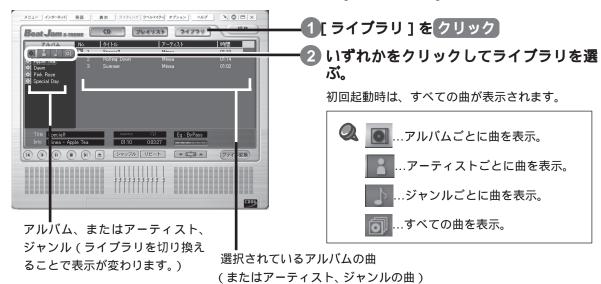
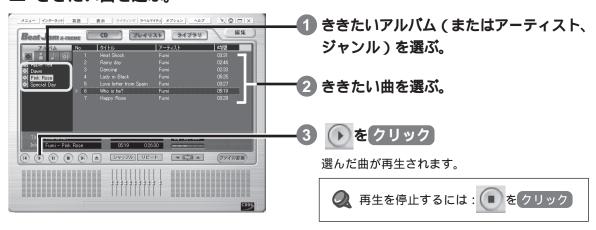
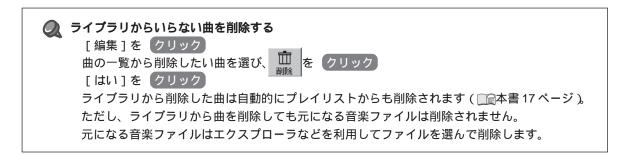
作成した音楽ファイルの情報は、すべて「ライブラリ」に登録されます。
ライブラリの音楽ファイル（曲）をパソコンできいてみましょう。
再生できる音楽ファイルの形式は、WAVE、WMA、MP3 形式です。
（ファイルの形式については本書 13 ページ）

1 BeatJamのメインプレーヤーを表示する。（14ページ）

2 ききたい曲を選ぶ。

ライブラリからいらない曲を削除する

①［編集］を クリック
②曲の一覧から削除したい曲を選び、削除 を クリック
③［はい］を クリック

ライブラリから削除した曲は自動的にプレイリストからも削除されます（本書 17 ページ）。
ただし、ライブラリから曲を削除しても元になる音楽ファイルは削除されません。
元になる音楽ファイルはエクスプローラなどを利用してファイルを選んで削除します。

好きな曲を好きな順番に並べたプレイリストをつくる

音楽CDをパソコンに録音すると、アルバムごとのプレイリストが自動的につくられます。ここでは、ライブラリに登録されている曲から好きな曲だけを集めたプレイリストをつくります。

1 プレイリストの編集画面を表示する 。

1 [プレイリスト]をクリック

2 [編集]をクリック
プレイリストの編集画面が表示されます。

2 新しいプレイリストに名前をつける。

<プレイリストの編集画面>

1 [作成]をクリック

2 プレイリストにつける名前を入力する。

[曲の追加］をクリックすると、ライブラリに登録されていない音楽ファイルをプレイリストに追加することができます。追加した曲は自動的にライブラリにも登録されます。

3 [ライブラリ]をクリック

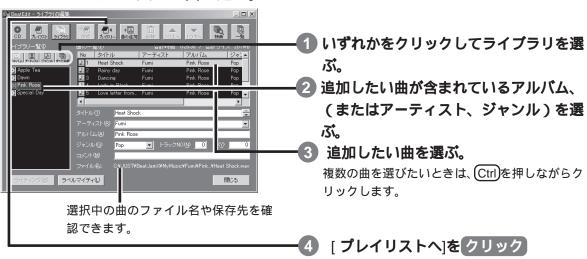
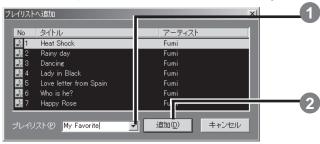
3 プレイリストに入れる曲を選ぶ。

1 いずれかをクリックしてライブラリを選ぶ。

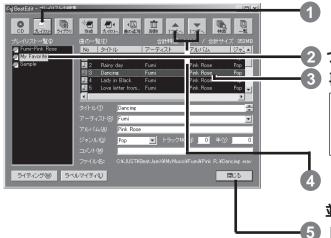
2 追加したい曲が含まれているアルバム、（またはアーティスト、ジャンル）を選ぶ。

3 追加したい曲を選ぶ。
複数の曲を選びたいときは、Ctrlを押しながらクリックします。

選択中の曲のファイル名や保存先を確認できます。

4 [プレイリストへ]をクリック

4 曲を追加するプレイリストを選ぶ。

① ▼をクリックして前ページ手順*2*の②でつけたプレイリストの名前を選ぶ。
ここで名前を入力して、新しいプレイリストをつくることもできます。

② [追加]をクリック
選んだ曲がプレイリストの末尾に追加されます。他に追加したい曲があれば手順*3*～*4*を繰り返します。

5 曲の順番を変える。

① ［プレイリスト］をクリック

② つくったプレイリストを選ぶ。

③ 再生する順番を変えたい曲があれば選ぶ。

複数の曲を選びたいときは、Ctrlを押しながらクリックします。選択された曲は、青地に白い文字で表示されます。

④ 1つ上へ 1つ下へ をクリックして、順番を並べ替える。

⑤ [閉じる]をクリック
メインプレーヤーに戻ります。

プレイリストの曲をパソコンできく

1 プレイリストを再生する。

① [プレイリスト]をクリック

② 再生したいプレイリストを選ぶ。

③ 再生したい曲を クリック
選んだ曲以降が再生されます。

④ ▶ クリック
選んだプレイリストが再生されます。

プレイリストから曲を削除するには

①プレイリストの編集画面を表示する。（前ページの手順*1*）
②「プレイリスト一覧」からプレイリストをクリックし、削除したい曲をクリックする。
③ 削除 をクリックする。

選んだ曲がプレイリストから削除されます。
プレイリストから曲を削除しても、その曲はライブラリから削除されません。（ライブラリから削除した場合はプレイリストからも削除されます。）

さらに進んだ使いかた

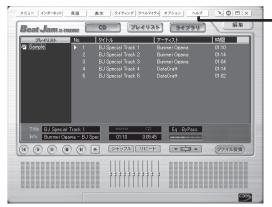
BeatJam では、さらに次のようなことができます。詳しくは「ヘルプ」をご覧ください。

●音楽ファイルの形式の変換
　WAVE 形式の音楽ファイルを WMA に変換することができます。

●お手持ちの音楽 CD から曲を選んで、オリジナルな MD や CD をつくる。(📖本書 20 〜 23 ページ)

● CDDB を利用する
　インターネット上のサーバーに作られた音楽 CD のデータベース CDDB から、音楽 CD からの録音時に曲名などの情報を入力することができます。(インターネットに接続するには📖本書 98 〜 111 ページ)

ヘルプの使いかた

BeatJam の詳しい説明を見たい場合は次のようにして、ヘルプを表示します。

[ヘルプ]を クリック

メインプレーヤーの場合、「CD」「プレイリスト」「ライブラリ」のメイン画面のみ「ヘルプ」を選択できます。ミニプレーヤー（📖本書 13 ページ）の場合、[Menu] をクリックして[ヘルプ]を選んで、ヘルプ画面を表示できます。

いずれかの項目を クリック

「ヘルプ」を終わるときは、☒をクリックします。

別の項目を見たいときは、まず、項目を選びます。

知りたいタイトル名を選ぶ。

選んだタイトルの説明が表示されます。

オリジナルMDをつくろう

BeatJam X-TREME PLAYER

BeatJam X-TREME PLAYER（以後、「BeatJam」と記載）を使って、音楽CDの曲やパソコンに録音されている音楽ファイルを、高音質のままMDにデジタル録音することができます。

準備するもの

- ●光デジタル入力端子のあるMDレコーダー（別売り）
- ●光デジタルケーブル（別売り）RP-CA2210Aなど

お問い合わせ先
ナショナルパナソニックお客様相談センター
〈フリーダイヤル〉0120－878－365　受付時間：9時〜20時、365日

お願い

- 作成したMDは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（本書169ページ）
- BeatJamを起動する前に、他の音楽アプリケーションが起動している場合は、必ず、終了してください。

1 パソコンとMDレコーダーを、光デジタルケーブルでつなぐ。

デジタル録音する際の接続方法について、必ず、MDレコーダーに付属の説明書もご覧ください。

光デジタル音声出力端子
OPT OUT/LINE IN*

MDレコーダー

光デジタルケーブル

*Windows起動時、赤色点灯

2 BeatJamを起動し、メインプレーヤーを表示する。（本書13、14ページ）必要に応じて、好きな曲を集めたプレイリストをつくる。（本書17ページ）

[オプション]をクリック

3 曲間に無音を設定する。

1 [再生]タブをクリック

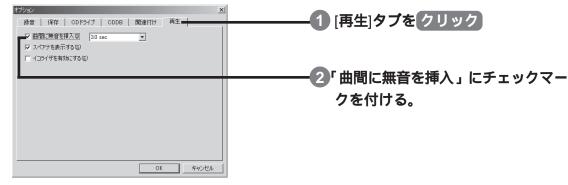
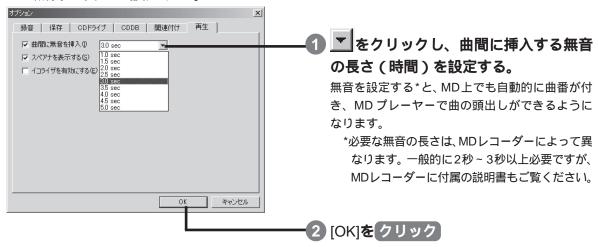
2 「曲間に無音を挿入」にチェックマークを付ける。

4 無音の長さを設定する。

1 ▼をクリックし、曲間に挿入する無音の長さ（時間）を設定する。

無音を設定する*と、MD上でも自動的に曲番が付き、MDプレーヤーで曲の頭出しができるようになります。

*必要な無音の長さは、MDレコーダーによって異なります。一般的に2秒〜3秒以上必要ですが、MDレコーダーに付属の説明書もご覧ください。

2 [OK]をクリック

音楽 つくる

5 MDレコーダーを録音状態にする。

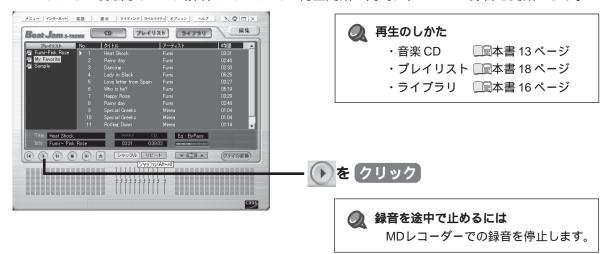
MDレコーダーを操作して録音を開始します。
シンクロ録音できるMDレコーダーの場合、「シンクロ録音」にします。（録音待機状態になり、手順6でパソコンで再生を開始すると同時に録音を開始します。）
操作方法については、MDレコーダーに付属の説明書も必ずご覧ください。

6 BeatJamで音楽CDやプレイリスト、ライブラリを再生する。

「シンクロ録音」にした場合、パソコンでの再生開始と同時に、MDへの録音を開始します。

▶をクリック

再生のしかた
・音楽CD　本書13ページ
・プレイリスト　本書18ページ
・ライブラリ　本書16ページ

録音を途中で止めるには
MDレコーダーでの録音を停止します。

音楽CDをそのままMDに録音するには（BeatJamを使用しない場合）
音楽CDの曲を、CDの曲順通りにそのまま録音する場合は、パソコンとMDレコーダーを光デジタルケーブルでつなぎ（前ページの手順1）、パソコン側で音楽CDを再生します。（本書10ページ）
MDレコーダー側の操作については、MDレコーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。
（BeatJamを使用しない場合、曲の切れ目を認識できない場合があります。）

オリジナル音楽 CD をつくろう

BeatJam X-TREME PLAYER

BeatJam X-TREME PLAYER（以後、「BeatJam」と記載）を使って、好きな曲だけ好きな順番に並べたプレイリストの曲を CD-R に書き込みます。書き込んだ CD-R は音楽 CD と同じように通常の CD プレーヤーで再生することができます。

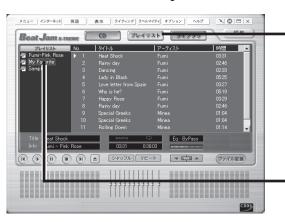
準備するもの　●ご自分の音楽 CD
●CD-R
データを書き込むことができる CD です。1度書き込むと追加や書き換えはできません。

お願い

- CD-RW（1度書き込んでも書き換えや追加ができる CD）に書き込むと、通常の CD プレーヤーで再生できない場合があります。CD-R のご使用をおすすめします。
- 作成した音楽 CD は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(本書 169 ページ)
- BeatJam を起動する前に、他の音楽アプリケーションが起動している場合は、必ず、終了してください。
また、154 ページの「書き込みエラーを起こさないための " お願い "」をよくお読みください。

1 BeatJamでCDに入れたい曲を集めたプレイリストをつくる。（本書17ページ）

CD-R には、プレイリストの曲順で曲が書き込まれます。

2 メインプレーヤー（本書14ページ）からプレイリストを選ぶ。

① [プレイリスト]を**クリック**

お願い
音楽 CD をつくるときは、WAVE 形式の曲だけが書き込みの対象になります。WMA形式の曲が含まれている場合、その曲は書き込みの対象になりません。

② 手順*1*で作っておいたプレイリストを選ぶ。

3 書き込みの機能を選ぶ。

① [ライティング]を**クリック**

② [オプション]を**クリック**

お願い
一度書き込んだ CD には曲を追加できません
BeatJam を使って音楽CDをつくる場合、CD-R/CD-RWには一度しか書き込むことができません。書き込みをする前に、使用するプレイリストの内容をよく確認してください。

音楽 CD をそのままコピーするには
「B's Recorder GOLD」で CD をまるごとコピーすることができます。(本書 155 ページ)
大切な CD のバックアップ（予備）の作成にご利用ください。

4 書き込み方法を設定する。

1 書き込みの方法を設定する（下記）。

「自動焼き込みモード」にチェックマークを付けておくと、ハードディスクの空き容量に合わせて、自動的に書き込み速度や書き込み手順が設定されます。

2 [OK]を **クリック**

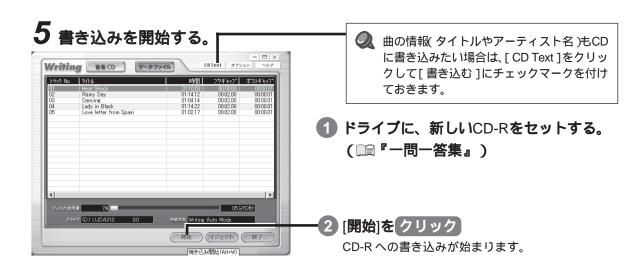
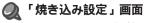
5 書き込みを開始する。

曲の情報（タイトルやアーティスト名）もCDに書き込みたい場合は、[CD Text] をクリックして［書き込む］にチェックマークを付けておきます。

1 ドライブに、新しいCD-Rをセットする。
（『一問一答集』）

2 [開始]を **クリック**

CD-Rへの書き込みが始まります。

「焼き込み設定」画面

●**オートレベル調整を行う**

□にチェックマークを付けておくと、書き込む曲の音量が全体的に一定になるように自動で調整されます。

●**自動焼き込みモード**

自動焼き込みモードのチェックマークを消すと、下記のような設定ができます。

オンザフライ焼き込み：CD-Rに直接書き込みます。

一時ファイルの作成：ハードディスクにいったんファイルを作ってからCD-Rに焼き込みます。ハードディスクに十分空き容量がある場合は、こちらを選ぶほうが確実に書き込めます。

テスト焼き込み：チェックマークを付けておくと、書き込む前に書き込みのテストをします。テスト焼き込みでエラーになった場合は、書き込み速度を遅く設定してみてください。テスト焼き込みでエラーになっても、そのCD-Rは問題なく、使用できます。

焼き込む：チェックマークを付けると、プレイリストの曲をCD-Rに書き込みます。テスト焼き込みだけをしたい場合は、□にチェックマークを付けないでおきます。

SD メモリーカードを使うには

本機左側面には、SDメモリーカードを直接接続できるSD/マルチメディアカードスロット（『一問一答集』「SD/マルチメディアカードスロットは何に使う？」）が搭載されています。パソコンからSDメモリーカードに音楽を書き込み（チェックアウト）、コンパクトで軽量なSDオーディオプレーヤーにセットし、身につけて歩くことができます。

必要なもの

● SD オーディオプレーヤー（別売り）

SDメモリーカードに書き込んだ曲を再生するのに必要です。当社製のSDオーディオプレーヤー SV-SD75 または SV-SD01 には、64 M バイトのSDメモリーカード（1枚）およびSDメモリーカードへの書き込みソフトSD-Jukebox（下記）が付属しています。

お問い合わせ先

ナショナルパナソニックお客様相談センター
〈フリーダイヤル〉0120 ー 878 ー 365
受付時間：9 時〜 20 時、365 日

● SD メモリーカード（本機には 8 M バイト 1 枚付属）

高度な著作権保護技術を有するメモリーカードです。切手サイズの薄型、軽量で容量が大きく、デジタルビデオカメラなどの画像保存など、幅広い用途に対応しています。

SDメモリーカードは、『一問一答集』の「SD／マルチメディアカードスロットは何に使う？」に記載されている「SDメモリーカードの取り扱い」をよく読んでご使用ください。

●SD-Jukebox

音楽CDの曲をパソコンに録音し、SDメモリーカードに書き込むために必要なアプリケーションです。（上記SDオーディオプレーヤーに付属）
次のような特長があります。

・音楽ＣＤの曲をパソコンのハードディスクにAAC*形式で高音質のまま圧縮して録音する。
・ハードディスクに録音した曲を、すべてまたは好きな曲を選んでSDメモリーカードに書き込む。（最大３回まで）

* AAC (Advanced Audio Coding)国際標準規格 MPEG-2 のオーディオ圧縮方式の中の１方式。

画像

みる

パソコンがテレビにつながるから、感動も大きくなる！

デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集して上映会をしたり、DVDビデオ*の映画鑑賞会をしたり…。
テレビ（S映像入力端子付き）の大画面で迫力ある映像を楽しめます。

*DVD-ROMドライブ搭載機種のみ再生可能

つくる

画像を活用してすぐにはがきやメールができる！

デジタルビデオカメラの映像やデジタルスチルカメラの写真など、ベストショットを取り込んではがき、カレンダー、壁紙に使ったり、メールに添付して送信したり…。
画像を何通りにも活用できるパソコンです。

テレビにつないでみる

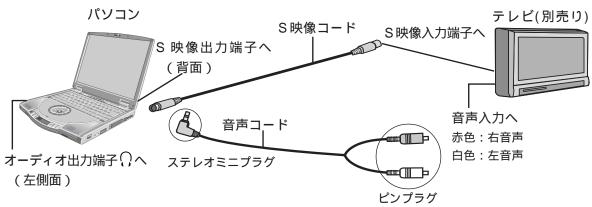
S映像コード（別売り）を使ってパソコンとテレビをつなぎ、パソコンの画像をテレビのワイドな画面に映して楽しめます。

- 画像を取り込んでスライドショー（本書78ページ）を楽しむ
- MotionDV STUDIO(本書83ページ)で編集したビデオ作品を上映する
- DVDビデオを鑑賞する（DVD-ROMドライブ搭載機種のみ）
- DVD-RAMディスクに記録された映像をみる（DVD-ROMドライブ搭載機種のみ）

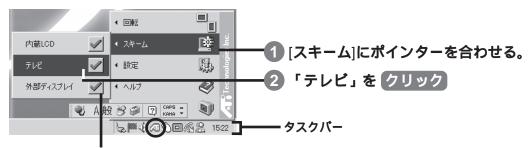
テレビ画面は、ワープロソフトなど文字が主体のアプリケーションの表示には適しておりません。動画やDVDビデオ専用にご使用ください。

準備するもの(別売り)
- ●テレビ(S映像入力端子付き)
- ●S映像コード
- ●音声コード

お問い合わせ先：ナショナルパナソニックお客様ご相談センター
（フリーダイヤル）0120-878-365
（受付時間）　9時〜20時、365日

1 電源を切った状態でテレビとパソコンをつなぐ。

2 テレビとパソコンの電源を入れる。

テレビにパソコンの画面が表示されます。
ただし、このままでは、テレビに動画やDVDビデオが映りません（ウィンドウが真っ暗になります）。必ず、次ページ手順3以降の設定を行ってください。
設定を行うと、動画やDVDビデオは、テレビにのみ表示されます。（パソコンには表示されません。）

3 タスクバーの をクリックする。

内蔵 LCD：
パソコン本体の LCD パネルにのみ表示。

テレビ：
S 映像出力端子に接続したテレビとパソコン本体の LCD パネルに表示。
動画などの画像は、テレビにのみ表示。

外部ディスプレイ：
外部ディスプレイとパソコン本体の LCD パネルに表示。
動画などの画像は、両方の画面に表示可能。

テレビへの接続を終了したら

再度上記手順を実行して、「内蔵LCD」を選んでおいてください。テレビに接続していないのに「テレビ」を選択していると、動画などの画像がパソコン本体のLCDパネルに表示されません。

DVDビデオのテレビへの表示が異常なとき

コピーガードされているDVDビデオは、ビデオデッキなどを経由するとテレビ画面への出力（表示）が正しく行われません。パソコンを直接テレビに接続してください。

・Ctrl+Alt を使って次のように表示先を切り換えることができます。

内蔵 LCD	：Ctrl+Alt+1
テレビ	：Ctrl+Alt+2
外部ディスプレイ	：Ctrl+Alt+3

・デュアルディスプレイモード（『一問一答集』）では、表示先を切り換えることができません。

DVD ビデオをみる

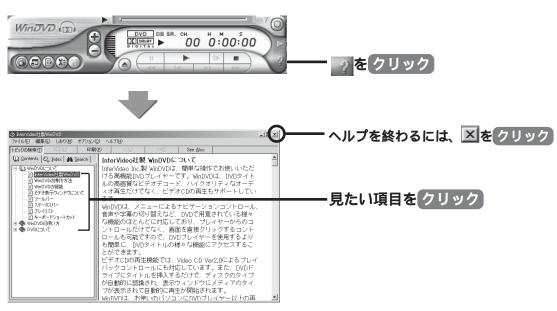
WinDVD 2000＜DVD-ROMドライブ搭載機種のみ＞

WinDVD 2000（以後、「WinDVD」と記載）を使って、DVD ビデオをみる（再生する）ことができます。
ここでは、DVD ビデオを再生するための基本操作を説明しています。
WinDVD の機能について、詳しく知りたいときには、「ヘルプ」をご覧ください。

WinDVD を起動する前に
- ほかのアプリケーションや VirusScan などの常駐プログラムはすべて終了してください。
- テレビとパソコンを接続している場合は、必ず、表示先を「テレビ」に設定してください。「テレビ」に設定しないと、テレビに動画や DVD ビデオなどが映りません。（本書 26 〜 27 ページ）

DVD ビデオの再生について
- パソコンの動作環境や DVD ビデオによってはコマ落ちする(映像・音声が一瞬途切れる)場合があります。
- カラオケには対応していません。
- リージョン番号「2」または「ALL」で「NTSC」以外の DVD ビデオは再生できません。
  また、DVD-ROM ドライブのリージョン番号を変更しないでください。
- DTS（デジタルシアターシステム）には対応しておりません。
- デュアルディスプレイモード（『一問一答集』）では、正しく再生できない場合があります。

ヘルプの使いかた

次ページを参照して、WinDVD を起動し、次のように操作します。

DVD ビデオとは

CD と同じ形をした大容量(4.7 G バイト)の DVD-ROM ディスクに映像、音声、文字を記録したものです。複数のアングルの映像や言語を楽しめます（DVD ビデオによって異なります)。また、多くの場合、ひとまとまりの映像ごとにタイトルがつけられ、タイトルメニューなどが用意されているため、見たい映像をすばやく再生できます。

ドルビーデジタル音声について（本書 30 ページ）

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DVD ビデオを再生する

1 電源を入れる。（『はじめましてパソコン』）

2 DVDビデオをセットする。

（『一問一答集』「CD-R/RWドライブまたはDVD-ROMドライブを使うには？」）

3 WinDVDを起動する。

トレイを閉じてしばらくすると、自動的にWinDVD が起動します。

> **そのほかの起動のしかた**
> デスクトップの[InterVideo WinDVD]アイコンをダブルクリックすると、WinDVD が起動します。

次回からこのメッセージを表示しないようにするには、ここにチェックマークをつけておきます。

メッセージを確認して[OK]を クリック

DVDビデオにメニューが用意されている場合は、メニューが表示されます。
DVDビデオに付属の説明書などをご覧ください。

4 再生を開始する。

<プレーヤー>

を クリック

再生を停止するときは

を クリック

映像画面を下ボタンでクリックすると、右記のメニューが表示されます。映像が再生されているウィンドウを最大表示にしているためプレーヤーが表示されていない場合などに便利です。（DVDビデオや再生状態（再生中/停止）によっては、選べない項目があります。）

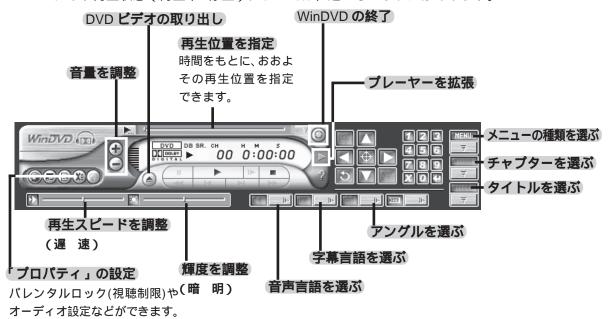
> 映像が再生されているウィンドウを最大表示にした場合は、映像上をダブルクリックすると、元のウィンドウサイズに戻ります。

お願い

再生中（アクセスランプ点灯中）はこんなことをしないで
- DVD ビデオを取り出さないでください。
- ほかのアプリケーションやMS-DOS プロンプトを使用したり、画面のプロパティの設定を変更したりしないでください。

主な機能ボタンの使いかた

ここでは、主な機能ボタンの操作を説明します。詳しくは「ヘルプ」をご覧ください。（本書 28 ページ）
DVD ビデオや再生状態（再生中 / 停止）によっては、選べないボタンがあります。

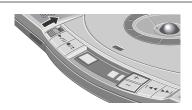
お願い

ドルビーデジタル音声を楽しむためには

- ドルビーデジタルに対応した光入力端子付きの機器と光デジタルケーブル（本書 20 ページ）が別途必要です。
- ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオの音声をドルビーデジタル音声として本体の光デジタル音声出力端子から出力するには、機器を接続後、「プロパティ」の「オーディオ設定」で「S/PDIF 出力を有効にする」に設定します。

本体の操作パネルも使えます

本体の操作パネルを使って、再生 / 一時停止、停止、次のチャプター/前のチャプターへのスキップなどができます。
（本書 11 ページ）

DVD ビデオによく出てくることば

- **オーディオ：**
  音声言語（セリフやナレーションの言語）のことです。
- **サブタイトル：**
  字幕スーパーのことです。
- **マルチアングル：**
  複数のカメラアングルで撮影されたシーンが収録されている場合に、機能ボタンの数字や矢印をクリックし、お好きなアングルを選ぶことができます。
- **タイトル：**
  DVD ビデオに記録されているひとまとまりの映像をタイトルといいます。
  複数のタイトルが記録されている場合、タイトルメニューが用意されています。
  タイトルメニューにより、見たい内容をすばやく再生できます。
- **チャプター：**
  タイトルはさらに複数のチャプターに分かれている場合があります。

DVD-RAM ディスクを再生する

DVD-MovieAlbumLE＜DVD-ROMドライブ搭載機種のみ＞

DVD レコーダーなどを使って「DVD ビデオレコーディング規格」に準拠して記録した DVD-RAM ディスク（TYPE II）をみる（再生する）ことができます。
ここでは、DVD-RAM ディスク（『はじめましてパソコン』「知っておきたい用語集」）を再生するための基本操作を説明しています。

再生できるディスク

UDF2.0形式でフォーマットされた、4.7G バイトまたは 9.4G バイト両面タイプの DVD-RAM ディスク（TYPE II：カートリッジからメディアを取り外せるタイプ)です。

DVD-RAM ディスクに保存されたデータ（文書ファイルなど）を使用する場合

UDF2.0形式でフォーマットされたDVD-RAMディスクに記録されたファイルを読み込む（コピーするなど）場合は、以下に従って「UDF-2.0 ドライバー」をインストールしてください。（「再生」の場合、必要ありません。）

①「B's CLiP」を削除（アンインストール）する。（『一問一答集』「使わないアプリケーションを削除したい」）
（再度「B's CLiP」をインストールするには：『一問一答集』「アプリケーションをインストールしなおすには」）
②パソコンを再起動する。
③デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、[ローカルディスク(C:)]→[Util]→[Drivers]→[UDF20]の Setup.exe をダブルクリックする。
（ローカルディスク(C:)などをダブルクリックしたときに内容が表示されない場合、「このドライブの内容をすべて表示する。」をクリックしてください。）
④以降は、画面に従って操作してください。

DVD-MovieAlbumLE を起動する前に

・ほかのアプリケーションや VirusScan などの常駐プログラムはすべて終了してください。
・テレビとパソコンを接続している場合は、必ず、表示先を「テレビ」に設定してください。「テレビ」に設定しないと、テレビに動画や DVD ビデオなどが映りません。（本書 26 ～ 27 ページ）

DVD-RAM ディスクの再生について

・記録されている画像や編集状況によってはコマ落ちする(映像・音声が一瞬途切れる)場合があります。
・本機では、DVD-RAM ディスクの再生のみ可能です。DVD ビデオレコーダー（別売り）と使用すると、DVD-RAM ディスクのプログラムを編集したり、プレイリストを作成したりすることができます。
・ビデオテープの映像を記録したDVD-RAMディスクを再生すると画面下部にノイズ状の信号がチラチラ見える場合があります。これはビデオヘッドの切り換え信号が表示されているためで、不具合ではありません。
・デュアルディスプレイモード（『一問一答集』）では、正しく再生できない場合があります。

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

DVD-MovieAlbumLE について、さらに詳しく知りたいときには、「取扱説明書（PDF 形式）」をご覧ください。

1 DVD-MovieAlbumLEの画面で、[ヘルプ]→[DVD-MovieAlbumLEのマニュアル]をクリックする。

●はじめて起動したとき
・Acrobat Reader の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示された場合、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。
・取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法は『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

●「DVD-MovieAlbumLE マニュアル」の内容について
マニュアルの内容と実際が、主に次の点で異なりますので、ご了承ください。
・マニュアルに書かれているインストールは不要です。（本機にはインストール済み）
・プログラムの編集、プレイリストの作成はできません。別売りの DVD レコーダーが必要です。

DVD-RAM ディスクを再生する

1 電源を入れる。（『はじめましてパソコン』）

2 DVD-RAMディスクをセットする。（『一問一答集』）

(DVD-RAM ディスクは、カートリッジから取り出してセットします。指紋や汚れをつけないよう、ご注意ください。)

お願い

DVD-RAM ディスクをドライブにセット後、再生を開始できるようになるまでに、多少時間がかかります（約 50 秒）。しばらくお待ちください。

3 デスクトップの DVD-Movie... をダブルクリックして、DVD-MovieAlbumLEを起動する。

しばらくすると、DVD-RAM ディスクの内容が読み込まれ、プログラムのサムネイルが表示されます。

1 [プログラム]を クリック

2 再生したいプログラムのサムネイルを クリック

サムネイル

3 を クリック

再生が始まります。選択したプログラムの再生が終了すると、自動的に次のプログラムの再生が始まります。

再生を停止するときに を クリック

再生停止後、ディスクを取り出すときに を クリック

プログラムとは
記録された映像・音声の一つの単位をプログラムと呼びます。

サムネイルとは
映像の任意のフレーム(１コマ)を小さく表示した静止画で、プログラムの代表画像です。

お願い

DVD-MovieAlbumLEでは、**ドライブの取り出しボタンを押してディスクを取り出さないでください。**取り出しボタンを押して「取り出し操作を続行しますか」と表示された場合でも[キャンセル]を選び、 をクリックして取り出してください。

再生中（アクセスランプ点灯中）**はこんなことをしないで**

- DVD-RAM ディスクを取り出さないでください。
- ほかのアプリケーションや MS-DOS プロンプトを使用したり、画面のプロパティの設定を変更したりしないでください。

DVD-RAM **ディスクを汚さないで**

DVD-RAM ディスクには、データが高密度で記録されています。ディスクに指紋や汚れをつけないよう、取り扱いには十分注意してください。

画像の取り込みかたいろいろ

つながる機器

主に次のような機器（別売り）から画像を取り込み、簡単に活用、編集することができます。

●デジタルビデオ機器（IEEE1394 準拠 DV 端子付きモデル）

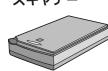
デジタルビデオカメラ

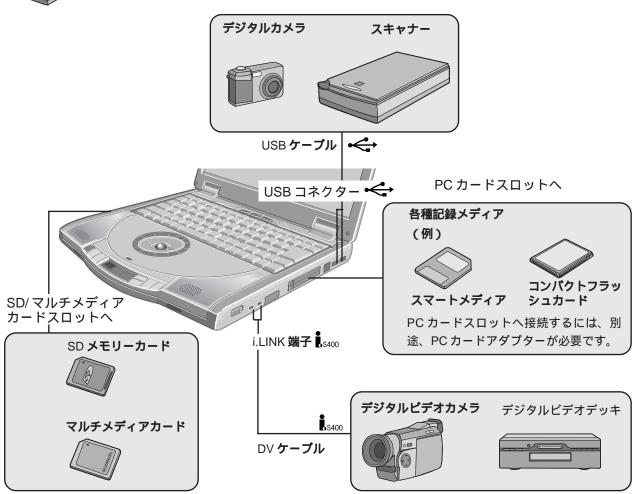
デジタル
ビデオデッキ

本機の i.LINK 端子に接続して、DV テープに撮影された映像（静止画・動画）を取り込みます。また、デジタルビデオ機器がマルチメディアカードや SD メモリーカードに対応している場合、直接本機の SD/ マルチメディアカードスロットに接続して取り込めます（静止画）。

●デジタルスチルカメラ（デジタルカメラ）

フィルムを使わず、写真を画像データとして記録するカメラです。
SD メモリーカード、マルチメディアカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュカードなどの記録メディアを使うものや、専用の USB ケーブルなどでパソコンに接続して直接画像を取り込めるデジタルカメラもあります。

●スキャナー

イラストや原稿を小さな点に分解してパソコンに読み取る装置です。本機の USB コネクターに接続する「USB 接続」のものが手軽に使えて便利です。

デジタルカメラ
スキャナー
USB ケーブル
USB コネクター
PC カードスロットへ
各種記録メディア
（例）
スマートメディア
コンパクトフラッシュカード
PC カードスロットへ接続するには、別途、PC カードアダプターが必要です。
SD/ マルチメディアカードスロットへ
SD メモリーカード
マルチメディアカード
i.LINK 端子 S400
S400
DV ケーブル
デジタルビデオカメラ
デジタルビデオデッキ

必要な備品について

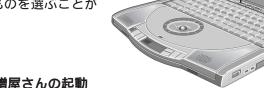
- DV ケーブル：“ 4ピン - 4ピン ”のものをご使用ください。
  ケーブルの呼び名は商品によって異なることがあります。

お問い合わせ先

ナショナルパナソニックお客様ご相談センター
（フリーダイヤル）　0120-878-365
（受付時間）　9 時〜 20 時、365 日（年中無休）

- PC カードアダプター　：デジタルカメラに付属または指定のものをご使用ください。
- USB ケーブル　：使用する機器に付属または指定のものをご使用ください。

画像を扱うための主なアプリケーション

AV ボタン（ AV）を押すと、AV（映像や音楽）を扱うアプリケーションの中から、用途にあったものを選ぶことができます。

＜ AV ボタンメニュー＞

①画贈屋さんの起動
デジタルカメラ（通称デジカメ）や記録メディアの写真を、簡単にはがきやメールに活用したり、スライドショーにしてCDやVHSビデオテープに記録。

② DV キャプチャーの起動
デジタルビデオカメラから静止画（マイベストショット）や動画を取り込み（AVI 形式）、はがき、メールなどに活用。

③MotionDV STUDIOの起動
動画の取り込み（AVI形式）・編集・加工、DVテープへの書き戻しなど。

④蔵衛門デジブック for パナソニックの起動
取り込んだ静止画や動画ファイルをアルバムに登録、整理し、簡単にはがき、カレンダー、壁紙、メールなどに活用。

⑤ VideoGift の起動
動画ファイルを圧縮して、メール送信。（ASF または AVI 形式のファイル）

⑥ BeatJam X-TREME PLAYER の起動
音楽CDをパソコンに録音。お好きな曲をお好きな順番で再生、CDに書き込んだり、MDに録音したりする。

⑦B's Recorder GOLDの起動
CD-R/RWメディアにデータを書き込んだり、CDのバックアップをする。

⑧WinDVD 2000の起動*
DVDビデオをみる。

⑨DVD-MovieAlbumLEの起動*
DVD-RAMディスクに記録された映像をみる。

＊DVD-ROMドライブ搭載機種のみ

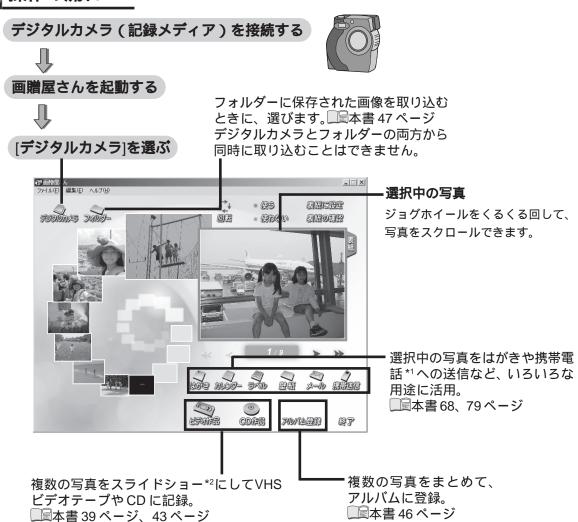
著作権に気をつけて！

市販されているDVテープやCD-ROMなどの画像、インターネットからダウンロード（パソコンへ受信して保存）した画像は、個人として楽しむ以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。

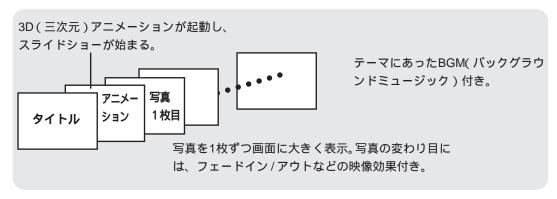
デジタルカメラの写真を使おう

画贈屋さん

デジタルスチルカメラ（以降は、デジタルカメラと記載。通称：デジカメ）で撮った写真を簡単に取り込み、はがきやカレンダー、ラベルをつくったり、スライドショーにして、CDやVHSビデオテープに記録したりできます。

操作の流れ

*1「ドコアル」が提供する無料サービス「ドコアルi-modeダイレクト」「ドコアルJダイレクト」に対応している場合のみ、送信可能です。サービスは予告なく変更または中止されることがあります。

*2 画贈屋さんでは、画面に従って操作するだけで、次のようなスライドショーをつくることができます。

画像
つくる

直接写真を取り込めるデジタルカメラ

●画贈屋さんで直接写真を取り込めるデジタルカメラ（記録メディア）の種類は以下の通りです。

DCF 規格＊に準拠した下記フォルダー構成とファイル名で、記録メディアに画像を保存する機種

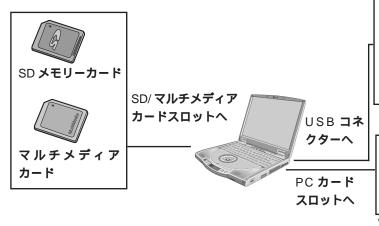
X:￥DCIM￥(100xxxxx 〜 999xxxxx)￥(xxxx0001 〜 xxxx9999).jpg

（X はドライブを示す。x は１文字）

デジタルカメラに付属の説明書もご覧ください。

＊ カメラファイルシステム規格(Design rule for Camera File system) DCF Version1.0, JEIDA-49-2-1998, (社)電子情報技術産業協会(JEITA)

パナソニック PC ホームページ（2001 年 4 月 1 日現在　http://www.pc.panasonic.co.jp/pc/）では、画贈屋さんでの動作確認済みデジタルカメラについて、最新情報を掲載しています。

記録メディアの種類

USB コネクターに接続できるデジタルカメラで、そのデジタルカメラがドライブとして見える場合は、使用可能です。（各メーカーから提供されているドライバーが必要です。）

スマートメディア＊、コンパクトフラッシュカード＊、メモリースティック＊など、各種記録メディアも使用できます。

＊ パソコンに接続するには、別途、それぞれのメディア用の PC カードアダプターが必要です。

記録メディアの取り付け / 取り外しや USB 接続については、『一問一答集』をご参照ください。

●パソコンにいったんファイルをコピーしてから取り込むデジタルカメラ

DCF規格に準拠していないデジタルカメラ、上記以外の記録メディアを使用する場合やUSB接続以外の接続をする場合、また、USB 接続でもメディアの内容がドライブとして見えない場合は、直接画像を取り込むことができません。いったんパソコンのフォルダーに写真（画像ファイル）をコピーして使用してください。コピー方法については、デジタルカメラに付属の説明書もよくお読みください。

（パソコンにコピー後は、「画贈屋さん」の画面で[フォルダー]を選びます。本書 47 ページ）

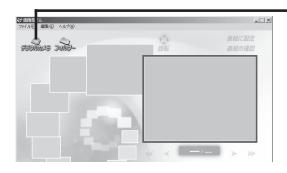
写真の取り込みかた

MotionDV STUDIOをアンインストールしないでください。アンインストールすると、画贈屋さんが正しく動作しません。

デジタルカメラ（記録メディア）を接続後、下記に従って操作します。

1 デスクトップの 画贈屋さん をダブルクリックする。

2 写真を画面上に表示する。

お願い

- 1度に扱える写真（画像）は、1000個までです。
- SDメモリーカードやマルチメディアカードの画像が表示されない場合、カードを差し込み直すと表示される場合があります。（本体前面のアクセスランプ SD が消えていることを確認してカードを取り出した後、しっかりと奥まで差し込んでください。）

3 写真を選ぶ。

＜はがき/カレンダー/ラベル/壁紙/メール/携帯送信をする場合＞

クリックするごとに90°ずつ時計回りに回転。

ビデオ作品/CD作品/アルバム登録の場合の設定（次ページ）

選択中の写真

直接クリックしても選択可能。

選択中の画像が何番目か/画像の総数

❶ ジョグホイールを回して、お気に入りの写真を選ぶ。

戻る

進む

❷ 次ページ手順5へ進む。

ジョグホイールはゆっくり回す！
速く回すと、画像の表示が回すスピードに対応できないことがあります。

デジタルカメラの写真データについて
「ワンポイント情報集（オンラインマニュアル）」をご覧ください。

＜ビデオ作品/CD作品/アルバム登録をする場合＞

すべての写真が、作品（スライドショー）またはアルバム登録の対象になります。
（本書35ページ）

❶ 使わない写真がある場合、上記画面でジョグホイールを回してその写真を選び、[使わない]を クリック

❷ 次ページ手順4へ進む。

4 ＜ビデオ作品/CD作品/アルバム登録をする場合のみ＞ スライドショーの表紙（1枚目）またはアルバムの表紙にする写真を選ぶ。

1 ジョグホイールを回して写真を選ぶ。

2 [表紙に設定]を クリック

表紙に設定した写真は、枠で囲まれます。

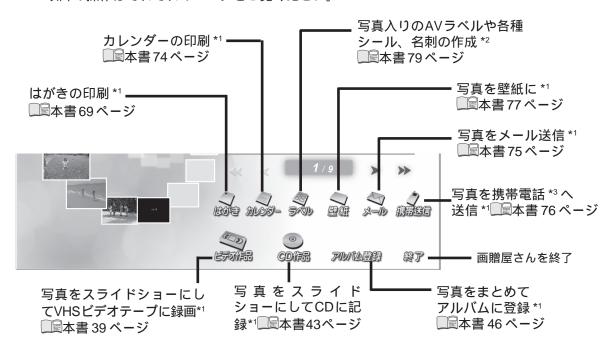
表紙に設定した写真を確認するには

[表紙の確認]をクリック。

→

元の画面に戻るときは[戻る]をクリック。

5 写真の活用方法を選ぶ。

以降の操作はそれぞれのページをご覧ください。

*1 クリックすると、蔵衛門デジブックが起動します。
ビデオ作品、CD作品の場合、選んだ写真は自動的にアルバムに登録されます。

*2 クリックすると、印刷工房 2001for パナソニックが起動します。

*3「ドコアル」が提供する無料サービス「ドコアルi-modeダイレクト」「ドコアルJダイレクト」に対応している場合のみ、送信可能です。サービスは予告なく変更または中止されることがあります。

はがき、カレンダー、ラベル、壁紙、メール、携帯送信をする場合、画面上に呼び出した写真は、パソコンに保存されません。パソコンに保存しておきたい場合は、「アルバム登録」を選ぶか、ファイル保存（[ファイル]→[フォルダーにコピー]）してください。

写真をスライドショーにしてビデオテープに録画する

デジタルカメラで撮った写真を、１枚ずつ自動表示するスライドショーにしてVHSビデオテープに記録することができます。運動会や結婚式のスライドショーを記録したビデオテープをお知り合いのかたにプレゼントし、気軽に見ていただくことができます。

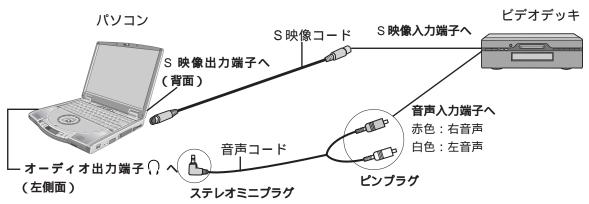
準備するもの（別売り）
- ●デジタルカメラ（記録メディア）本書36ページ
- ●S映像コード・音声コード（本書26ページ）
- ●テレビ
- ●テレビに接続されたビデオデッキ（S映像入力端子付き）
- ●VHSビデオテープ

画像

つくる

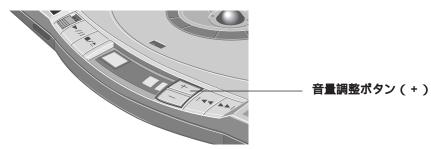
パソコンとビデオデッキをつなぐ

テレビやビデオデッキによっては接続先の端子や機能の名称が異なります。
テレビやビデオデッキに付属の説明書もご覧ください。

1 パソコンとビデオデッキをつなぐ。
（テレビとビデオデッキの接続もご確認ください。）

2 ビデオデッキの電源を入れ、録画してもよいビデオテープをセットする。

3 ビデオデッキの入力を「外部入力」にする。

4 テレビの電源を入れ、入力切換を「ビデオ」にする。

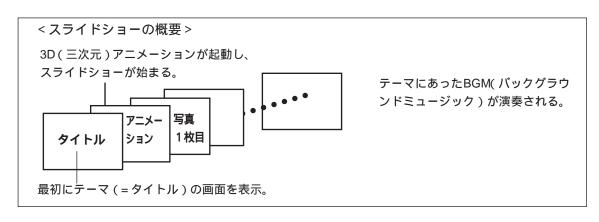
5 パソコンの音量調整ボタンを操作し、音量を最大にする。

VHS ビデオテープに記録する

デジタルカメラ（記録メディア）を接続した後、以下に従って操作をします。

1 「写真の取り込みかた」に従って使用する写真や表紙にする写真を選ぶ。（📖本書37ページ）

2 [ビデオ作品]を選ぶ。

[ビデオ作品]を クリック

3 スライドショーのテーマや表紙アニメーションを設定する。

① クリックして、テーマを選ぶ。

テーマに合わせてBGM、表紙アニメーション、タイトル（アルバム名）が自動設定されます。それぞれ、必要に応じて変更することができます。（タイトルは必ず入力してください。）

② 表紙アニメーションを変更、または「なし」にする場合はここから選ぶ。
表紙アニメーションを付けると、アニメーション作成に約１～２分必要になります。

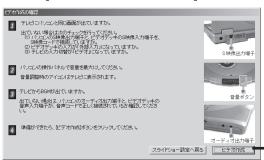
BGM をきいてみることができます。

表紙アニメーションのサンプル画像を再生して確認できます。

ジョグホイールでスクロール

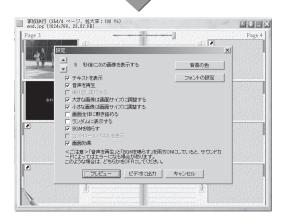
③ ●ビデオデッキとの接続に自信がないときなど
[確認後、ビデオ作成]を クリック→手順4へ

●すぐにビデオ作成するとき
[ビデオ作成]を クリック→手順5へ

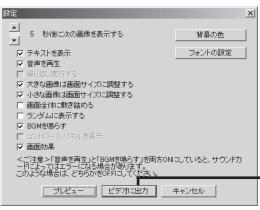
4 <[確認後、ビデオ作成]を選んだ場合のみ>

❶ 画面に従って確認する。

❷ [ビデオ作成]を クリック

5 「蔵衛門デジブック 」の起動を確認する。

表紙アニメーションを設定した場合は､左記画面が表示されます。

蔵衛門デジブックが起動します。デジタルカメラ（記録メディア）の写真が自動的にアルバムに登録されます。
（初回起動時のみ､「メニューを表示するにはマウスの右ボタンをクリックしてください。」と表示されますので､[OK]をクリックしてください。）

> 蔵衛門デジブックのアルバムで、写真の順番を変えたり、写真に文字や音声のコメントを添えるなどの編集をすることができます（本書60ページ)。編集をする場合は、いったん画贈屋さんを終了します。

6 スライドショーの設定をする。

❶ 必要に応じて、設定を変更する。
（設定画面の内容：本書42ページ）

❷ [ビデオに出力]を クリック

（次ページへ続く）

7 録画を開始する。

<ビデオデッキの操作>

❶ 下記画面が表示されたら、ビデオの録画ボタンを押す。

<パソコンの操作>

❷ [OK]を クリック

アニメーションのビデオ出力中は、パソコンには表示されません。ビデオに接続したテレビでご確認ください。

<ビデオデッキの操作>

❸ 下記画面が表示されたら、ビデオの停止ボタンを押す。

<パソコンの操作>

❹ [OK]を クリック

設定画面の内容

何秒間隔で画像の表示を切り換えるかを設定。

チェックマークを付けると、蔵衛門デジブックで写真に付けたテキスト文字や音声のコメントをスライドショーに反映。

チェックマークを付けると、大きな画像は画面に入るように、小さな画像は画面いっぱいに表示。

パソコン上でスライドショーを実行。スライドショーを途中で終了する場合は、Escをすばやく1回押す。

テレビ以外に外部ディスプレイを接続しているとき

録画終了後は、パソコン画面のみの表示になります。外部ディスプレイにも表示する場合は本書の27ページを参照して切り換えてください。（テレビだけの接続時は、切り換え不要。）

写真をスライドショーにしてCDに書き込む

デジタルカメラで撮った写真を、１枚ずつ自動表示するスライドショーにしてCDに記録することができます。運動会や結婚式のスライドショーを記録したCDをお知り合いのかたにプレゼントし、お手持ちのパソコン（本書45ページ）で気軽に見ていただくことができます。

準備するもの（別売り）
- ●デジタルカメラ（記録メディア）本書36ページ
- ● CD-R（ブランクメディア(新品)）本書154ページ
  CD-RW[ブランクメディア(新品またはデータを全消去したもの)]も使用できます。

お願い
- **画贈屋さんでは、CD-R/CD-RWに書き込めるのは、１回（スライドショー１つ）だけです。** 空き容量があっても残りの部分にはデータを書き込めません。書き込みの前に必ず、確認してください。ただし、CD-RWの場合、本書159ページに従って内容を全消去することができ、再度書き込めるようになります。
- B's CLiPでフォーマットしたCD-R/CD-RWは使用できません。

デジタルカメラ（記録メディア）を接続後、下記に従って操作します。

1 「写真の取り込みかた」に従って使用する写真や表紙にする写真を選ぶ。（本書37ページ）

2 [CD作品]を選ぶ。

[CD作品]を クリック

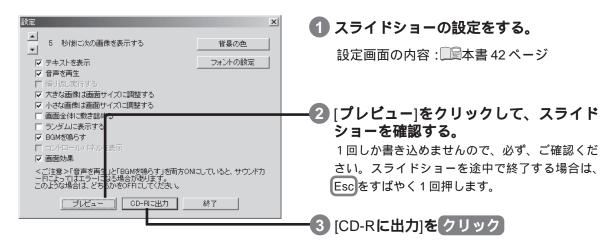
お願い
CD作成を始める前に
- 必要のないアプリケーションやVirusScanなどの常駐プログラムはすべて終了してください。
- そのほか、本書154ページの「書き込みエラーを起こさないための"お願い"」をよくお読みください。

3 スライドショーのテーマや表紙アニメーションを設定し、[CD作成]をクリックする。

画面の内容について：本書40ページ

（次ページへ続く）

4 「蔵衛門デジブック」の起動を確認する。（本書41ページ）

5 スライドショーの設定をする。

6 スライドショーをCDに書き込む。

1 CD-Rをセット（『一問一答集』）する。（CD-RWも使用できます。）

初回起動時のみ､「ユーザー情報の入力」画面が表示されます。付属のB's Recorder GOLD/B's CLiPユーザー登録カード（またはお客様控）に記載されているシリアル番号を入力してください。また、名前、会社名に必ず文字を入力してください。

（次ページへ続く）

CDへの書き込みが始まります。
書き込みが終わると、CD が自動的に排出されます。

書き込み中は、キーボードやトラックボール（または別売りのマウス）を触らないでください。書き込みエラーの原因になります。

[CLOSE]をクリック
これでできあがりです。

画像つくる

CD のスライドショーをみるには

ビューワ（見るためのソフト）も含めて記録されているため、特別なソフトを用意することなく、お手持ちのパソコン[Windows 95/98/98SE/Me/2000（日本語版）で CD-ROM ドライブのあるもの]で簡単に見ていただくことができます。

お願い

- パソコン環境、CD-ROM ドライブによっては、映像や音声の一部が正常に再生できない場合があります。
- Windows 95のパソコンでアニメーション付きのスライドショーを再生するには、Internet Explorer 4.0 以降または Windows Media Player 6.4 以降がインストールされている必要があります。
  Windows Media Player 6.4 以降は、下記のホームページからダウンロードできます。
  http://www.microsoft.com/windows/mediaplayer/ja/download/
  （2001 年 4 月 1 日現在）

1 スライドショーを記録したCDをドライブにセットする。（『一問一答集』）

しばらくすると、自動的に蔵衛門デジブックが起動し、スライドショーが始まります。
スライドショーを途中で終了する場合は、Escを押します。

- 自動で起動しない場合、デスクトップの[マイコンピュータ]で[CD-ROM ドライブ]アイコンをダブルクリックしてください。

写真をアルバムに登録する

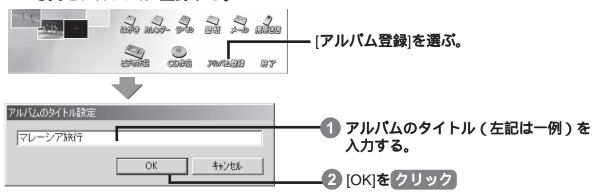
デジタルカメラの写真やフォルダーの静止画を、蔵衛門デジブックのアルバムにまとめて登録します。

アルバム登録の前に

蔵衛門デジブックの本棚ウィンドウで下ボタンをクリックし、[設定 ...]→[その他]タブで「アルバムにリンクで画像を取り込む（…）」にチェックマークが付いている場合は、外してください。（工場出荷状態では、チェックマークは付いていません。）チェックマークが付いていると、次回、ビデオ作成、CD作成、アルバム登録のいずれかを行った際に、前回アルバムに登録した画像データが削除されます。（アルバム上の画像をみることはできますが、画像データの活用ができなくなります。）

1 「写真の取り込みかた」に従って写真を選ぶ。（本書37ページ）

フォルダー内の静止画を登録する場合は、47ページに従って画面に表示する。

2 写真をアルバムに登録する。

<アルバム画面>

●アルバムのみかた

本書「アルバムをみたり、編集したりしよう」

●はがきやカレンダー、メール送信など

本書「取り込んだ画像を活用しよう」

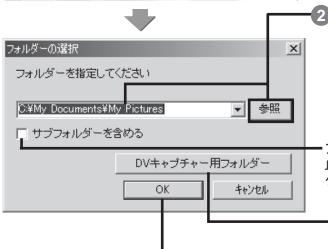
フォルダー内の静止画ファイルを使おう

画贈屋さん

フォルダーに保存されている静止画（拡張子が「JPG」）を簡単に呼び出し、はがきやカレンダー、ラベル、電子メールなどに活用したり、スライドショーを作成したり、写真を蔵衛門デジブックのアルバムに登録したりすることができます。

1 「画贈屋さん」を起動する。

デスクトップの（画贈屋さん）をダブルクリックする。

2 フォルダーを選ぶ。

① [フォルダー]を クリック

② 下記「お願い」に注意して、[参照]をクリックし、フォルダーを選ぶ。または、直接、フォルダーを指定する。

フォルダー内にあるサブフォルダーの静止画も含める場合にクリックし、チェックマークを付ける。

DV キャプチャーで保存した静止画を使うときにクリックする。

③ [OK]を クリック

呼び出された静止画の活用方法については、38 ページをご覧ください。

お願い

- 1 度に扱える写真（画像）は 1000 個までです。1000 個を超えると、エラーになることがあります。
- とくに右記画面のように、サブフォルダーも含めて、C ドライブ全体を指定しないでください。大量の画像が選択されてしまいます。

- フォルダーを指定する場合、目的のフォルダーが属するドライブ名、フォルダー名をすべて入力してください。
  （例えば、「My Pictures」フォルダー内の「family」フォルダーを指定する場合）
  C:￥My Documents￥My Pictures￥family
- 画像はファイル名順に表示されます。スライドショーで表示される順番を変えたい場合は、蔵衛門デジブックのアルバム上で行います。（アルバムの画像の並び順でスライドショーが作成されます。）
  ①「画贈屋さん」で[アルバム登録]を選ぶ。
  ②画像をドラッグ＆ドロップしてアルバム上の並び順を変える。
  ③本書の 78 ページを参照し、アルバム上からスライドショーを起動、作成する。

デジタルビデオカメラで撮った画像を使おう

DV キャプチャー

デジタルビデオカメラで撮影した画像をパソコンに取り込むには、「DV キャプチャー」を使います。

準備するもの
- ●デジタルビデオカメラまたはデジタルビデオデッキ（別売り）
- ● DV ケーブル（別売り 本書 34 ページ）
- ●映像を録画した DV テープ

操作の流れ

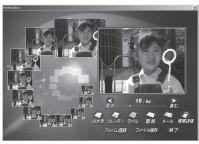
デジタルビデオ機器を接続する 本書 49 ページ

DVキャプチャーを起動する 本書 51 ページ

「DVキャプチャー」で映像を再生します。

次の 3 通りの取り込みができます。

動画からマイベストショットを取り込む

本書 52 ページ

ジョグホイールを回して最高の1ショット（静止画）を選択。

動画を取り込む

本書 55 ページ

最大 3 分までの映像（動画）を取り込み、アルバム登録またはファイル保存。

静止画ファイルとして保存する

本書 54 ページ

[静止画保存]をクリックするごとに、そのときの静止画をファイル保存。瞬間の映像を捉えるには「マイベストショット」が便利。

アルバムに登録 本書 58 ページ

マイベストショットをはがきなどに印刷

本書 68 ページ

用紙デザインと組み合わせるだけではがきを簡単作成。また、カレンダーやシール、ラベル、メールにも活用できます。

デジタルビデオ機器をつなぐ

ここでは、デジタルビデオカメラの例で説明します。

1 パソコンを起動する。

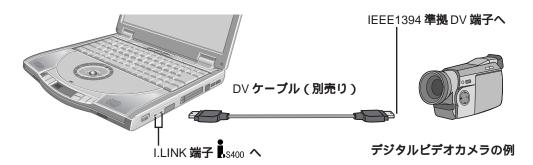
2 デジタルビデオカメラの電源を入れる。

3 デジタルビデオカメラに撮影済みミニDVテープをセットし、再生モード（VTR）にする。

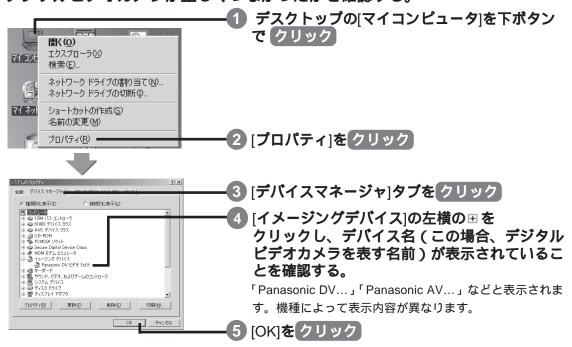
撮影しながら画像を取り込む場合、撮影モードにします。
デジタルビデオカメラの取扱説明書もご覧ください。

4 パソコンとデジタルビデオカメラをDVケーブルでつなぐ。

必ず、デジタルビデオカメラの電源を入れた状態でつなぎます。
初めてつないだときには、新しいハードウェアの追加の画面が表示されることがあります。
画面に従って操作してください。
パソコンがデジタルビデオカメラを認識するまで、若干時間がかかることがあります。

お願い

- DV ケーブルをつないだ状態で、絶対にデジタルビデオカメラの電源を切らないでください。DV ケーブルを外した後に切ってください。
- 「DV キャプチャー」ではパソコンの２つの i.LINK 端子を同時に使用しないでください。

（次ページへ続く）

5 デジタルビデオカメラが正しくつながったかを確認する。

接続 DV ケーブルを取り外すときは

必ず、次の手順に従って取り外してください。

1 **パソコンのi.LINK端子からDVケーブルを取り外す。**

パソコンに DV ケーブルが接続されている状態で、デジタルビデオカメラの電源を切らないでください。

2 **デジタルビデオカメラの電源を切り、DVケーブルを取り外す。**

DV キャプチャーを起動する

お願い

DV キャプチャーを起動する前に

- MotionDV STUDIO や、WinDVD 2000(DVD-ROM ドライブ搭載機種のみ)は終了してください。また、VirusScan などの常駐プログラムやゲームなどの動画表示アプリケーションは終了してください。
- 取り込みの前に、必ず、前ページの手順 *5* でデジタルビデオカメラとの接続を確認してください。

DV キャプチャーが起動しているときに以下の操作をしないでください。動作が不安定になる場合があります。

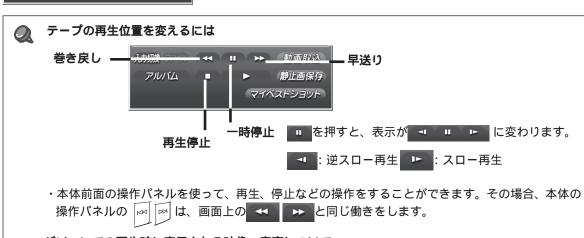
- デジタルビデオカメラの電源の入 / 切。
  特に、オートパワーオフに気をつけてください。
- デジタルビデオカメラの再生 / 撮影モード等の切り換え。
- DV ケーブルの抜き差し。
- デジタルビデオカメラのボタンを使った再生 / 停止 / 早送り / 巻戻しなどの操作。

1 DVキャプチャーを起動する。

2 テープを再生する。

DV キャプチャーでは、再生 / 停止などのテープ操作はすべて画面上のボタンを使います。

テープの再生位置を変えるには

- 本体前面の操作パネルを使って、再生、停止などの操作をすることができます。その場合、本体の操作パネルの は、画面上の と同じ働きをします。

パソコンでの再生時に表示される映像・音声について

動作環境などによっては、コマ落ちする(映像・音声が一瞬途切れる)場合があります。

動画からマイベストショット（静止画）を取り込む

テープを再生しながら、お気に入りの画像（マイベストショット）を選びましょう。
マイベストショットを、はがきやカレンダー、メールなどに簡単に活用したり、蔵衛門デジブックの「アルバム」に登録しておくことができます。

1 デジタルビデオ機器をつなぐ。 本書49ページ

2 DVキャプチャーを起動する。 本書51ページ

3 DVキャプチャーでテープを再生し、マイベストショット（静止画）を選ぶ。

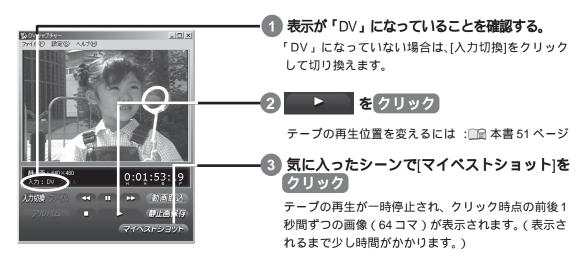
1 表示が「DV」になっていることを確認する。

「DV」になっていない場合は、[入力切換]をクリックして切り換えます。

2 ▶ をクリック

テープの再生位置を変えるには ：本書 51 ページ

3 気に入ったシーンで[マイベストショット]をクリック

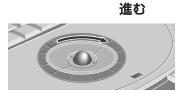
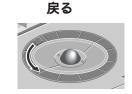
テープの再生が一時停止され、クリック時点の前後1秒間ずつの画像（64コマ）が表示されます。（表示されるまで少し時間がかかります。）

4 ジョグホイールを回してマイベストショットを選ぶ。

選択中の画像

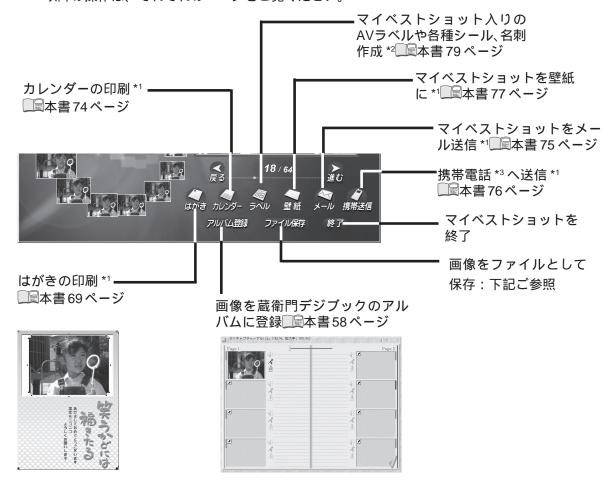
現在選択されている画像が何コマ目かを示します。

進む

戻る

お願い

ジョグホイールはゆっくり回して！
速く回すと、画像の表示が回すスピードに対応できないことがあります。

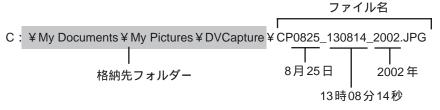
5 画像の活用方法を選ぶ。

以降の操作は、それぞれのページをご覧ください。

*1 クリックすると、蔵衛門デジブックが起動し、選んだ画像が自動的にアルバム（アルバム名「DV キャプチャーアルバム」）に登録されます。

*2 クリックすると、印刷工房 2001for パナソニックが起動します。

*3「ドコアル」が提供する無料サービス「ドコアル i-mode ダイレクト」「ドコアル J ダイレクト」に対応している場合のみ、送信可能です。サービスは予告なく変更または中止されることがあります。

「ファイル保存」について

- 画像（静止画）は、下記の格納先フォルダーに、自動でファイル名がつけられて保存されます。ファイル名の一部に作成年月日、時間が挿入されます。
- 工場出荷時は、JPEG 形式、640 x 480 ピクセル、約 1,600 万色のカラー画像として保存され、1 画像あたり約 180 K バイトのファイルサイズになります。
  （2002 年 8 月 25 日 13 時 08 分 14 秒に保存したときの例）

- デジタルビデオカメラの特殊機能（エフェクト、マルチ画面など）は静止画に反映されない場合があります。
- 保存可能なファイル形式は JPEG または BMP（拡張子 JPG または BMP）です。画像のファイル形式やサイズ、色設定は DV キャプチャーの「設定」→「静止画設定」で変更することができます。

静止画ファイルとして保存する

DVキャプチャーの画面でDVテープを再生し、取り込みたい位置で[静止画保存]をクリックすると、クリックした位置の画像を静止画ファイルとして自動で保存することができます。映像を見ながら、あちこちのシーンを取り込みたいときに便利です。瞬間のベストな映像を捉えるには、マイベストショットのほうが適しています。（本書52ページ）

1 デジタルビデオ機器をつなぐ。本書49ページ

2 DVキャプチャーを起動する。本書51ページ

3 DVキャプチャーでテープを再生し、静止画を取り込む。

① 表示が「DV」になっていることを確認する。

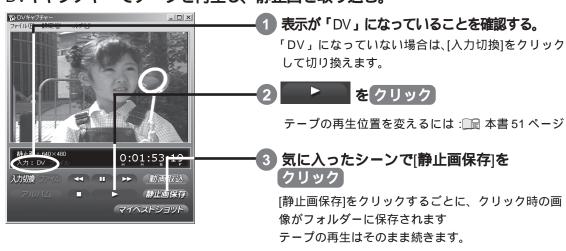
「DV」になっていない場合は、[入力切換]をクリックして切り換えます。

② をクリック

テープの再生位置を変えるには：本書51ページ

③ 気に入ったシーンで[静止画保存]をクリック

[静止画保存]をクリックするごとに、クリック時の画像がフォルダーに保存されます

テープの再生はそのまま続きます。

> **画像の保存先・ファイル名**
>
> 本書53ページ
>
> 同じ時間に複数のキャプチャーが行われた場合、ファイル名の末尾に番号（最大99まで）が追加されます。

4 再生を停止する場合は、をクリックする。

保存した静止画ファイルを使用するには

- 「DVCapture」フォルダーに保存されています。デスクトップの[マイドキュメント]→[My Pictures]→[DVCapture]の順に選ぶと、ファイルを表示することができます。
- ファイルの拡張子が「JPG」の場合、画贈屋さんの画面で[フォルダー]をクリックし、[DVキャプチャー用フォルダー]をクリックして呼び出すことができます（本書47ページ）。呼び出した画像を、はがきやスライドショーなどに活用することができます。

動画を取り込む

デジタルビデオカメラで撮影したテープの映像の中から、またデジタルビデオカメラを撮影しながら動画を取り込み（最大3分間）、動画ファイルとして保存することができます。
また、保存した動画ファイルをメール送信することができます。(本書86ページ)

1 デジタルビデオ機器をつなぐ。本書49ページ

2 DVキャプチャーを起動する。本書51ページ

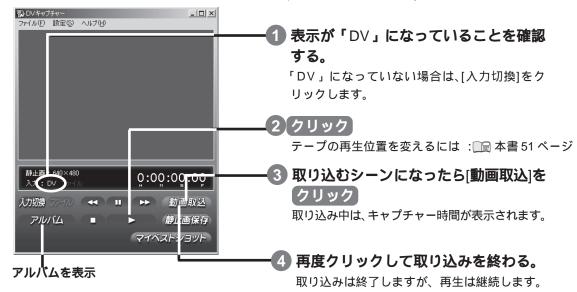
3 DVキャプチャーでテープを再生し、動画を取り込む。

1 表示が「DV」になっていることを確認する。
「DV」になっていない場合は、[入力切換]をクリックします。

2 クリック
テープの再生位置を変えるには：本書51ページ

3 取り込むシーンになったら[動画取込]をクリック
取り込み中は、キャプチャー時間が表示されます。

4 再度クリックして取り込みを終わる。
取り込みは終了しますが、再生は継続します。

アルバムを表示

4 ほかに取り込みたいシーンがあれば、手順3、4をくり返す。
取り込みを終わる場合は、をクリックして再生を停止する。

（次ページへ続く）

動画を編集したい場合には
MotionDV STUDIOで動画を取り込みます。(本書83ページ)
取り込んだ動画のシーンをつなぎ変えたり、いらない部分をカットしたり、特殊効果などを入れてテープに記録することができます。

パソコンでの再生時に表示される映像・音声について
動作環境などによっては、コマ落ちする(映像・音声が一瞬途切れる)場合があります。

5 保存の方法を選ぶ。

•[アルバム保存]を選んだ場合、取り込んだ動画は蔵衛門デジブックのDVキャプチャーアルバムに登録されます。
（ 本書 58 ページ）

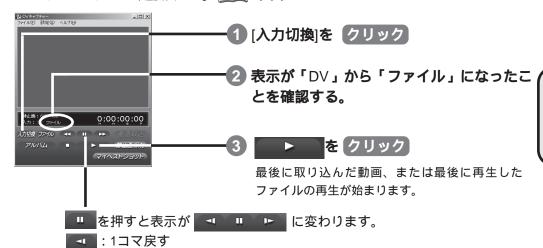
•[フォルダ保存]を選んだ場合、下記のような動画ファイルとして保存されます。

動画ファイルについて

- 最大キャプチャー時間は約 3 分です。1 分あたり約 230 M バイトのファイルサイズになります。ハードディスクの残り容量が 300M バイト以下になると、自動的に取り込みが中止されます。
- ファイル形式は 720 x 480 ピクセル、30 コマ／秒の DV 形式 AVI ファイルです。（拡張子 AVI）
- 取り込んだ動画は、以下のフォルダー、ファイル名で自動的に保存されます。
  ファイル名の一部に、作成年月日、時間が自動的に付けられます。
  2002 年 8 月 25 日 13 時 08 分 14 秒に取り込んだときの例：

取り込んだ動画を再生する

＜フォルダ保存した場合＞

1 DVキャプチャーを起動する。📖 本書51ページ

複数の動画ファイルがある場合､[ファイル]をクリックし、フォルダーと動画ファイル（.AVI）を選んで再生してください。
ただし、DV 形式の AVI ファイル以外は再生できません。

＜アルバム保存した場合＞

アルバム上の動画＊をダブルクリックすると、再生が始まります。

＊末尾付近の静止画像が表示されています。

アルバムのみかた：📖 本書 58 ページ

- 動画ファイルは、ファイルサイズが大きいため、再生の開始やファイルのコピーに時間がかかることがあります。
- 動画ファイルを自動圧縮してメールすることができます。（VideoGift：📖 本書 86 ページ）

アルバムをみたり、編集したりしよう

蔵衛門デジブック for パナソニック（基本操作）

蔵衛門デジブックのアルバムに画像を登録しておくと、実際のアルバムのページをめくる感覚で画像を一覧できます。お気に入りの画像を選んではがきやカレンダー、メールなどに活用できます。＊アルバム上で画像にひとことを添えたり、アルバムの編集も楽しめます。

＊画贈屋さん、マイベストショットの画面から直接、はがきやカレンダーなどの作成を選ぶこともできます。

こんな方法で画像を登録

デジタルカメラや記録メディアの画像

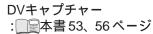
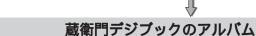
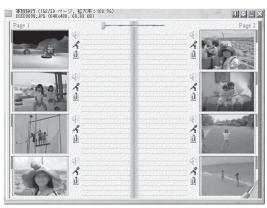
画贈屋さん：本書 38、46 ページ

デジタルビデオカメラで撮った動画やマイベストショット（静止画）

DVキャプチャー：本書 53、56 ページ

画像ファイルやフォルダー

蔵衛門デジブック：本書 65 ページ

蔵衛門デジブックのアルバム

・ここでは、基本的なアルバムの操作を説明します。詳しくは、「ヘルプ」をご覧ください。（本書 67 ページ）
・アルバムに登録した画像をはがきなどに活用する方法は：本書 68 ページ

アルバム上の画像について

アルバム上に表示されているのは、縮小画像（サムネイル）です。実際の画像データは、決められたフォルダーに保存されています。また、動画の場合は、最終フレーム（コマ）の縮小画像が表示されます。

アルバムに用意されている機能（はがき、カレンダー印刷、壁紙、メール送信など）以外に画像データを使う場合は、別途、名前を付けてファイル保存しておいてください。

ファイル保存は、マイベストショットの画面（本書 52 ページ）またはアルバムの画面（アルバムの画像上でトラックボールの下ボタンを押してメニューを表示し、[フレーム]→[画像の活用]→「画像を別名で保存」を選ぶ）で行ってください。

蔵衛門デジブック for パナソニックを起動する

1 デスクトップの アイコンをダブルクリックする。

そのほか、次のようなときに起動します。
・画贈屋さんで「はがき」～「アルバム登録」を選んだとき
・マイベストショットの画面で「ファイル保存」以外を選んだとき
・DV キャプチャーの「動画取り込み」で「アルバム保存」を選んだとき

＜初回起動時のみ＞

[OK]を クリック

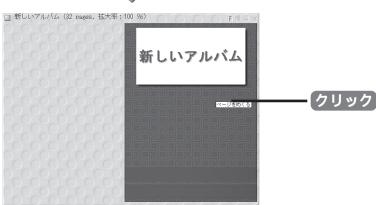
操作の基本は「マウスの右ボタン（本機は下ボタン）」から
下記の本棚ウィンドウやアルバム上で、下ボタンをクリックすると、メニューが表示され、機能を選ぶことができます。

2 アルバムを開く。

＜本棚ウィンドウ＞

目的のアルバム上にポインター（）を置いて クリック

DV キャプチャーで画像を登録した場合は、「DVキャプチャーアルバム」という名前で登録されています。

あらかじめ、四季の美しい写真やかわいいイラストを登録したアルバムが用意されています。

クリック

＜蔵衛門デジブックを終わるときは＞

① アルバム画面の をクリックして、アルバムを閉じる。

② 本棚ウィンドウの をクリックして、本棚を閉じる。

画像 つくる

アルバムの基本操作

アルバム名（表示ページ / 全ページ，拡大率）
ポインター位置の画像のファイル名、ファイルサイズ

レイアウトやアルバム名、BGM などを変更

表示の拡大 / 縮小
▲：拡大　▼：縮小

スライダー
（下記）

コメントを入力する

コメント欄をダブルクリックするか、をクリックすると、コメントボックスが開きます。コメント入力後、[OK]をクリックします。

コメントボックス

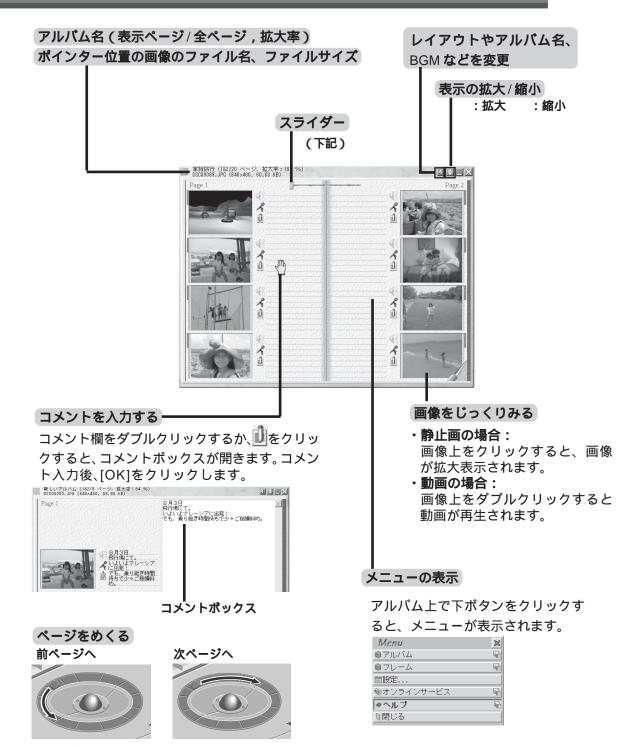
画像をじっくりみる

・静止画の場合：
画像上をクリックすると、画像が拡大表示されます。
・動画の場合：
画像上をダブルクリックすると動画が再生されます。

メニューの表示

アルバム上で下ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。

ページをめくる

前ページへ　　次ページへ

ジョグホイールを回すと、ページがめくられます。早く回しすぎると、ページが進みすぎることがあります。

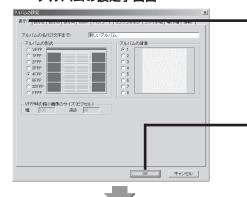
そのほかのページのめくり方
・各ページの左端 / 右端にポインター（☞）をあわせてクリックする。
・スライダーをスライドする。（おおよそのページにジャンプすることができます。）

画像ファイルの詳細情報
画像上にポインターを置いてしばらくすると、その画像ファイルの詳細情報が表示されます。

アルバムのレイアウトなどを変える

1 をクリック

ほかの起動のしかた
本棚ウィンドウの背表紙上で下ボタンをクリックし、[アルバム]→[アルバムの設定]をクリックする。

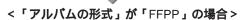
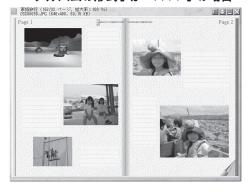
<「アルバムの設定」画面>

2 [表示1]タブをクリック

3 アルバムの形式（レイアウト）や背景、アルバム名などを設定する。

4 [OK]をクリック

アルバムの形式を「FFPP」（フリー）に設定した場合は、画像の順序が変わることがあります。確認のメッセージが表示されますので、順序が変わってもよい場合には、[はい]をクリックします。

<「アルバムの形式」が「FFPP」の場合>

画像 つくる

表紙や背表紙にお気に入りの画像を入れる

1 表紙や背表紙に入れたい画像をファイルとして保存する。

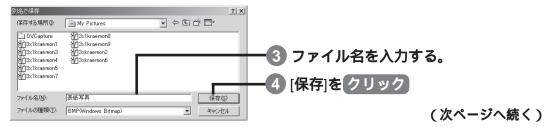
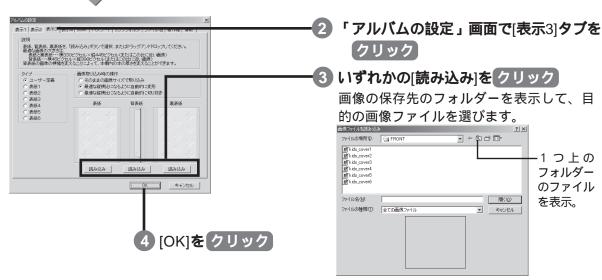
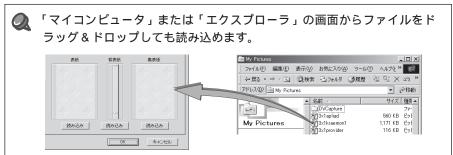
アルバム上の画像をファイルとして保存する場合は次のようにします。

1 表紙に入れたい画像上で下ボタンをクリック
メニューが表示されます。

2 [フレーム]→[画像の活用]→[別名で保存]を順に選ぶ。

3 ファイル名を入力する。

4 [保存]をクリック

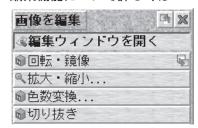
（次ページへ続く）

2 画像ファイルを読み込む。

画像を編集する

アルバムに登録されている画像データについて、切り抜き/回転/鏡像/拡大/縮小/色数変更などの編集をすることができます。

①編集したい画像上にポインターを置き、下ボタンをクリックしてメニューを表示する。

②[フレーム]→[画像を編集]をクリックする。

③下記の中から編集したい機能を選ぶ。

編集機能について詳しくは「ヘルプ」（ 本書67ページ）をご覧ください。

アルバムを編集する

画像を削除する

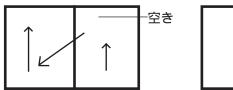
アルバムに登録されている縮小画像（サムネイル）を削除します。削除すると、以降の画像が前につめられます。

①削除したい画像にポインターを置き、下ボタンでクリックする（メニューが表示されます。）
②[フレーム]→[画像を削除]をクリックする。
③[はい]をクリックする。

削除した画像は？

- 静止画の場合、アルバムに表示されている縮小画像（サムネイル）だけが削除され、実際の画像データは削除されません。また、削除された縮小画像は、「削除した画像」というアルバムに集められます。このアルバムから削除すると、画像データをアルバムで利用できなくなります。
- 動画の場合、アルバムに表示されている縮小画像を削除すると、実際の画像データも削除されます。

画像のすき間をつめる

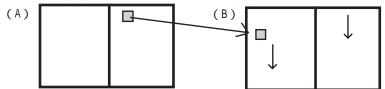
アルバム内の空きスペースをつめます。

①アルバム上で下ボタンをクリックする。（メニューが表示されます。）
②[アルバム]→[アルバムの整理]→[アルバム内で画像がない場所を詰める]をクリックする。
③[はい]をクリックする。

いらないアルバムを削除する

アルバムを削除すると、そのアルバムに登録されていた縮小画像（サムネイル）は「削除したアルバムの画像」というアルバムに集められます。このアルバムを削除すると、削除した画像をアルバムで利用できなくなります。

①本棚ウィンドウ（本書59ページ）で削除したいアルバムの背表紙上を下ボタンでクリックする。（メニューが表示されます。）
②[本棚]→[アルバムを削除]をクリックする。
③[はい]をクリックし、画面に従って削除する。

画像を別のアルバムにコピーする

アルバム（A）の画像を別のアルバム（B）にコピーすることができます。

画像はコピー先に挿入され、以降の画像は、後ろへずれます。

①コピーしたい画像のあるアルバムとコピー先にするアルバムを開く。
②コピーしたい画像にポインターを置き、上ボタンを押したまま、コピー先のアルバムの目的の位置に移動後、上ボタンを離す。（ドラッグ＆ドロップ）

新しいアルバムをつくる

1 **本棚ウィンドウ（ 本書59ページ）で、新しいアルバムを追加したい位置にポインターを置き、下ボタンをクリックしてメニューを表示する。**

2 **[本棚]→[アルバムを作成]をクリックする。**

<「アルバムの設定」画面>

❶ **アルバムの形式（レイアウト）や背景などを設定する。（ 本書61ページ）**

❷ [OK]を **クリック**

3 **アルバムに画像を追加する。（ 本書65ページ）**

次の場合にも、新しいアルバムをつくることができます。

・DVキャプチャーで動画取り込み時に「アルバム保存」を選ぶ、またはマイベストショットで「アルバム登録」を行う。（アルバム名は「DVキャプチャーアルバム」になります。）

・画贈屋さんで「アルバム登録」を行う。

以下の場合は、自動的にアルバムが作成されます。

・マイベストショットで「はがき」「カレンダー」「壁紙」「メール」「携帯送信」を実行する。
（アルバム名は「DVキャプチャーアルバム」になります。）

・画贈屋さんで「ビデオ作品」「CD作品」をつくる。

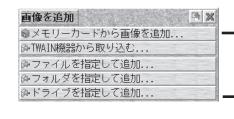
アルバムに画像を追加する

アルバムに画像を追加するには、以下のようにします。
すでに画像がある場所に追加すると、追加した画像は指定した位置に挿入されます。以降の画像が後ろへずれます。

1　アルバムを開き、挿入する位置を指定する。

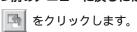
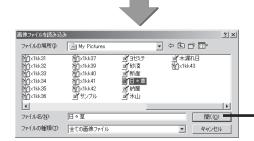
1 追加したい位置の画像上にポインターを置く。

2 下ボタンを クリック

2　[アルバム]→[画像を追加]をクリックする。

1 追加方法を選ぶ。

ここでは、「ファイルを指定して追加...」を選びます。

1つ前のメニューに戻るには

 をクリックします。

2 フォルダーを選び、ファイルを選ぶ。

左記は、「My Documents」の中の「My Pictures」フォルダーにあるサンプル画像を選んだ例。

3 [開く]を クリック

指定位置に画像が挿入され、以降の画像が後ろへずれます。（指定位置の画像は削除されません。）

メモリーカード（記録メディア）の画像を取り込みたいとき

「メモリーカードから画像を追加」を選ぶと、記録メディア（ 本書 36 ページ）内の画像を一括でアルバムに追加できるので、便利です。

TWAIN 対応の機器から画像を取り込みたいとき

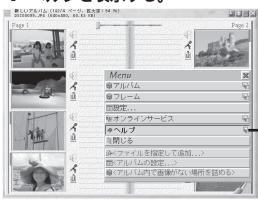
TWAIN 対応のデジタルカメラやスキャナーなどの場合、「TWAIN 機器から取り込む」を選びます。ファイルを介さずパソコンに接続して直接画像を取り込めます。接続方法などについては機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

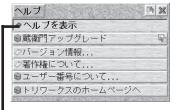
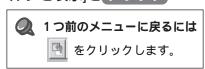
登録できるファイル形式

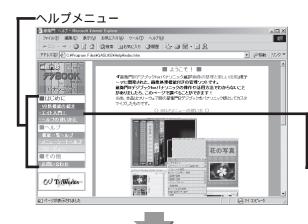
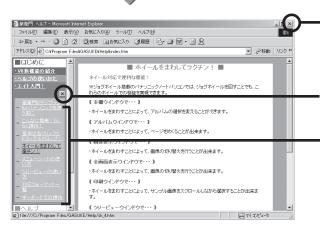
JPEG、ビットマップ、GIF 形式などの静止画ファイル、AVI、ASF 形式などの動画ファイル

ヘルプの使いかた

蔵衛門デジブックには、このほか便利で楽しい機能がいっぱいです。
詳しくは、ヘルプを表示してご覧ください。

1 ヘルプを表示する。

❶ アルバム画面または本棚ウィンドウで、下ボタンを クリック
メニューが表示されます。

❷ [ヘルプ]を クリック

[ヘルプを表示]を クリック

ヘルプメニュー

ここでは、例として、[エイト入門]を クリック

ヘルプを終わるには ☒ を クリック

ヘルプメニューに戻るときに クリック

詳細項目のいずれかを クリック

画像
つくる

取り込んだ画像を活用しよう

以下の画面で選んだ画像を、蔵衛門デジブックの機能を使ってさまざまに活用できます。

<画贈屋さん>

本書 35 ページ

<蔵衛門デジブックのアルバム>

本書 58 ページ

<マイベストショット>

本書 52 ページ

画像を活用する

を選んだ場合の作成例

はがき 本書 69 ページ

カレンダー 本書 74 ページ

携帯電話にメール送信（静止画）

本書 76 ページ

メール送信（静止画）*

本書 75 ページ

*動画の場合は：本書 86 ページ

- 壁紙　：本書 77 ページ
- スライドショー：本書 78 ページ
- ラベル：本書 80 ページ
- 画贈屋さんの「ビデオ作品」「CD作品」については、本書 39、43 ページをご覧ください。

蔵衛門デジブックには、このほかにも便利な機能がいっぱい。ヘルプをご覧ください。
本書 67 ページ

はがきをつくる

お気に入りの画像をはがき（ここでは例として年賀状）に入れて印刷します。

プリンターの準備
パソコンとの接続、設定やドライバーのインストール、用紙のセットなどについては、プリンターの説明書を参照してください。

1 はがき作成の画面を表示する。

<画贈屋さんから始める場合>

本書 38 ページで「はがき」を選ぶ。

<マイベストショットから始める場合>

本書 53 ページで「はがき」を選ぶ。

<蔵衛門デジブックのアルバムから始める場合>

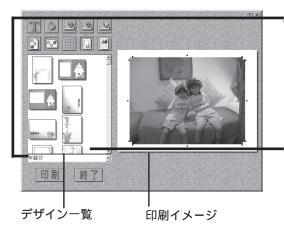
1. アルバムを開く。（ 本書59ページ）
2. 目的の画像上にポインターを置く。
3. 下ボタンを クリック
   メニューが表示されます。
4. [フレーム]→[画像の活用]→[はがきを印刷]を順に クリック

1つ前のメニューに戻るには
 をクリックします。

<蔵衛門デジブックのはがき作成画面>

画像
つくる

デザインを選び、文字を入力する

1 年賀状のデザインを選ぶ。

❶「年賀状」になっていることを確認する。

年賀状以外にも暑中見舞いやクリスマス、バレンタインカードなどのデザインがあります。
▼をクリックして選んでください。

❷ 気に入ったデザインをクリック

ジョグホイールを回すだけで、デザイン一覧をスムーズにスクロールできます。

2 画像の大きさを変える。

❶ ポインター（ ）を画像のいずれかの四隅に置く。

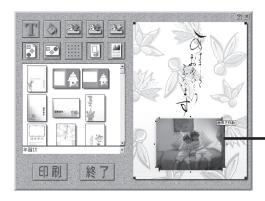
❷ ポインターの形が ↘や↕ 、↔ になったら（そのとき「画像のサイズを変更」と表示されます）、ドラッグ＆ドロップして、ちょうどよい大きさにする。

ドラッグ＆ドロップとは

ポインターを操作対象にあわせて、上ボタンを押したままトラックボールを動かし（ドラッグ）、目的の場所や状態になったら上ボタンを離します（ドロップ）。

縦横等倍に拡大縮小する場合

ポインターが↖の形になったらドラッグ＆ドロップします。

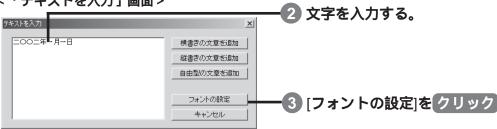
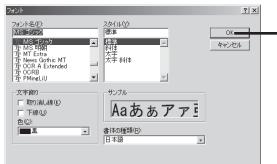
3 画像の位置を調整する。

ポインター（ ）を画像上に置き、上ボタンを押したまま目的の位置にドラッグ＆ドロップする。

4 文字を入れる。（縦書きで「二〇〇二年一月一日」と入れてみます。）

1 [T]を クリック

＜「テキストを入力」画面＞

2 文字を入力する。

3 [フォントの設定]を クリック

5 文字のフォント（書体）やサイズを選ぶ。

1 フォントや色などを選ぶ。

プリンターにインストールされて（組み込まれて）いないフォントを選ぶと、プリンターにインストールされているフォントのいずれかを使って印刷されます。プリンターの説明書をご覧ください。

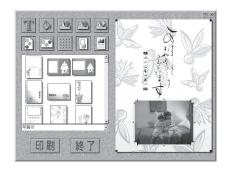
2 [OK]を クリック

3 「テキストを入力」の画面で[縦書きの文章を追加]を クリック

6 文字サイズを調整する。

前ページ手順2と同じようにして文字の大きさを調整することができます。（点線の文字枠サイズに応じて自動的に文字のサイズが変更されます。）

7 文字を移動する。

文字上にポインターをあわせてドラッグ＆ドロップします。

別の場所にも文字を入れる場合

手順4～7をくり返します。

文字を修正/削除するには

印刷イメージの文字上にポインターをあわせてダブルクリックし、文字を入力したのと同じ方法で入力しなおします。また、印刷イメージから文字を削除したいときは、「テキストを入力」画面の文字を消して[OK]をクリックします。

はがきに印刷する

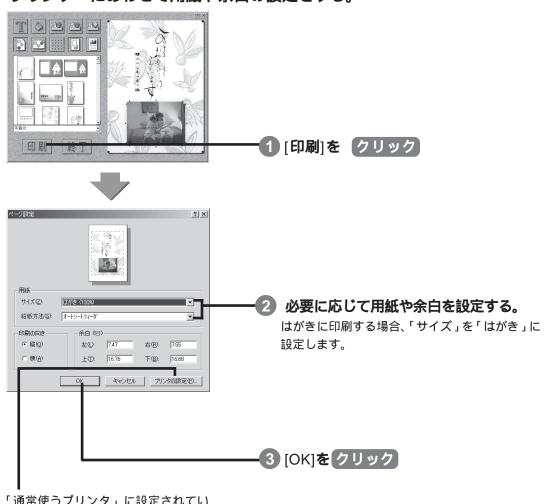
1 **プリンターが印刷可能な状態になっていることを確認する。**

プリンターに付属の説明書もご覧ください。

2 **プリンターにあわせて用紙や余白の設定をする。**

❶ [印刷]を クリック

❷ 必要に応じて用紙や余白を設定する。
はがきに印刷する場合、「サイズ」を「はがき」に設定します。

❸ [OK]を クリック

「通常使うプリンタ」に設定されているプリンター以外のプリンターを使うときクリックして、設定します。

お願い

必ず、試し印刷してください

プリンター（またはプリンタードライバー）によっては、印刷可能範囲の設定と印刷結果がずれることがあります。必ず、使用済みのはがきなどに試し印刷をしてください。

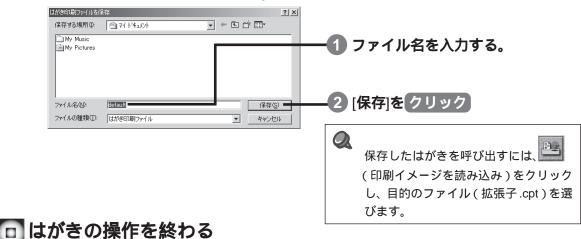
はがきを保存する

保存せずに終了すると、追加、編集した内容が消えてしまいます。保存しておくと、次回、蔵衛門デジブックの「はがき作成」画面で呼び出し、編集したり、印刷したりすることができます。

1 はがき印刷用の「保存」を選ぶ。

2 ファイル名を付けて保存する。

保存したはがきを呼び出すには、（印刷イメージを読み込み）をクリックし、目的のファイル（拡張子.cpt）を選びます。

はがきの操作を終わる

1 はがき作成を終わる。

画像
つくる

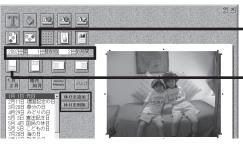
カレンダーをつくる

お気に入りの画像をカレンダーに入れて印刷します。

プリンターの準備
パソコンとの接続、設定やドライバーのインストール、用紙のセットなどについては、プリンターの説明書を参照してください。

1 カレンダー作成の画面を表示する。

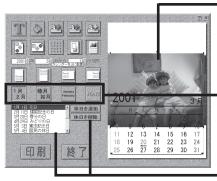
・画贈屋さん（本書38ページ）またはマイベストショット（本書53ページ）の画面で「カレンダー」を選ぶ。
・「蔵衛門デジブックのアルバム」から始める場合、本書75ページ手順*1* 4の代わりに、[フレーム]→[画像の活用]→[カレンダーを印刷]を順にクリックする。

2 カレンダーの月数や配置を設定する。

1 ▼▲をクリックして、何年何月、何か月間のカレンダーをつくるかを設定する。

2 カレンダーの配置（ここでは「カレンダーを下に配置」）を クリック

3 画像やカレンダーの大きさ、位置を調整する。

70ページ手順*2*、*3*と同じようにして調整します。

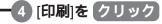
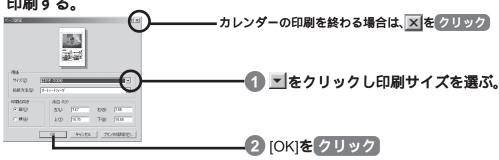
月名を日本語/英語の表記に変えたり、フォントを変えたりできます。

休日について
・春分の日は3月20日、秋分の日は9月23日に設定されています。
・成人の日、体育の日はハッピーマンデイ（休日をその週の月曜日に振り替え）が適用されています。
・年に応じて休日の設定を変えるには、「休日削除」でその休日を削除後、「休日追加」で追加します。

4 [印刷]を クリック

3 印刷する。

カレンダーの印刷を終わる場合は、☒を クリック

1 ▼をクリックし印刷サイズを選ぶ。

2 [OK]を クリック

画像（静止画）をメール送信する

お気に入りの画像（静止画）をメール送信します。

お願い

- 電話回線に接続し、プロバイダーへの加入やパソコンへの通信設定やメールの設定をすませておいてください。（本書 98 〜 106 ページ）
- パソコンへの通信設定後、Internet Explorerを起動して、またはダイヤルアップの接続アイコン（本書 103 ページ手順 *1*、*2*）から、電話回線に正しく接続できることを確認しておいてください。

1 電子メールの送信画面を表示する。

<画贈屋さんから始める場合>

本書 38 ページで「メール」を選ぶ。

<マイベストショットから始める場合>

本書 53 ページで「メール」を選ぶ。

<蔵衛門デジブックのアルバムから始める場合>

1. アルバムを開く。（本書59ページ）
2. 目的の画像上にポインターを置く。
3. 下ボタンを クリック
   メニューが表示されます。
4. [フレーム]→[画像の活用]→[電子メールで画像を送る]を順に クリック

メールの送信設定が完了していない場合、設定画面が表示されます。あなたのメールアドレスとメール送信サーバー（プロバイダーからの書類参照）を入力してください。インターネットスターターなどで Outlook Express の設定が完了している場合、自動的に設定されます。

2 メール送信する。

1. メールアドレス、タイトル、テキスト（本文）を入力する。
   - アドレス帳のデータを読み込み、利用することができます。（67 ページの「ヘルプ」ご参照）
   - ファイルサイズを圧縮することができます。（「JPEG を再圧縮」にチェックマークを付けスライドバーを高圧縮側に移動し、ファイルサイズが大き過ぎないようにします。ただし、高圧縮にするほど画質は粗くなります。）
2. [送信]を クリック
   この後は、画面に従って操作してください。

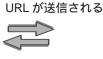
電話回線への接続やメール送信に失敗するなど、エラーが生じた場合、いったん蔵衛門デジブックを終了し、次の処理をしてください。

- Internet Explorer を起動して、またはダイヤルアップの接続アイコンから電話回線に正しく接続できることを確認する。
- 手順 *2* の画面で[詳細設定]をクリックし、設定内容を確認する。

動画を送信する場合

VideoGift を使うと自動的に圧縮して送信できます。（本書 86 ページ）

画像（静止画）を携帯電話にメール送信する

お気に入りの画像（静止画）を携帯電話にメール送信することができます。
携帯電話側で、受け取った画像を待ち受け時の画面に設定することができます。（設定方法については、携帯電話に付属の説明書をご覧ください。）
受信できる携帯電話の種類と受信までのしくみは次の通りです。

縮小し、テキストとともに送信

ドコアルサーバーで画像を保持する（有効期限は 10 日）

URL が送信される

URL に接続し画像をみる

＜相手が J-Phone の場合（ドコアル J ダイレクト）* ＞

縮小し、テキストとともに送信

画像が送信される

- 新型の機種など、相手の携帯電話の機種によっては対応していない場合があります。蔵衛門デジブックの「ヘルプ」でご確認ください。
- ドコアル J ダイレクトは、基本的に J-SKY 対応機種で、ロングメール（有料）に加入している場合に使用できます。ただし、利用できない場合もありますので、蔵衛門デジブックの「ヘルプ」でご確認ください。

* 各サービスは「ドコアル」（http://www.docoal.com）が提供する無料のサービスです。本サービスは、予告なく変更または中止されることがあります。サービスに関しては各サービス提供会社にお問い合わせください。

送信方法は、以下の通りです。

1 前ページ手順*1*で「画贈屋さん」または「マイベストショット」画面から「携帯送信」を選ぶか、＜蔵衛門デジブックのアルバムから始める場合＞の④で[フレーム]→[画像の活用]→[携帯電話に画像を送る]を選ぶ。

2 相手の携帯電話によって［ドコアル i-mode ダイレクト］か、[ドコアル J ダイレクト]を選ぶ。

メールの送信設定が完了していない場合、設定画面が表示されます。あなたのメールアドレスとメール送信サーバー（プロバイダーからの書類参照）を入力してください。インターネットスターターなどで Outlook Express の設定が完了している場合、自動的に設定されます。

① メールアドレス、タイトル、テキスト（本文）を入力する。

i-mode の場合、メールアドレスの一部「@docomo.ne.jp」が自動的に付加されます。メールアドレスの@より前の部分を入力してください。

② [送信] を クリック

この後は、画面に従って操作してください。
送信エラーなどが生じた場合は、前ページを参照してください。

壁紙にする

お気に入りの画像を壁紙（デスクトップの背景画像）にします。

1 壁紙にする画像を指定する。

＜画贈屋さんから始める場合＞

本書 38 ページで「壁紙」を選ぶ。

＜マイベストショットから始める場合＞

本書 53 ページで「壁紙」を選ぶ。

＜蔵衛門デジブックのアルバムから始める場合＞

1. アルバムを開く。（📖 本書59ページ）
2. 目的の画像上にポインターを置く。
3. 下ボタンを クリック
   メニューが表示されます。
4. [フレーム]→[画像の活用]→[壁紙にする]を順に クリック

1つ前のメニューに戻るには：

2 確認メッセージが表示されるので、確認して[はい]をクリックする。

壁紙にする画像を入れ換えるには

上記手順にしたがって設定しなおします。

壁紙（画像）の表示位置を変えるには

①デスクトップの空いているところを下ボタンでクリックし、[プロパティ]をクリックする。
画面のプロパティが表示されます。

②[背景]タブをクリックして、「画面の表示位置」の▼をクリックし、中央に表示 / 並べて表示 / 拡大して表示、のいずれかを選択して[OK]をクリックする。

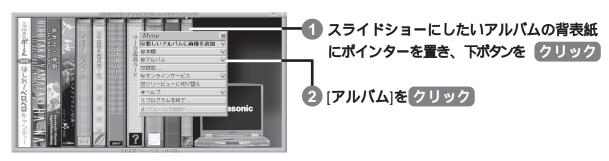
標準の壁紙に戻すには

画面のプロパティ（上記 ①②）で「壁紙」の中からいずれかを選択して[OK]をクリックする。
（蔵衛門デジブックで作成された壁紙の名称は、「Triworks」です。）

スライドショーにして表示する

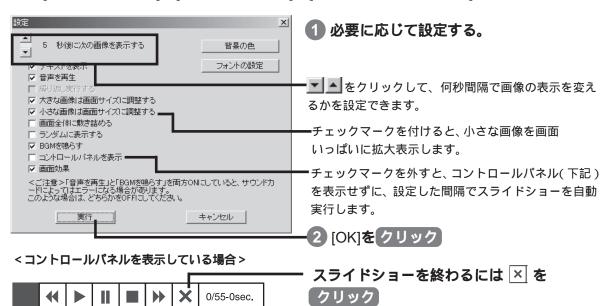
**アルバムに登録した画像を、スライドのように順番に1枚ずつ自動で画面に表示します。
（スライドショーをVHSビデオテープやCDに記録する場合：本書39、43ページ）**

1 蔵衛門デジブックを起動する。（本書59ページ）

2 スライドショーをつくるアルバムを選ぶ。

3 [アルバムの活用]→[スライドショウ]→[スライドショウを実行]をクリックする。

<コントロールパネルを表示している場合>

0/55-0sec.

スライドショーを終わるには ☒ を クリック

一時停止や画像のスキップなどをすることができます。

<コントロールパネルを表示していない場合>

- 設定した秒数の経過を待たずに次の画像へ進むには：画像上をダブルクリックします。
- スライドショーを終わるには：Escを押します。

ラベルやシールをつくろう

印刷工房 2001for **パナソニック**

印刷工房 2001for **パナソニック（以降、「印刷工房」と記載）では、名刺や** CD **・ビデオラベル、あて名ラベルなどのフォームを選び、文字を入力するだけですぐに印刷ができます。また、簡単な操作で画像を入れることもできます。詳しくは「印刷工房** 2001 **ユーザーズガイド」をご覧ください。（本書** 82 **ページ）**

印刷工房の起動のしかた

1 デスクトップの を ダブルクリック

メニューの種類（下記）

終了するときに クリック

（次ページ手順 *2* へ）

初回起動時のみ、右記画面が表示されます。右記画面に名前や住所を入れておくと、名刺やはがきのフォームを選んだときに、名前や住所が自動入力され、便利です。また、何も入力せずに[OK]をクリックしても次ページの手順に進めます。
（右記画面を閉じた後で再度表示する場合、「ユーザー設定」を選んでください。）

そのほかの起動のしかた

「マイベストショット」や「画贈屋さん」の画面で、[ラベル]をクリックします。

マイベストショット

画贈屋さん

メニューの種類

場合に応じてメニューを切り換えて、ラベルのフォームを選ぶことができます。

・工房別：用途（つくりたいラベルの種類）からフォームを選ぶときに。
・用紙別：用紙品番から、その用紙に対応したフォームを探すときに。すでに用紙を持っているときに便利。
・オリジナルフォーム：自分流にアレンジして登録したフォームを選ぶときに。
・最近使ったフォーム：前回の続きの操作をするときに。

写真入りビデオラベルをつくる

ここでは、「画贈屋さん」で選んだ写真の入った、VHSビデオラベルをつくる例を説明します。
＜「画贈屋さん」を使わない場合＞
前ページを参照して印刷工房を起動し、下記手順*2*でフォームを選びます。81、82ページを参照して文字や画像を入力してください。

準備するもの
- ●デジタルカメラ（記録メディア📖本書36ページ）
- ● VHSビデオラベル　：ヒサゴ製光沢紙VHSビデオラベル（1部付属）
- ●プリンター（別売り）：接続方法やドライバーのインストール、パソコンへの設定などについては、プリンターの説明書を参照してください。

1 「画贈屋さん」で写真を選択（📖本書37ページ）し、「ラベル」をクリックする。

[ラベル]をクリック

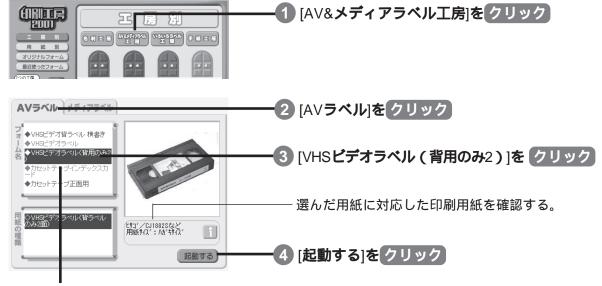
- ユーザー情報設定画面が表示される場合、ここでは入力せずに、[OK]をクリックします。
- 印刷工房がすでに起動していた場合、メッセージが表示されます。いったん印刷工房を終了してください。

お願い

画贈屋さんでは、はがき、カレンダー、ラベル、壁紙、メール、携帯送信をする場合、選択したデジタルカメラの画像は、パソコンに保存されません。パソコンに保存しておきたい場合は、上記画面で「アルバム登録」を選ぶか、ファイル保存（[ファイル]→[フォルダーにコピー]）してください。

2 フォームを選択し、起動する。

1. [AV&メディアラベル工房]をクリック
2. [AVラベル]をクリック
3. [VHSビデオラベル（背用のみ2）]をクリック
4. [起動する]をクリック

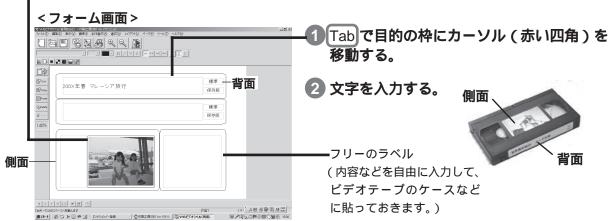
選んだ用紙に対応した印刷用紙を確認する。

ジョグホイールを回すと、フォーム名がスクロールします。

3 内容を入力する。

画贈屋さんやマイベストショットの画面から印刷工房を起動した場合、選択した画像が入力された状態で、フォーム画面が起動します。

<フォーム画面>

❶ Tab で目的の枠にカーソル（赤い四角）を移動する。

❷ 文字を入力する。

画像枠と文字枠

枠には、画像枠と文字枠があります。画像枠には画像のみ、文字枠には文字のみ入力できます。

画像枠　文字枠

画像なし時　画像入力時

各枠のカーソル移動：Tab を押す。

フォームによっては、文字枠の上に画像枠が重なり、文字枠が見えないことがあります。そのような場合は、Tab でカーソルを移動してみてください。

（CD ラベルフォームの例）

CD 全体を覆う画像枠にカーソルがあうと、他の枠が見えなくなる(2)。
カーソルを移動すると後ろに隠れた枠も見える(3)。

※ CD ラベル（別売り）に印刷した場合は、CD ラベルのパッケージにある説明をよく読み、ずれたり、しわができたりしないようにきっちりと CD にラベルを貼付してください。

4 文字を大きくし、枠の中央に配置する。

VHSビデオラベル －印刷工房2001 for パナソニック
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) 全体書式(A) 書式(O) レイアウト(L) ページ(P)
MS Pゴシック 18

❶ ▼をクリックして、大きさを選ぶ。

❷ ここでは、(中央揃え)を クリック

5 をクリックして印刷イメージを確認し、印刷する。

印刷プレビューの画面から ・印刷する場合は→[印刷]をクリック。
・編集画面に戻る場合は→[閉じる]をクリック。

ラベルのプリンターへのセット方法は、プリンターに付属の説明書をご覧ください。
（ヒサゴ製光沢紙VHS ビデオラベルははがきサイズです。印刷前に他の用紙に試し印刷することをおすすめします。）

画像 つくる

画像を入れる、または入れ換えるには

「フォーム画面」で画像枠をクリックすると、下記の画面が表示されます。目的のフォルダーを選び、画像を選んでください。（下記のレイアウトモードでは、画像や文字を入力できません。）

- 蔵衛門デジブックのアルバムに登録した画像を使う場合、画像をフォルダーに「別名で保存」しておいてください。
  （本書 58 ページ最下部）
- フォーム画面を終了後、フォームに入力した画像ファイルを移動、削除した場合、画像が入力されていた枠は空白になります。

枠の位置や大きさを調整するには

下記のようにしてレイアウトモードに切り換えて操作します。

①[レイアウト]→[レイアウトモード]をクリックしてチェックマークを付けるか、

をクリックする。

各枠をドラッグすると、位置を調整できます。
各辺の■をドラッグすると、大きさを調整できます。

「レイアウトモード」では文字や画像の入力はできません。

印刷工房ユーザーズガイドを表示する

印刷工房の機能について、さらに詳しく知りたいときには、「印刷工房ユーザーズガイド（PDF 形式）」を参照してください。

1 **[スタート]をクリックし、[プログラム]→[いんさつどう？ラク！]→[印刷工房 2001ユーザーズガイド]をクリックする。**

●はじめて起動したとき

- Acrobat Reader の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示された場合、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。
- 取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法：『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

デジタルビデオカメラの動画を編集しよう

MotionDV STUDIO

MotionDV STUDIO の概要

●ノンリニア編集

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込み（AVI ファイル）、次のような編集をしたり、効果を入れたりできます。

・映像の不要な部分を削除したり、順番を変えたりする。
・映像や映像のつなぎ目に特殊効果を入れる。
・音声ファイルの音声を追加したり、タイトルを入れたりする。
・編集した映像をテープに録画する。

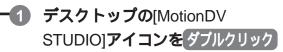
●リニア編集

デジタルビデオ機器を 2 台つなぎ、再生・編集しながら録画したり、テープをダビング（コピー）したりする。

●MotionDV STUDIOで取り込み、編集した動画ファイルを、自動圧縮してメール送信することができます。（VideoGift： 本書 86 ページ）

MotionDV STUDIOの操作方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。
（ 本書 84 ページ）

MotionDV STUDIOを起動する

1 デスクトップの[MotionDV STUDIO]アイコンをダブルクリック

2 <初回起動時のみ>
使用許諾書が表示されるので、よく読み、[同意する]をクリック

お願い

ご使用の前に

・このソフトウェアに収録されているサンプル画像などは、個人で楽しむ目的のみに使用できます。営利目的に使用する場合には、権利者の承諾が必要です。
・ほかのアプリケーションや VirusScan などの常駐プログラムは、終了してください。
・動画の再生・取り込み時のコマ落ちを防ぐため、Microsoft ® Office XP Personal を再インストールする際には、『一問一答集』147 ページの「お願い」に記載されているアプリケーションを「インストールしない」に設定してください。（工場出荷時には「インストールしない」に設定されています。）

オンラインマニュアルを表示する

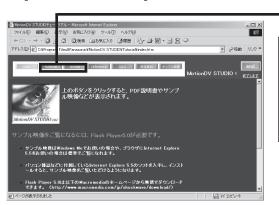
MotionDV STUDIO には、目的に応じていろいろなオンラインマニュアルが用意されています。

・お買い上げ後はじめて PDF 形式のファイル（下記の「チュートリアル」や次ページの「取扱説明書」など）を開いたときは、Acrobat® Reader の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

・PDF 形式ファイルの操作方法は 『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

基本的な操作説明がみたいとき

オンラインマニュアルの「movie」または「チュートリアル」を参照します。

1 [スタート]をクリックし、[プログラム]→[Panasonic]→[MotionDV STUDIO3]→[チュートリアル]をクリックする。

[movie]または[tutorial]を クリック

その他のメニュー

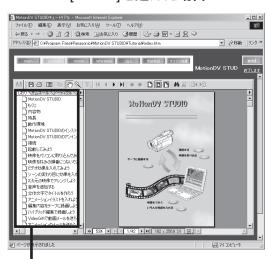
「Q&A」　　　　：困ったときに

「用語解説」　：専門用語を調べる

「サンプル映像」：ビデオ効果やトランジョン効果がどんなものか調べる

＜[movie]を選んだ場合＞

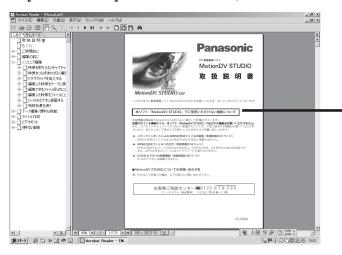
基本操作をリアルな映像でみられる。

＜[tutorial]を選んだ場合＞

主な機能をやさしく説明。

詳しく知りたいとき

オンラインマニュアルの「取扱説明書」を参照します。

> **前ページのチュートリアル画面から「reference」をクリックしても参照できます。**
> **印刷する場合は、[スタート]メニューから「取扱説明書」を選ぶほうがよりきれいに印刷できます。**

1 **[スタート]をクリックし、[プログラム]→[Panasonic]→[MotionDV STUDIO3]→[取扱説明書]をクリックする。**

表紙の内容をよくお読みください。

下記の項目について、本機の仕様が「取扱説明書」（オンラインマニュアル）の内容と異なります。

オンラインマニュアル（本文）タイトル名		補　足　説　明
ご使用前に	内容物	**下記のものは、本機に付属しておりません。** • MotionDV STUDIO の CD-ROM • DV インターフェースカード *1 • DV ケーブル *2 *1 本機には i.LINK 端子が装備されているため、不要です。 *2 別売りの「DV ケーブル（下記）」をご使用ください。
	MotionDV STUDIO のインストール	MotionDV STUDIO のインストールは、不要です。 （本機にはあらかじめインストールされています。）
編集の前に	接続	MotionDV STUDIO 取扱説明書に従って、本機の i.LINK 端子に別売りの「DV ケーブル（4 ピン -4 ピン）」を接続してください。 i.LINK 端子 <DVケーブル> 本機のi.LINK端子とデジタルビデオ機器のIEEE1394準拠DV端子を接続するケーブルです。本機の場合、[4ピン-4ピン]端子付きものをご使用ください。ケーブルの呼び名は商品によって異なることがあります。 （お問い合わせ先：本書34ページ）
	MotionDV STUDIO の起動	デスクトップの「MotionDV STUDIO」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。

動画をメール送信しよう

VideoGift

デジタルビデオカメラなどで撮影した動画は、ファイルサイズが大きく、メール送信するとエラーになってしまいます。VideoGift を使うと、デジタルビデオカメラなどから取り込んだ動画ファイルを圧縮し、メールに付けて送信することができます。
遠くの親戚や友人に、撮影したお子様や旅行先の映像などをみせてあげましょう。

操作の流れ

動画ファイルを準備する 本書 55、83 ページ

動画を取り込んで動画ファイルとして保存しておきます。
（DV キャプチャーや MotionDV STUDIO で動画を取り込むことができます。）
扱える動画ファイルは、AVI ファイルまたは ASF ファイルです。（本書 87 ページ）

VideoGiftを起動する

動画を確認する

メールに付けて送信する

メールを受け取ったら

添付のファイルをダブルクリックすると、Windows Media™ Player が起動して、動画を再生することができます。

操作の前に

メール送信するための準備

・電話回線に接続して、プロバイダーへ加入する。（本書 98~106 ページ）
・通信の設定をして、メールソフトを使える状態にする。

受信側のパソコンの準備

送信した動画を受信側で再生するには、受信側のパソコンに Windows Media™ Player 6.4 以降が必要です。
インストールの方法がメールを送信する際の画面に表示されます。
受信側で準備できるようにその文章を選択してコピー（Ctrl +C）し、送信するメールの本文に貼り付け（Ctrl+V）しておくことをおすすめします。（本書 90 ページ）

VideoGift で扱える動画ファイルについて

AVI ファイル、または ASF ファイル
（ファイルサイズが 1 G バイトを超える場合は、1 G バイトまで扱えます。）
・AVI ファイル：「Audio Video Interleaving」の略で、音声付きの動画を扱うためのファイルフォーマットです。VidoeGift では自動的に AVI ファイルを圧縮し ASF ファイルに変換します。
・ASF ファイル：「Advanced Steaming Format」の略で、動画や音声などのマルチメディアデータをインターネットなどのネットワークから受信しながら再生できるファイルフォーマットです。電話回線などを使ってデータを受信した際、従来はすべてのデータを受信するまでみることができませんでしたが、このフォーマットを使用することにより受信しながらデータをみることができるようになりました。

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

VideoGift の機能について、さらに詳しく知りたいときには、「取扱説明書（PDF 形式）」を参照してください。

1 [スタート]メニューをクリックし、[プログラム]→[CNC]→[VideoGift]→[取扱説明書]をクリックする。

●はじめて起動したとき
・Acrobat Reader の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示された場合、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。
・取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法は 『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

画像つくる

VideoGift を起動する

デスクトップの[VideoGift]アイコンを ダブルクリック

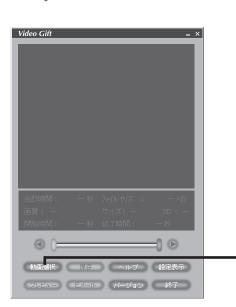
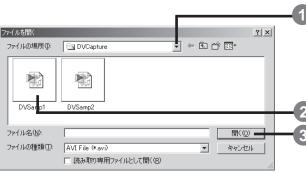
ほかの起動のしかた

- MotionDV STUDIO の画面で[ファイル]→[出力]→[ビデオギフト]を選んで起動できます。
- [スタート]メニューから[プログラム]→[CNC]→[VideoGift]→[VideoGift]を順にクリックして起動することができます。

蔵衛門デジブック for パナソニックからの起動

アルバム(本書 58 ページ)に登録した動画を VideoGift で送信することができます。

①アルバムで送信したい動画上にポインターを置き、下ボタンをクリックする。

② [フレーム]→[アプリケーションから開く]→[VideoGift]を順に選ぶ。

[動画選択]を クリック

1 「ファイルの場所」の ▼ をクリックして、動画が保存されているフォルダーを開く。

2 送信する動画ファイルを クリック

3 [開く]を クリック

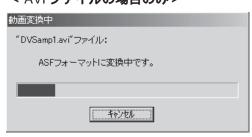
動画を確認する

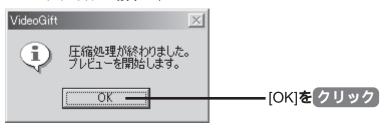
送信する範囲を指定する場合
プレビューを表示する前に次のようにして範囲を指定します。
①再生開始位置のポインターを ドラッグ
②再生終了位置のポインターを ドラッグ
位置を微調整するには開始位置または終了位置ポインターをクリックしてから (戻る)または (進む)をクリックして調整してください。

プレビューウィンドウ

このポインターで動画の再生開始位置と終了位置を変え、送信範囲を指定できます。

[プレビュー]を クリック

＜ AVI ファイルの場合のみ＞

動画が AVI ファイルの場合
圧縮が開始され、ASF ファイルに変換されます。
動画が ASF ファイルの場合
プレビューウィンドウで再生が始まります。

＜ AVI ファイルの場合のみ＞

プレビューウィンドウで動画の再生が始まります。

メールに付けて送信する

メールを送信する。

[Eメール]を クリック

1 メール送信についての注意を読む。

2 メールにこの文章を追加する場合は、ドラッグして文章全体を範囲指定し Ctrl + C でコピーする。

3 [OK]を クリック

- 設定されているメールソフトがOutlook Express（工場出荷時）の場合、自動的にメールソフトが起動して圧縮した動画が添付されます。
- Outlook ExpressやOutlook以外のメールソフトが設定されている場合は自動的に動画ファイルが保存されているフォルダーが開き、同時にメールソフトが起動します。動画ファイルをメールソフトの画面へドラッグ＆ドロップして、添付してください。（VideoGift の取扱説明書（オンラインマニュアル）をご覧ください。）

1 宛先、件名、メッセージなどを入力する。（メールの送信方法は：『はじめましてパソコン』）

2 [送信]を クリック

上記でコピーしたインストール方法を本文に追加する場合は、Ctrl+Vで貼り付けます。

＜VideoGift を終了する場合＞

[終了]を クリック

デジタルビデオカメラを使ってテレビ電話のように話そう

DV@Talk

お手持ちの当社製デジタルビデオカメラ（以後、ビデオカメラと記載）とインターネットを使って、テレビ電話のように相手の顔や声を確かめながら通話できます。
そのほか、次のようなこともできます。
・送信する映像にフレームや画像（イラストなど）をつける。
・録画した映像を送る。
・文字の入力だけ（チャット）、または絵と文字で通信する。

操作方法については「取扱説明書*」、補足事項や制限については「はじめにお読みください*」をご覧ください。
*いずれもオンラインマニュアルです。表示方法は：次ページ

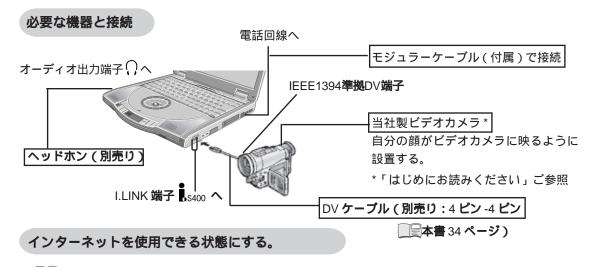
準備すること

ご使用の前に

●DV@Talkは、下記のソフトウェアと連動して働きます。
（本機にはあらかじめインストールされています。）
- MSN Messenger Service3.0以上
  ([スタート]→[プログラム]→[MSN Messenger Service])
- NetMeeting3.01以上
  ([スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[NetMeeting])
- Microsoft DirectX7.0以上

●相手のパソコンにDV@Talkおよび上記のソフトウェアがインストールされていることが必要です。（確認・インストール方法→オンラインマニュアル「ご使用の前に」）

必要な機器と接続

インターネットを使用できる状態にする。

（本書98～106ページ）
インターネットに直接ダイヤルアップ接続（ファイヤーウォールやルーターを介さない）できるか、通話したい相手と同じネットワーク（LAN）上にいることが必要です。

ご使用前の設定をする（最初に1回）

相手のパソコンでも以下の設定が必要です。
- MSN Messenger ServiceでHotmailアカウント（Passportともいう）を取得する。
- NetMeetingの初期設定をする。

（いずれも→オンラインマニュアル「ご使用前に」）

快適にお使いいただくための設定をする

- 通話音量などの設定をします。（→オンラインマニュアル「快適にお使いいただくために」）
- 通話したい相手を、あらかじめ、MSN Messenger Serviceでメンバーとして登録しておくと便利です。（→オンラインマニュアル「アクセスメンバーを登録する」）

操作の概要（詳しくは→「オンラインマニュアル」）

パソコンを電話回線に接続し、ビデオカメラを接続する　（本書 98、91 ページ）

パソコンを起動し、撮影モードにしたビデオカメラと接続します。

DV@TALK を起動する　（→オンラインマニュアル「アクセスする」）

デスクトップの[DV@TALK]アイコンをダブルクリックします。

・NetMeetingの設定がまだの場合､DV@TALKの初回起動時に設定画面が表示されます。
（オンラインマニュアル「ご使用前に」を参照し、設定してください。）

通話する相手につなぐ（→オンラインマニュアル「アクセスする」）

＜招待する側（ホスト側）＞
招待する側は、招待する相手にこれから通信する旨、電話などで伝えておきます。

①[接続] をクリック。

②プロバイダーへの接続画面が表示されるので[接続]をクリック。

③オンライン中からアクセスする相手を選び、トラックボールの下ボタンをクリックして[Panasonic DV@Talk]を選ぶ。

＜招待される側＞
パソコンを起動し、ビデオカメラを接続しておきます。招待する側の上記手順③が終わると、右記メッセージが表示されますので次の操作をします。
①右記メッセージをクリック。
②インスタントメッセージ画面が表示され、確認メッセージが表示されるので[承諾]をクリック。
DV@Talkが自動的に起動します。

＜招待する側（ホスト側）・招待される側＞
接続を確立するかどうかのメッセージが表示されます。
①招待される側が[はい]をクリック。
「相手の画面」と「自分の画面」にそれぞれの画像が映ります。

通話する（→オンラインマニュアル「通話する」）

ビデオカメラのマイクに向かって通話します。自分の音声はパソコンのスピーカーから聞こえます。
パソコンの画面には両方の映像が映ります。
回線を切断するには「相手の画面」の[切断]をクリック。終了するには[通話]→[DV@Talkの終了]をクリック。

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

1 [スタート]メニューをクリックし、[プログラム]→[Panasonic]→[DV@Talk]→[取扱説明書]または[はじめにお読みください]をクリックする。

●はじめて起動したとき
・Acrobat Readerの「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示された場合、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。
・取扱説明書（PDF形式ファイル）の操作方法は『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

いろいろな機器のデータを扱うのに便利な機能

CN-Stage

パソコン本体には、デジタルビデオカメラをはじめ、さまざまな機器がつながります。CN-Stageの画面でそれらのさまざまなデータを一括して扱うことができ、便利です。
具体的には、次のようなことができます。

●メディアデータ管理
パソコン本体のハードディスクやCD-ROMなどのデータ、パソコンにつながっているデジタルビデオ機器（デジタルビデオカメラやデッキ）やメディア（記録媒体）のデータをアイコン化して登録管理し、整理します。

●デジタルビデオ機器コントロール
パソコンにつながっているデジタルビデオ機器の再生/記録/出力などをパソコン側からコントロールできます。

●メディアコンバート
デジタルビデオ機器によって記録されたコンテンツ（素材データ）、パソコンに記録されているコンテンツなどのフォーマットを変換します。

●ラウンチャー機能
データの種類に応じたアプリケーションを簡単に起動できます。

それぞれの機能については、CN-Stageの取扱説明書（オンラインマニュアル）で詳しく説明しています。

使用上のお願い

CN-Stage使用中に、i.LINK端子に接続されたデジタルビデオ機器を使用する場合、絶対に以下の操作をしないでください。パソコンの不具合、DVカセット（DVテープ）に記録されたビデオ映像の破損、ハードディスクに記録されているデータの破損につながる場合があります。

- DVケーブルを抜かないでください。
- 新たに別のデジタルビデオ機器を接続しないでください。
- デジタルビデオ機器側で[停止][早送り]などの操作ボタンを押さないでください。
- i.LINK端子に接続されているデジタルビデオ機器の電源を切らないでください。
- i.LINK端子に接続されている、電源の入っていないデジタルビデオ機器の電源を入れないでください。

これらの操作はCN-Stageを終了してから行ってください。

CN-Stage の起動のしかた

1 デスクトップの[CN-Stage]アイコンを ダブルクリック

サムネイル
選択中のデバイスに記録されているコンテンツがアイコン化されて、表示されます。

パソコンに内蔵のデバイスと、パソコンとつながっているデバイスをアイコン化して表示します。（下記）

各コンテンツやデバイスに対して使用できる機能が表示されます。

扱うことのできるデバイス（データをやり取りできる機器）
- 内蔵のハードディスク
- 内蔵の CD-R/RW ドライブ、または DVD-ROM ドライブ
- フロッピーディスクドライブ（付属）
- DV 機器（デジタルビデオカメラなど i.LINK 端子でつながるもの）
- SD メモリーカード（本書 24 ページ）、マルチメディアカード
- デジタルスチルカメラ用のメモリーカード
  (コンパクトフラッシュカード、スマートメディア、メモリースティック)

扱うことのできるデータ形式
CN-Stage の取扱説明書（下記）をご覧ください。

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

1 [スタート]をクリックし､[プログラム]→[CNC]→[CN-Stage]→[取扱説明書]をクリックする。

- お買い上げ後はじめて PDF 形式のファイルを開いたときは、Acrobat® Reader の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示されます。内容を確認の上､[同意する]を選んでください。
- 取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法は 『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

インターネット・メール

インターネット

インターネットが簡単に始められる、探検ができる。

簡単にプロバイダー Hi-HO（接続会社）に加入し、すぐにインターネットが始められる「インターネットスターター」、「どんなページを見たらいいの」というときに、いろいろなジャンルのホームページをご紹介する「ウェブナビゲーター」など、インターネット生活をサポートします。

電子メール

文字やイラスト、写真付きなど楽しいメールが簡単に。

メールの内容に合わせてかわいい文字イラストを入れたり、写真や動画ファイルを添付してメール送信できるなど、メールが楽しくなる機能がいっぱいです。

インターネットにつなぐまでの準備

インターネットは、世界的規模のコンピューターネットワークです。
インターネットにつなぐと、ご家庭に居ながらにして様々な情報の入手、ショッピングやビジネス、コミュニケーションが可能になります。
ここでは、パソコンをインターネットにつなぐまでに必要なことをまとめています。

インターネットするのに使う機器を確認

インターネットするために必要な「モデム *」が本機に内蔵されています。
この内蔵モデムと電話回線を接続して通信するのが一般的です。
* モデムは、電話回線を通じて、パソコン間の通信ができるようにするための機器です。

電話回線に接続する（ 本書 98 ページ）

パソコンのモデムコネクターと電話回線をつなぎます。

プロバイダーに加入し、パソコンに通信の設定をする（ 本書 99 ページ）

プロバイダーは、パソコンをインターネットにつなぐ橋渡しを行う業者です。
インターネットにつなぐには、必ずプロバイダーに加入します。
本機には、簡単な操作でプロバイダーHi-HOに加入してすぐにインターネットをスタートできる「インターネットスターター」を用意しています。

Hi-HO に加入しているけれど本機への通信設定がまだの場合、インターネットスターターの「再設定」で設定できます。(本書 101 ページ)

インターネットにつないで通信する（ 本書 107 ページ）

インターネットにつないで、ホームページを見たり、電子メールを送受信したりします。

インターネットにつなぐ際には、使用場所や使用する電話回線にあわせて、ダイヤル方法を設定する必要があります。
接続のつど、気をつけましょう。(本書 106 ページ)

さらに

より快適に通信

ISDN 回線とターミナルアダプター（別売り）を使うと、データ通信がより高速になります。
また､パソコンでインターネットを使用しているときでも､電話機で電話をかけることができます。
電話回線を ISDN 回線に変更する場合は、NTT に工事を申し込む必要があります。また、ターミナルアダプターとの接続・設定方法については、ターミナルアダプターに付属の説明書をご覧ください。

携帯 /PHS 電話を使って通信する

電話回線のない場所からは携帯電話やPHS電話を使って､インターネットにつなぐことができます。（『一問一答集』）

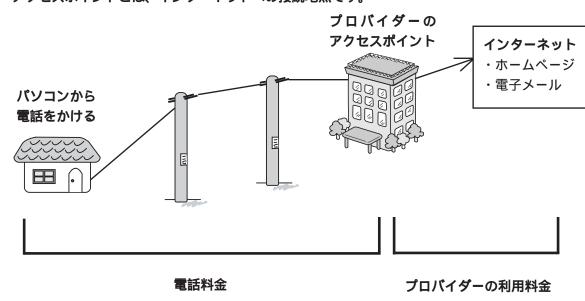
インターネットへつなぐのに必要な料金

プロバイダーの利用料金とアクセスポイント * までの電話料金がかかります。
（プロバイダーによっては、新規加入料金が必要な場合もあります。）
インターネットにつなぐときは常に電話料金のことを意識しておきます。アクセスポイントの電話番号が市内か市外かに注意し、プロバイダーが用意しているアクセスポイントの中から、１番近いアクセスポイントを選びましょう。

* アクセスポイントとは、インターネットへの接続地点です。

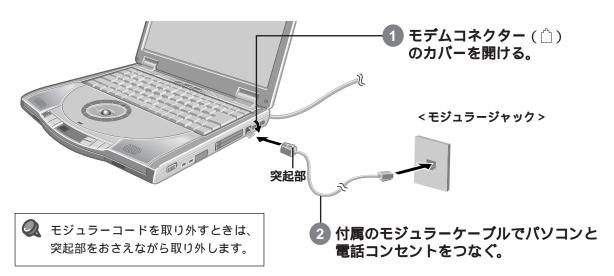
電話料金

プロバイダーの利用料金

インターネット・メール

電話回線に接続する

電話コンセントがモジュラージャックの場合、下図のようにモジュラーケーブルをそのままつなぎます。

 モジュラーコードを取り外すときは、突起部をおさえながら取り外します。

お願い

使用する電話回線について

モデムは、日本国内の一般電話回線で使用してください。

- 会社、事務所等の内線電話回線等には、接続しないでください。（『はじめましてパソコン』「安全上のご注意」）
- 以下の特性が異なる回線に接続すると、本機が故障する恐れがあります。
  NTT のピンク電話の回線 / ホームテレホン（接続ボックス）/ 玄関ドアホン等 / 日本国外の回線
- 使用する電話回線によっては、事前に工事をしたり、モジュラープラグ付きケーブルなどの購入が必要な場合があります。（『一問一答集』）

プロバイダーに加入し、パソコンに通信の設定をする

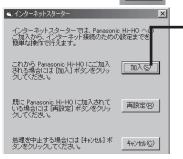
インターネットスターター /INTERNET ボタン

Hi-HO に加入し、通信の設定をする

「インターネットスターター」を使用すると、プロバイダー「Panasonic Hi-HO」に電話回線を通して接続し、簡単に加入できます。フリーダイヤルで接続するため、加入手続き中の電話料金はかかりません。また、手続き終了後、自動的にインターネット接続設定やメールの設定が行われるので、自分で複雑な設定をする必要がなくとても便利です。(「Internet Explorer (Ver.5.5)」*、「Outlook Express (Ver.5.5)」* を使用することを前提として、自動的に通信設定を行います。　* 工場出荷時、インストール済みです。)

準備するもの
- **クレジットカード**
  使用できるのは、JCB・VISA・MASTER・DC・UC・ミリオン・NICOS・AMEX・ダイナース・Pana カード・松下カード(2001 年 4 月現在)
- **希望するメールアカウントを決める**
  電子メールをやり取りするのに必要な「利用者を示す識別名」です。またメールアドレスの一部としても使用されます。
  (例)「松下太郎」さんの場合
  matsushita_taro　taro_chan　matsu-taro
  希望のメールアカウントがすでに誰かに割り当てられている場合、登録できません。

1 電話回線に接続する。(本書98ページ)
携帯電話や PHS 電話は使用できません。

2 デスクトップの **をダブルクリックする。**

[加入]を クリック

そのほかの起動のしかた
- プロバイダーメニューから起動する。(下記)
- Panasonic PCオンラインメンバー登録時に「Hi-HOに加入する」を選ぶ。
- INTERNET ボタンを使う。(本書 102 ページ)

(次ページへ続く)

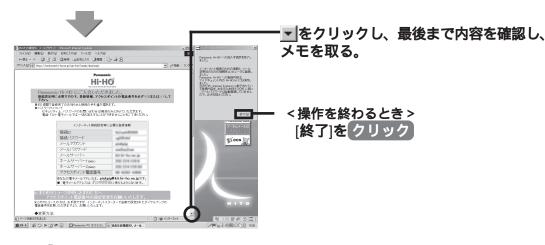
プロバイダーメニューから他のプロバイダーにも加入できます

目的のプロバイダーをクリックします。
登録(オンラインサインアップ)ソフトが起動しますので、画面上の説明および付属のパンフレットを参照して操作してください。サインアップの途中で再起動を促す画面が表示された場合は、画面に従って再起動してください。
- モデムを選ぶ画面では、本機の内蔵モデムを使う場合、「Panasonic Internal Softmodem」を選びます。
  ドコモ AOL の場合、「PCTel(Generic)ポート:COM3」が本機の内蔵モデムに相当します。

プロバイダーメニューの表示をやめるには
プロバイダーメニューの ☒ をクリックし、メッセージをよく確認して[OK]をクリックします。
再度、プロバイダーメニューを表示する場合、[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[プロバイダーメニュー]をクリックします。

この後の登録操作は、『はじめましてパソコン』「オンラインメンバー登録をする」の「Pana Information ID を持っていない・メールアドレスを持っていない」の手順*2*以降をご覧ください。

加入手続きが終わると、Hi-HO に登録された情報が表示され、その情報がパソコンに自動で設定されます。

お願い

必ずメモしておいてください

- **接続 ID、パスワード、メールアカウントなどは必ず、『はじめましてパソコン』の「メモ(パスワード・ID など記入用)」に記入しておいてください。**
- **メールパスワードは、電子メール操作時に入力する必要があります（本書 120 ページ）ので特に気をつけてメモしてください。（その他の登録情報は、インターネットスターターが自動でパソコンに設定してくれます。）また、この情報は、「マイドキュメント」フォルダーに「hi-ho.txt」というファイル名で保存されています。このファイルを開いて、参照することもできます。**
- **メールアカウントが使えるようになるまで約 2 時間かかります。**

正式な会員証が届いたら

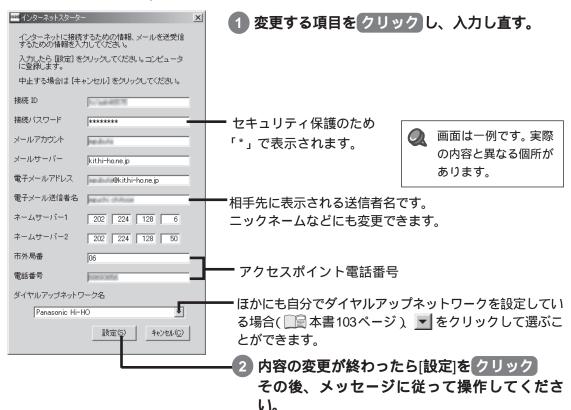
Hi-HO に加入後、約 10 日後に、正式な会員証や説明書などの書類が郵送されます。
加入時にメモした登録情報と郵送された書類に違いがないか確認してください。
また、郵送された書類は、大切に保管してください。
サーバーなどの管理のため、まれに「接続パスワード」などが変更されていることがあります。そのような場合は、次ページを参照して設定を変更してください。

設定内容を変更するとき

接続パスワードなどが変更になったときやパソコンの再インストール（『一問一答集』）により通信設定が削除されたときなどは、設定し直すことができます。

1 デスクトップの[インターネットスターター]アイコンをダブルクリックする。

2 設定内容を変更する。

画面は一例です。実際の内容と異なる個所があります。

3 必要に応じて、ダイヤル方法を変更する。（本書106ページ）

ダイヤルアップネットワーク名とは

「インターネットスターター」によって、自動設定されたひとまとまりの設定につけられた名前です。

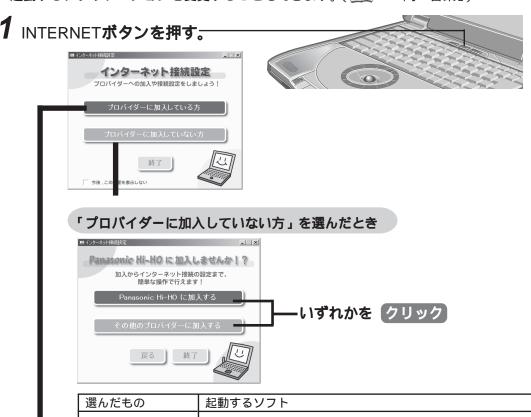
再インストールしたときの設定

再インストール後に「再設定」を選ぶと、Hi-HOにつなぐための「新しい接続（ダイヤルアップネットワーク）」をつくる画面になります。画面に従ってモデムを選び、「接続先の電話番号」にアクセスポイントの電話番号を入力します（本書103ページ）。その後、上記手順*2*で、Hi-HOから送られた書類を見ながら必要事項を入力してください。

インターネット・メール

INTERNET ボタンを使う

INTERNET ボタンで、次のようなことができます。
・インターネット接続のための通信設定が完了していないときに押すと
　インターネット接続設定のための適切なソフトウェアを起動してくれます。（下記）
・通信設定完了後に押すと
　ウェブナビゲーターが起動します。（ 本書 112 ページ）
　起動するアプリケーションを変更することもできます。（ 『一問一答集』）

1 INTERNETボタンを押す。

選んだもの	起動するソフト
Panasonic Hi-HOに加入する	インターネットスターター * を起動します。（ 本書 99 ページ）
その他のプロバイダーに加入する	ODN、Nifty、OCN、DION、ドコモ AOL、BIGLOBE へ加入できるオンラインサインアップソフト * を起動します。（付属別紙をご参照）

* プロバイダーメニューからも起動できます。（ 本書 99 ページ）

「プロバイダーに加入している方」を選んだとき

いずれかを クリック

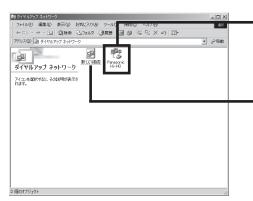
選んだもの	起動するソフト
Panasonic Hi-HOに加入している	インターネットスターターを起動し再設定画面を表示します。（ 本書 101 ページ）
他のプロバイダーに加入している	インターネット接続ウィザードを起動します。プロバイダーからの説明書などを見て設定してください。

必要に応じて複数の「接続」を使い分ける

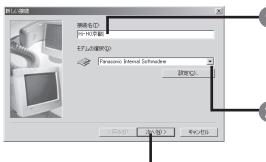
次のような場合には、新しい通信環境を設定した「接続」を作成しておくと、インターネットへの接続のつど設定しなおす必要がなく便利です。
- パソコンを使用する場所（自宅と会社など）によって、アクセスポイントを使い分けたいとき
- 携帯電話や PHS 電話で通信するなど、通信機器（モデム）を使い分けたいとき

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。

ここでは、Hi-HO に加入している人が京都のアクセスポイントにつながる接続を設定する例で説明します。
アクセスポイントの電話番号以外、Hi-HO 加入時の設定と同じにしておきます。

2 新しい接続先に京都のアクセスポイントを設定する。

Panasonic Hi-HO への接続アイコン
インターネットスターターを使って Hi-HO に加入した場合、Hi-HO を介してインターネットに接続するための接続が自動作成されています。

ダブルクリック

初めて「新しい接続」を作成するときには、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されるので、[次へ]をクリックしてください。

① 新しく作成する接続に名前を付ける。

> **名前を付けるコツ**
> 設定内容や目的がわかる名前にします。
> （例）「携帯用」など

② 使用する機器にあったモデムを選択する。

> **内蔵のモデムを使用する場合**
> Panasonic Internal Softmodemを選びます。
> **携帯電話や PHS 電話を使用する場合**
> Panasonic Wireless Comm Portを選びます。
> **ターミナルアダプターを使用する場合**
> お使いのターミナルアダプター用のモデムを選びます。（インストール方法についてはターミナルアダプターに付属の取扱説明書を参照。）

③ [次へ]を **クリック**

❶ アクセスポイントの電話番号を半角数字で入力する。

携帯電話や PHS 電話を使用する場合
特定の通信モードで通信する場合は、アクセスポイントの番号にダイヤルパラメーターを追加してください。（『一問一答集』）

❷ [次へ]を クリック

[完了]を クリック
設定した接続名を持つアイコンが追加されます。

3 サーバー情報などを設定する。

❶ 新アイコンを下ボタンで クリック

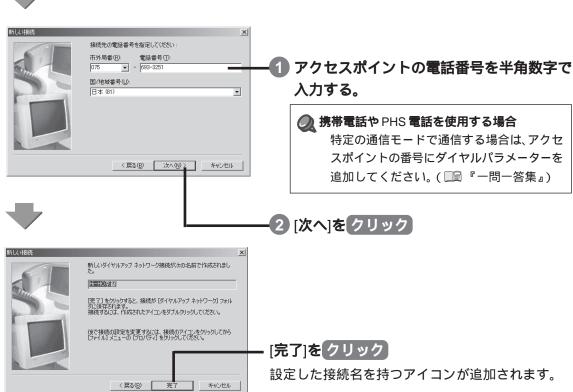
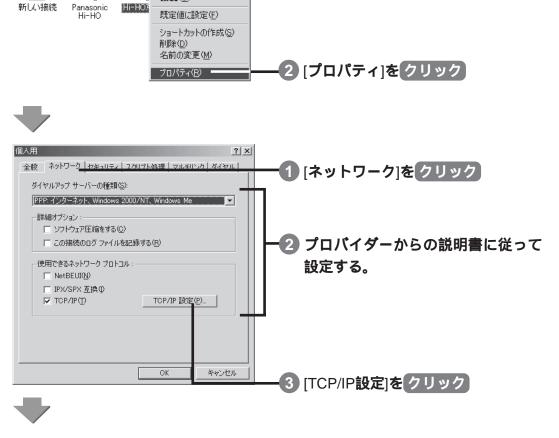
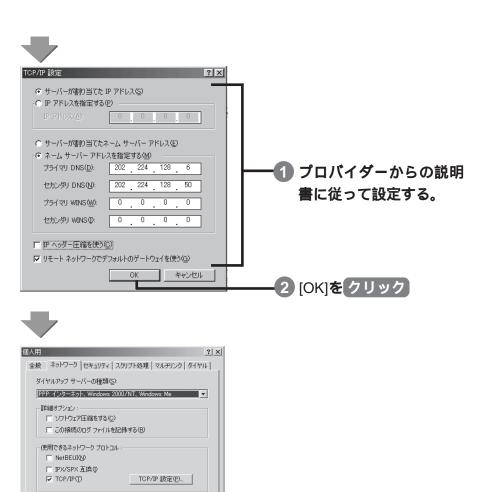
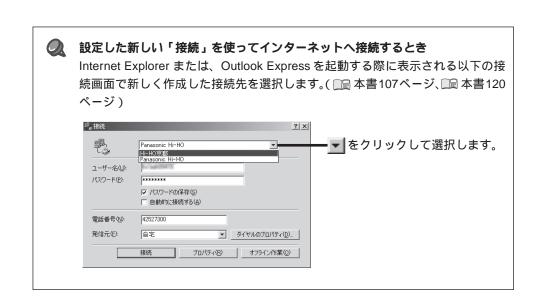
❷ [プロパティ]を クリック

❶ [ネットワーク]を クリック

❷ プロバイダーからの説明書に従って設定する。

❸ [TCP/IP設定]を クリック

設定した新しい「接続」を使ってインターネットへ接続するとき

Internet Explorer または、Outlook Express を起動する際に表示される以下の接続画面で新しく作成した接続先を選択します。(本書107ページ、本書120ページ)

必要に応じてダイヤル方法(所在地)を変更する

次のような場合には､インターネットにつなぐ前にアクセスポイントへのダイヤル方法を変更します｡
・使用する場所が違う（市外局番、電話回線の種類が違う）とき
・通信機器（携帯電話や PHS 電話、ターミナルアダプターなど）を変えたとき

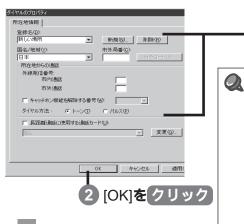
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[モデム]をダブルクリックする。
「モデム」アイコンが表示されていない場合は､[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する｡]をクリックしてください｡

2 電話回線の種類を設定する。

ここで設定する「ダイヤルのプロパティ」は、同じ回線を使ったすべての接続に対して適用されます。

[ダイヤルのプロパティ]を クリック

1 必要な項目を入力する。

2 [OK]を クリック

●登録名　：ここに入力した名称で設定内容を保存できます。インターネットへの接続時、「発信元」としてここで設定した登録名を選択できます。
●国名 / 地域　：「日本」を選びます。
●市外局番　：使用場所の市外局番を入力します。携帯電話や PHS をお使いになる可能性がある場合、「0」を入力します。
「市外局番」に何も入力しなければ、画面を閉じることができません。
●ダイヤル方法：回線の種類を正しく選びます。
・トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線
・パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線
・携帯電話をご使用の際は､どちらに設定しても通信できます。
・ターミナルアダプターをご使用の際は、「トーン」を選びます。
・PHS 電話でファクス送信を行う場合などは｢パルス｣を､それ以外は｢トーン」を選びます。
・ご使用中の電話回線の種類がわからない場合､お近くのNTTにお問い合わせください。

[OK]を クリック

インターネットにつなごう

Internet Explorer

電話回線に接続し、プロバイダーへの加入と通信の設定が終わったら（📖 本書98〜106ページ）、インターネットにつないでみましょう。

「Internet Explorer」は、ホームページを見るためのソフトウェア（ブラウザー）の一つです。

Internet Explorer を起動する

1 デスクトップの アイコンをダブルクリックする。

① ▼をクリックし、接続先を選ぶ。（複数の接続先が設定されている場合のみ）

② 接続のためのユーザー名（接続ID）/パスワードを入力する。

「接続先」が「インターネットスタートアップ」により自動作成された「Panasonic Hi-HO」の場合は、自動的に表示されます。入力の必要はありません。
パスワードはセキュリティ保護のため「＊」で表示されます。

③ 「パスワードの保存」にチェックマークを付ける。
次回接続時からパスワードを入力する手間が省けます。パスワードを知らない人でも接続可能になりますので、注意が必要です。

④ [接続]を

アクセスポイントへのダイヤルが始まります。
画面にはダイヤルの状況が表示されます。アクセスポイントにつながったら、ユーザー名やパスワードが正しいかなどの確認が行われます。

接続が終わると、ホームページが表示されます。

・最初に表示されるのは、Internet Explorer で、最初に表示するページとして設定されているホームページです（変更したい場合 📖 本書111ページ）。
・ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

・ホームページの基本的な見かたについては、『はじめましてパソコン』をご覧ください。
・インターネットにつながらないときは『一問一答集』をご覧ください。

Internet Explorer を終了する

次のようにして、確実に電話回線の接続を切断します。

ウィンドウ右上のをクリックしても「Internet Explorer」を終了できます。(接続も切断されます。)

3 [今すぐ切断する]をクリック

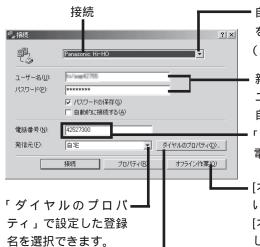
自動切断
Panasonic Hi-HO への接続を終了しますか?
自動切断を使用しない(A)
接続を維持する(S) 今すぐ切断する(N)

タスクバーにあるの表示が消えます。

この画面は、他の画面の後ろに隠れてしまうことがあります。その場合、タスクバーの「自動切断」をクリックしてください。

そのほかの切断のしかた

をダブルクリックしても接続を切断できます。

接続画面について

自分で新しく設定した「接続先」がある場合、をクリックして、接続先を選ぶことができます。(接続の設定方法 本書 103 ページ)

新しく設定した接続を初めて使用する場合には、ユーザー名とパスワードに何も表示されません。自分で入力してください。

「接続先」に設定されているアクセスポイントの電話番号

「ダイヤルのプロパティ」で設定した登録名を選択できます。

[オフライン作業]をクリックする、または、見たいホームページを表示して[ファイル]→[オフライン作業]をクリックすると、回線を切断した状態(オフライン)でホームページを見ることができます。(料金を節約できます。)ただし、オフラインで見ることができるのは、履歴に残っているホームページのみです。それ以外のホームページに進もうとすると、メッセージが表示されますので、[接続]をクリックしてください。

次のような場合には、ここをクリックしてアクセスポイントへ電話をかける方法(トーン・パルス)を変更する必要があります。(本書 106 ページ)
- 使用する場所が違う(市外局番、電話回線の種類が違う)とき
- 通信機器(携帯電話や PHS 電話、ターミナルアダプター)を変えたとき

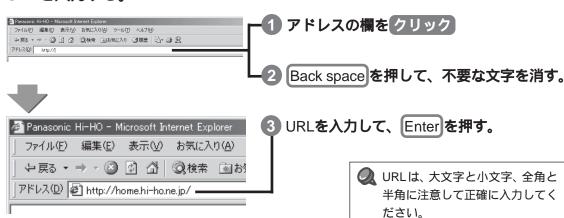
雑誌でみつけたホームページをみる

雑誌やカタログなどで目にする「http://」で始まるURL（インターネット上で、ホームページなどのデータの場所を示す番地）を入力すると、みたいページをすぐに表示することができます。ここでは、Hi-HOのホームページを表示します。

1 「Internet Explorer」を起動する。（📖 本書107ページ）

Hi-HOのURLは、「http://home.hi-ho.ne.jp/」です。（2001年4月現在）

2 URLを入力する。

URLは、大文字と小文字、全角と半角に注意して正確に入力してください。

しばらくすると、指定したホームページが表示されます。

ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なることがあります。

表示が極度に遅いときには

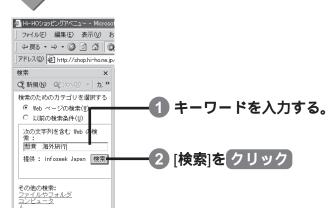
画像の多いホームページを表示している、メモリーが不足している、または接続しようとした時間帯にホームページが非常に混雑しているなどが考えられます。

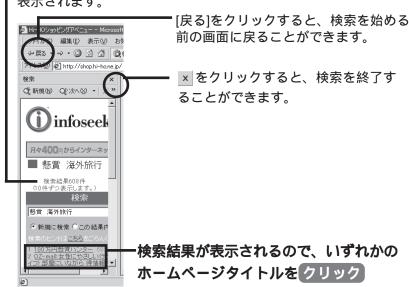
URLによく使われている記号の入力方法

- チルダ（〜）は Shift ＋ 〜 ＾ へ
- スラッシュ（/）は ? / め 、ピリオド（.）は > . る 、コロン（:）は * : け
- アンダーバー（_）は Shift ＋ _ ＼ ろ

みたいページを探す

「こんなホームページがないかな」という場合、キーワードを入力して、ホームページを探すことができます。たとえば、「海外旅行の懸賞に応募したい」ときは「懸賞」「海外旅行」などをキーワードとしてみたいページを探せます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（本書107ページ）

キーワード入力のコツ
検索されたページが多すぎて探しにくい場合は、複数のキーワードを入力してください。その際、スペースや | で区切るのが一般的です。

インターネットへ情報を送信する場合、いくつか、警告のメッセージが表示されることがあります。確認後、[はい]をクリックします。

2 インターネットへの接続を終わる。（本書108ページ）

気に入ったページを登録する

よく利用するホームページは、「お気に入り」に登録しましょう。「お気に入り」に登録しておくと、「URL」を入力することなくメニューから選ぶだけで簡単に表示できます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（本書107ページ）

2 お気に入りに登録したいホームページを表示させる。

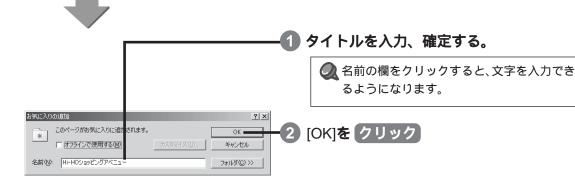
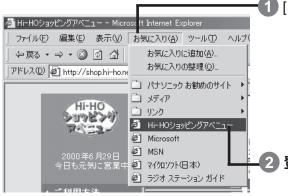
3 登録する。

1 [お気に入り]を クリック

2 [お気に入りに追加]を クリック

1 タイトルを入力、確定する。

名前の欄をクリックすると、文字を入力できるようになります。

2 [OK]を クリック

＜登録したページを表示するには＞

1 [お気に入り]を クリック

「お気に入り」のメニューから削除したいときは[お気に入りの整理]をクリックし、削除したいタイトル名をクリックして、[削除]→[はい]→[閉じる]をクリックします。

2 登録したタイトルを クリック

4 インターネットへの接続を終わる。（本書108ページ）

最初に表示するページを設定するには

①最初に表示したいホームページを表示する。
②[ツール]→[インターネットオプション]をクリックする。
③[全般]→[現在のページを使用]をクリックし、[OK]をクリックする。

インターネット・メール

いろいろなホームページを一覧表示しよう

ウェブナビゲーター

「どんなホームページがあるの？」「もっとホームページを楽しみたい」というときには、ウェブナビゲーターの出番です。
「ウェブナビゲーター」では登録されている厳選された多くのホームページリスト（URL集）をもとにインターネットに接続し、あなたにあいそうなジャンルのホームページを取得し、1画面に6グループずつ表示します。

操作の流れ

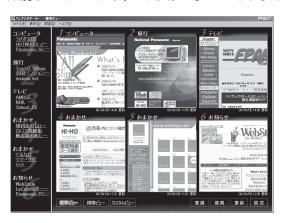
準備をする

- **インターネットができるように準備をします。（****本書 98 〜 106 ページ****）**
- **本機のご購入後に画面の設定を変更している場合は、画面の領域を1024×768ピクセル、色をHigh Color （16 ビット）、詳細設定を「小さいフォント」に戻します。（****『一問一答集』****）**

ウェブナビゲーターを起動する

ウェブナビゲーターを起動し、インターネットにつないでホームページ情報を取得します。取得後は、オフライン（回線断）になるので料金がかかりません。

どんなホームページがあるか見てみる

「標準ビュー」では、登録されている性別や年齢などをもとに「ニュース」「旅行」などのジャンル別ホームページや、「おまかせ」としてあなたに合いそうなホームページを提案します。

ホームページについて

ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

登録されているURL集について

登録されているURLが提供者側で休止、終了された場合、そのホームページの内容を取得・表示できなくなります。
また、登録されているURL集を更新することができます。（ウェブナビゲーターの画面で［設定］→［詳細設定］を選ぶ。）

興味を持ったジャンルを指定してさらにホームページを探す

「探険ビュー」で、例えばジャンルが「コンピューター」のホームページだけを探してみます。

気に入ったホームページを登録する

「カスタムビュー」に気に入ったホームページを登録しておきます。

ウェブナビゲーターを終わる

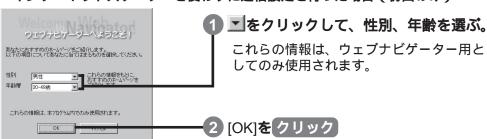
ウェブナビゲーターを起動する

1 デスクトップの[ウェブナビゲーター2]アイコンをダブルクリックする。

「INTERNET ボタン」（📖 本書 102 ページ）を押しても起動します。
この場合、自動的にホームページの更新が始まります。

<インターネットスターターを使って通信設定を行った場合（初回のみ）>
「ウェブナビゲーターへようこそ」画面で[OK]をクリックする。

<インターネットスターターを使わずに通信設定を行った場合（初回のみ）>

① ▼をクリックして、性別、年齢を選ぶ。
これらの情報は、ウェブナビゲーター用としてのみ使用されます。

② [OK]をクリック
この後、画面の指示に従って[OK]をクリックする。

2 ホームページの情報を取得する（初回のみ）。

① 取得しないグループがあれば、クリックしてチェックマークを外す。
表示されているグループ名は、登録されている年齢、性別などにより異なります。

② [OK]をクリック

[接続]をクリック

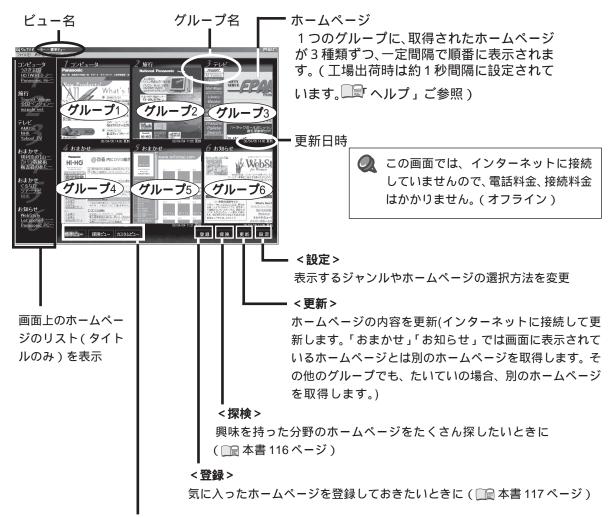
・ホームページ取得はインターネットへ接続するため、接続料金、電話料金がかかります。（オンライン）
・接続時間は自分で設定することができます。（工場出荷時は最長約 14 分間接続します。→「ヘルプ」）

画面右側の「ホームページの更新」画面に取得中のホームページが表示されます。１つ取得するごとに、６分割された画面にはめ込まれていきます。
（「ホームページの更新」画面に表示中ホームページの取得を中止したい場合は、[スキップ]をクリックします。そのホームページの取得を中止し、次のホームページの取得が始まります。）
2 回目以降は、前回に取得した情報をもとに、すぐにウェブナビゲーターの画面（前回終了時のビュー）が表示されます。

3 更新終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

・回線の状況などにより、１つのホームページを1分以内に取得できない場合、そのホームページは表示されません。
・オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。

どんなホームページがあるか見てみる（標準ビュー）

初めてホームページを取得した直後に表示される画面は「標準ビュー」と呼ばれます。登録した性別、年齢をもとに、また、使用を重ねるうちにどのようなホームページをよく見ているかを記録し、パソコンがあなたに合ったジャンルやホームページを選んで表示します。

各ビューの表示に切り換えます。
（光っているボタンが現在表示中のビューです。[探険]や[登録]を実行していない場合、探険ビュー、カスタムビューをクリックすると、ホームページの枠内は空欄になります。）

この画面では、インターネットに接続していませんので､電話料金､接続料金はかかりません。（オフライン）

各グループのホームページは、どのような方法で選ばれている？

「おまかせ」グループ

登録した性別､年齢やどのようなホームページをよく見ているかの記録などをもとに､パソコンがあなたにあったホームページを選んで表示します。

「お知らせ」グループ

当社の製品情報などをお知らせするホームページを表示します。

その他のグループ

グループ名が「おまかせ」「お知らせ」以外のグループでは、ジャンル別にホームページを表示します。表示するジャンルやホームページを変更することもできます。(→「ヘルプ」)「おまかせ」や「お知らせ」と区別して、これらのグループを「ジャンル選択」グループといいます。

ホームページをじっくり見る

標準ビュー / 探険ビュー / カスタムビューでいずれかのホームページをダブルクリックすると、「Internet Explorer」（本書 107 ページ）が起動し、その内容が開きます。（通常、オフライン）

> ホームページによってはインターネットへの接続が必要な場合があります。その場合、接続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。また、Internet Explorerなどがすでに起動されていてオンライン状態の場合は、オンライン状態で開きます。

1 ウェブナビゲーターの画面で、目的のホームページが表示されたら、そのホームページ上を **ダブルクリック**

＜標準ビューの画面例＞

をクリックすると、「Internet Explorer」を終了します。

> ・リンク先のページを表示する場合、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。（オンライン）
> ・インターネットへ接続する際には、電話回線の接続を確認してください。（本書 98 ページ）

矢印が の形に変わった所をクリックすると、その項目に関連する（リンク先の）ページが表示されます。
※「データ更新中」と表示されることがあります。これは、どのようなホームページをよく見ているかの情報を集め、次回の標準ビューの「おまかせ」に活かすためです。

インターネット・メール

ホームページを削除する

標準ビュー/探険ビュー/カスタムビューで不要になったホームページを次のようにして削除できます。

1. 削除するホームページ上で下ボタンをクリックし、[このホームページを削除]を選択する。
2. 確認のメッセージが表示されたら[OK]を **クリック**

興味を持ったジャンルを指定してさらにホームページを探す（探検ビュー）

興味を持ったホームページを選択して「探険」をクリックするだけで、６つのグループすべてに同じジャンルのホームページを探して取得することができます。

お願い

1度[探険]を実行した後、再度[探険]を実行すると、前回の探険で取得した内容は消えてしまいます。残しておきたいホームページは、カスタムビューに登録します（本書117ページ）。
標準ビューのホームページ情報は消えません。

1 「標準ビュー」の画面から[探険]を実行する。

1 目的のページをクリック

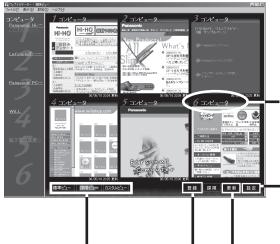
2 [探険]をクリック

3 メッセージを確認して[はい]をクリック

4 ダイヤルアップの接続画面で[接続]をクリック

画面右側の「ホームページの更新」画面に、取得中のホームページが表示されます。
更新終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

インターネットへ接続するため、接続料金、電話料金がかかります（オンライン）。更新後は自動的に回線が切断されます(オフライン)。

<「探険ビュー」の画面>

オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。

表示されているホームページのジャンル
すべてのグループが指定したホームページと同じジャンルになります。各グループを「おまかせ」や「お知らせ」に変更することはできません。

<設定>
表示するホームページやジャンルの変更
(「ヘルプ」ご参照)

<更新>
インターネットに接続して、画面上のホームページの内容を更新

<登録>
気に入ったホームページを登録しておきたいときに
（本書117ページ）

各ビューの表示に切り換えます。
(光っているボタンが現在表示中のビューです。)

気に入ったホームページを登録する（カスタムビュー）

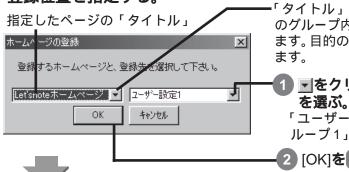
「標準ビュー」でホームページの更新を行ったり、「探険」を繰り返し行うと、異なるホームページが取得されます。気に入ったホームページは登録して残しておきましょう。また、「Internet Explorer」（本書107ページ）の「アドレス」や「お気に入り」など、あちこちにあるお気に入りのホームページも簡単な操作で「カスタムビュー」に登録できます（「ヘルプ」ご参照）。

1 「標準ビュー」または「探険ビュー」のホームページを登録する。

1 目的のページを クリック

2 [登録]を クリック

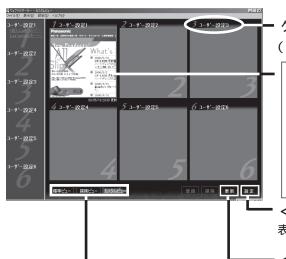
2 登録位置を指定する。

指定したページの「タイトル」

「タイトル」の右横の ▼ をクリックすると、そのグループ内のページのタイトル一覧が表示されます。目的のホームページを選び直すことができます。

1 ▼をクリックし、どの位置に登録するかを選ぶ。

「ユーザー設定1」～「ユーザー設定6」は「グループ1」～「グループ6」に対応します。

2 [OK]を クリック

＜「カスタムビュー」の画面＞

グループ名は「設定」で変更できます。（「ヘルプ」ご参照）

1つのグループに登録できるホームページは4つまでです。すでに4つ登録されているグループに登録しようとすると、代わりにどのホームページを削除するかを選択する画面が表示されます。その画面で削除するホームページを選ぶか他のグループに登録するかしてください。（削除のしかた 本書115ページ）

＜設定＞
表示するホームページの変更・追加（「ヘルプ」ご参照）

＜更新＞
インターネットに接続して、画面上のホームページの内容を更新

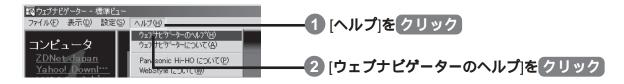
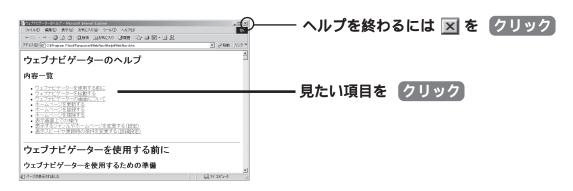
各ビューの表示に切り換えます。
（光っているボタンが現在表示中のビューです。）

ウェブナビゲーターを終了する

ホームページの更新中は、終了できません。

・ウィンドウ右上の☒をクリックしても、終了することができます。

ヘルプの使いかた

ウェブナビゲーターについてさらに詳しく知りたいときには、「ヘルプ」を参照してください。

簡単なホームページをつくろう

VideoPoster

VideoPoster では、静止画や動画を貼り付けたホームページを、簡単につくることができます。
テンプレート（ホームページのひな型）が用意されているので、一覧からテンプレートを選ぶだけでレイアウトできます。

（VideoPoster で作成したホームページの例）

静止画ファイルの場合：JPG、BMP ファイル
動画ファイルの場合：AVI、ASF ファイル

ここが便利！
ホームページは、HTML という言語を使ってつくられます。レイアウトや文字の大きさ、背景などが「タグ」という符号で設定されます。VideoPosterを使うと、テンプレートに従って文字を入力したり静止画を貼り付けたりするだけで、HTML 言語を意識せずにホームページをつくることができます。

VideoPoster の起動のしかた

1 デスクトップの をダブルクリックする。

以降の操作、およびホームページ作成方法については、VideoPoster の取扱説明書（オンラインマニュアル）でやさしく説明しています。

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

次の手順で取扱説明書（PDF 形式ファイル）を見ることができます。

1 [スタート]をクリックし、[プログラム]→[CNC]→[VideoPoster]→[取扱説明書]をクリックする。

・お買い上げ後はじめて PDF 形式のファイルを開いたときは、Acrobat® Reader の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。
・取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法は：『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

ホームページを公開するためには
作成したホームページは、加入しているプロバイダーのコンピューターに転送します。そのために必要な情報をプロバイダーから受け取っておく必要があります。プロバイダーにお問い合わせください。
必要な情報とはホームページの URL（本書 109 ページ）や WEB サーバー（インターネットで情報を公開するためのコンピューター）についての情報です。

著作権について
市販の写真集や映画ビデオ、TV 番組などは、著作権法により保護されています。権利者に無断で、これらから取り込んだ動画や静止画をホームページで公開することはできません。

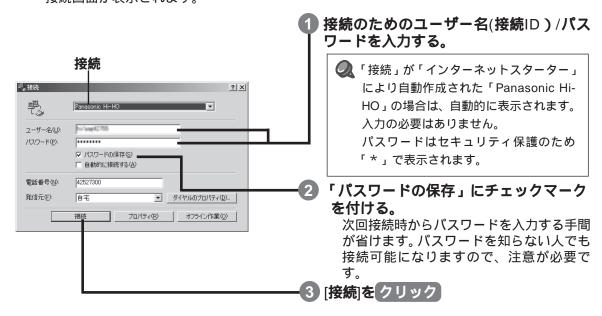
電子メールを送受信しよう

Outlook$_{TM}$ Express（アウトルックエクスプレス）

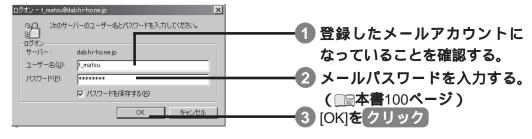
電話回線に接続し、プロバイダーへの加入と通信の設定が終わったら（本書 98 〜 106 ページ）、メールソフトの「Outlook$_{TM}$ Express（アウトルックエクスプレス）」を使って、メールを送受信してみましょう。
メールの基本的な送信方法については、『はじめましてパソコン』をご覧ください。

Outlook Express を起動する

1 デスクトップの「Outlook Express」アイコンをダブルクリックする。

接続画面が表示されます。

初回起動時、「Outlook Express は通常使用するメールクライアントとして選択されていません。通常使用するメールクライアントとして選択しますか？」と表示される場合は、[はい]を選択してください。

次の画面が表示されます。

(Outlook Express の初期画面（次ページ）の後ろに隠れてみえない場合は、初期画面を移動してください。)

・接続画面について詳しくは、108 ページをご覧ください。

・**オフライン作業について**

接続画面で[オフライン作業]をクリックするか、Outlook Express の画面で[ファイル]→[オフライン作業]を選ぶと、オフライン状態（電話料金がかからない状態）でメールを読んだり、作成したりすることができます。

電子メールを受信する

ここでは、パソコンにメールを受信し、受信したメールを読む方法を説明します。

1 メールを受信する。

<初期画面>

① 「送受信」を クリック

パソコンへメールを受信すると同時に、「送信トレイ」に作成したメールがある場合は、送信します。

② [メールを読む]を クリック

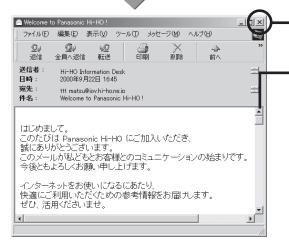
2 受け取ったメールを読む。

<受信メール一覧画面>

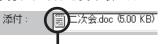
① 「受信トレイ」が選ばれているのを確認する。

② 目的の件名を ダブルクリック

未読メールは太字で表示されます。

ポインター位置（送信者、件名が反転している）メールの一部が表示されます。

メールを読み終わったら ☒ を クリック

▲ 、▼ をクリックして、隠れている部分を読む。

添付ファイルを受け取ったら

添付ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って添付ファイルを開くか、保存するかしてください。その際は、ウィルスチェックプログラムを常駐させておくことをおすすめします。

3 Outlook Expressを終わる。

☒ を クリック

「自動切断」の画面が表示されますので、[今すぐ切断]をクリックします。「自動切断」の画面が表示されない場合、108 ページを参考に電話回線を切断してください。

インターネット・メール

受け取った電子メールに返事を出す

差出人の宛先や本文を引用して、直接返事が書けるので便利です。

オフライン（電話料金がかからない状態）でメールを書くには

下記の手順*1*の受信メール一覧画面で［ファイル］→［オフライン作業］を選びます。この場合、下記の「メッセージの作成画面」で［送信］をクリックすると、メールが「送信トレイ」に入り、受信メール一覧画面に戻ります。(画面左側の「送信トレイ」をクリックすると、送信トレイのメールを表示できます。)送信トレイにあるメールを送信するには[送受信]をクリックします。

1 メールを受信し、読む。（本書121ページ）

① 「受信トレイ」が選ばれていることを確認する。

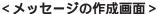
② 目的の件名をクリック

相手先でメールが読めないことがないように、メッセージの入力時に次のことに気をつけてください。

- 半角のカタカナや特殊な文字(①②など)は使わない。
- 手順*1*の画面で［ツール］→［オプション］→[送信]タブを順にクリックし、「メール送信の形式」で「テキスト形式」にチェックマークを付けておく。また、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」のチェックマークを外しておく。

2 返事を書く。

[返信]を クリック

<メッセージの作成画面>

3 [送信]ボタンをクリックして送信する。

送信トレイについて

複数のメールをつくり、後で一括して送信したいときなどに使用します。[送信]ボタンをクリックする代わりに、[ファイル]→[後で送信する]をクリックすると、「送信トレイ」にメールが入ります。送信トレイのメールを読むには、受信メール一覧画面で画面左側の「送信トレイ」をクリックします。

受け取った電子メールを削除するには

受信メール一覧画面で削除したいメールに矢印をあわせて、Deleteを押すか[削除]ボタンをクリックします。その時点で、画面左側の削除済みアイテムに一時保管されます。
削除済みアイテムからも削除するにはそのメールに矢印をあわせて、Deleteを押すか[削除]ボタンをクリックしてください。また、「Outlook Express」終了時にまとめて削除するよう設定することもできます。

受け取ったメールを転送したいときは

上記手順*2*で「転送」を選びます。転送の場合は、件名の先頭に「FW:」が追加されます。

メールアドレスを登録しておこう

アドレス帳にメールアドレスを登録する

よくメールを送る相手のメールアドレスは、アドレス帳に登録しておくと便利です。

アドレス帳に登録する

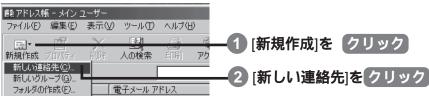
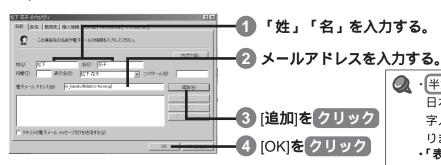
1 「Outlook Express」を起動する。（本書120ページ）

[アドレス]を クリック

・メッセージの作成画面（本書122ページ）からアドレス帳に登録する場合は、「ツール」→「アドレス帳」を順にクリックしてください。
・受信メール一覧画面でも[アドレス]をクリックしてアドレス帳に登録することができます。

2 アドレス帳に新規登録する。

1 [新規作成]を クリック
2 [新しい連絡先]を クリック

1 「姓」「名」を入力する。
2 メールアドレスを入力する。
3 [追加]を クリック
4 [OK]を クリック

・半角/全角を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。
・**「表示名」について**
姓名の欄に入力した内容がそのまま「表示名」に表示されます。必要に応じて変更してください。「表示名」は、アドレス帳からメールアドレスを入力したときに、「宛先」として表示されます（本書124ページ）。

3 アドレス帳を終わる。

×を クリック

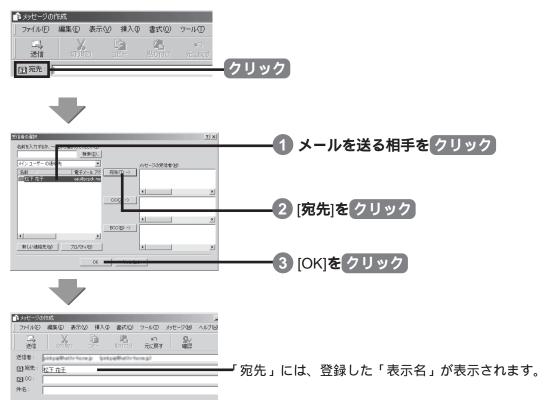
登録したアドレス

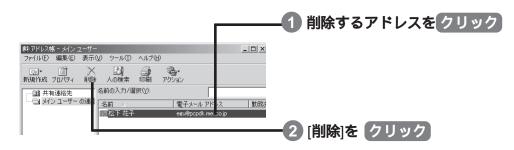
インターネット・メール

アドレス帳に登録した相手にメールを出すには

次のようにして登録したメールアドレスを「宛先」に入力します。

1 「Outlook Express」のメッセージの作成画面（本書122ページ）を表示する。

2 アドレス帳のメールアドレスを宛先に入力する。

アドレス帳からメールアドレスを削除するには

1 アドレス帳の画面を表示する。（本書123ページの手順*1*）

2 確認メッセージが表示されたら[はい]をクリック

3 アドレス帳を終わる。

メールにファイルを添付して送ろう

まとまった量の文書や画像の入ったファイルなどをメールに添付して送ることができます。

動画ファイルを添付して送りたい場合は

通常、動画ファイルは容量が大きく、メールに添付して送ると送信エラーになることがあります。VideoGift を使うと、自動的に動画ファイル（AVI 形式）を圧縮し、メールに添付して送信できるので便利です。(本書 86 ページ)

1 メッセージの作成画面を表示し、宛先、件名、メッセージを入れる。

（『はじめましてパソコン』）

2 ファイルを添付する。

1 [挿入]をクリック

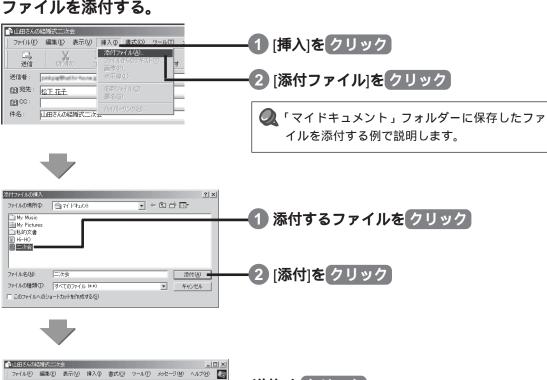
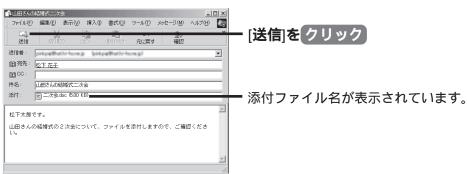
2 [添付ファイル]をクリック

「マイドキュメント」フォルダーに保存したファイルを添付する例で説明します。

1 添付するファイルをクリック

2 [添付]をクリック

[送信]をクリック

添付ファイル名が表示されています。

「Outlook Express」を終わるには

本書 121 ページ

E-MAILボタンを使って自動送受信しよう

準備
あらかじめ、電話回線に接続し、プロバイダーへの加入、パソコンの通信設定（メールの設定まで）を完了しておいてください。本書 98 ～ 106 ページ

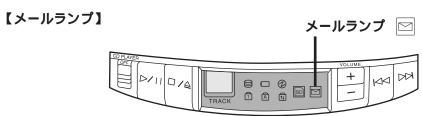
E-MAIL ボタンを押すと、インターネットに接続し、「Outlook Express」を起動して、メールを自動送受信します。その際、未読メールがある場合には、メールランプが点灯します。
また、E-MAIL ボタンについて、次のような設定をすることができます。

- 指定した差出人からの未読メールがある場合に着信メロディを鳴らす。（本書 128 ページ）
- E-MAIL ボタンを押したときにメールソフト Outlook Express を起動するが、送受信は行わないように設定する。（『一問一答集』「アプリケーションボタンについて知りたい」）

【E-MAILボタン】

E-MAIL ボタン

【メールランプ】

メールランプ

Outlook Express でアカウント（メールの送受信に必要な設定）が設定されていない場合

E-MAIL ボタンを押すと、メッセージが表示されます。
Outlook Express を起動し、起動時に表示されるインターネット接続ウィザードを使用して、アカウントを設定してください。
起動時にインターネット接続ウィザードが表示されない場合には、[ツール]→[アカウント]→[追加]→[メール]の順にクリックしてインターネット接続ウィザードを起動してください。

Outlook Express のアカウントで、受信メールサーバー名、アカウント名、メールパスワードが設定されていない場合

E-MAIL ボタンを押すと、メッセージが表示されます。
次のようにして、受信メールサーバー名、メールアカウント名、メールパスワードを設定します。
① Outlook Express で[ツール]→[アカウント]→[メール]の順にクリックし、標準のメールアカウントを選んで、[プロパティ]をクリックする。
②[サーバー]タブをクリックし、プロバイダーから送られてきた書類を参照して受信メールサーバー名、メールアカウント名、メールパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックマークを付けます。

E-MAIL ボタンを使って送受信する

E-MAIL ボタンを約１秒間押す。

お願い

パソコンの電源が切れているとき、スタンバイまたは休止状態のときに押した場合：

電源表示ランプ⏻が点灯したことを確認して、手を離してください。

インターネットに接続し、「Outlook Express」を起動して、メールを自動送受信します。

はじめて Outlook Express を起動したときは、**120 ページをご覧ください。**

自動送受信をする場合は、必ず、「自動的に接続する」にチェックマークを付けておいてください。

自動送受信が終わると、回線との接続を自動で切断します。*

未読メールがある場合は、メールランプが点灯します。また、指定した差出人からの未読メールがある場合、指定した着信メロディが鳴ります。

* すでに回線が接続されている状態で、E-MAIL ボタンを押して自動送受信を行った場合、自動送受信終了後も接続されている状態が継続します。

お願い

- メールの送信が完了するまで、キーボード、トラックボールは操作しないでください。（メールパスワードを入力するときを除く）
- メールの送受信中にエラーメッセージが表示された場合は、[非表示]をクリックしてください。

はじめてメールを送受信するときや、メールパスワードを保存していないときは、メールパスワードを入力する必要がある場合があります。（インターネットスターターを使用したかたは、『はじめましてパソコン』「メモ（パスワード・ID など記入用）」を参照してください。）

差出人によって着信メロディを鳴らす

E-MAIL ボタンでの自動送受信時、特定の差出人からの未読メールがあった場合に、特定の着信メロディを鳴らすように設定することができます。（最大3人まで設定でき、3人のうち複数のメールが着信した場合、より優先順位の高い差出人のメロディのみを鳴らします。）

1 [スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[メール着信メロディ設定]を順にクリックする。

2 着信メロディを設定する。

① 「メール着信メロディを鳴らす」にチェックマークがついていることを確認する。

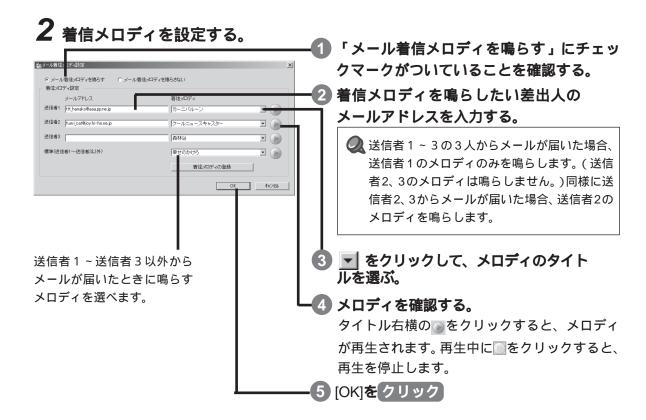
② 着信メロディを鳴らしたい差出人のメールアドレスを入力する。

> 送信者1～3の3人からメールが届いた場合、送信者1のメロディのみを鳴らします。（送信者2、3のメロディは鳴らしません。）同様に送信者2、3からメールが届いた場合、送信者2のメロディを鳴らします。

③ ▼ をクリックして、メロディのタイトルを選ぶ。

④ メロディを確認する。
タイトル右横の▶をクリックすると、メロディが再生されます。再生中に●をクリックすると、再生を停止します。

⑤ [OK]を クリック

送信者1～送信者3以外からメールが届いたときに鳴らすメロディを選べます。

> E-MAIL ボタンを使用せずにメールを受信した場合、着信メロディは鳴りません。

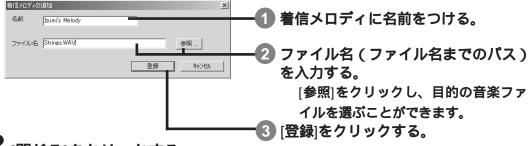
お気に入りの着信メロディを登録するには

着信メロディとして、お気に入りの着信メロディ（WAVE 形式（拡張子 WAV））の音楽ファイルを登録することができます。

BeatJam X-TREME PLAYER（本書 12 ページ）で音楽 CD から録音した音楽ファイルなどを使うことができます。

1 前ページの着信メロディ設定画面で、「着信メロディの登録」をクリックする。

2 [追加]をクリックする。

1. 着信メロディに名前をつける。
2. ファイル名（ファイル名までのパス）を入力する。
   [参照]をクリックし、目的の音楽ファイルを選ぶことができます。
3. [登録]をクリックする。

3 [閉じる]をクリックする。

4 登録した着信メロディを使うには、前ページの着信メロディ設定画面で ▼ をクリックして、選ぶ。

インターネット・メール

イラストメールを送信しよう

イラストメール

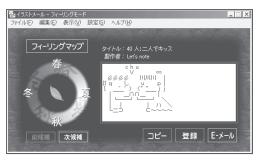
文字で形作られたイラストを入れたら、ぐっと素敵な電子メールに。
用途やそのときの気分に合ったものを選ぶことができます。

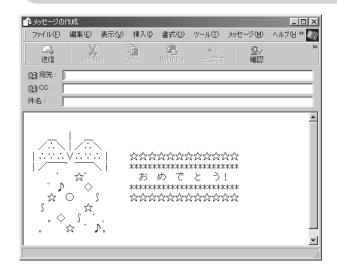
> **準備**
> **あらかじめ、電話回線に接続し、プロバイダーへの加入、パソコンの通信設定（メールの設定まで）を完了しておいてください。**📖 **本書** 98 〜 106 **ページ**

操作の流れ

メールソフトの環境を設定する

イラストメールを起動する

用途や気分に合ったイラストを選ぶ

たくさんのイラストがあるよ。

[E - メール]を選ぶと、イラストが入った状態でメールソフトのメッセージ作成画面が表示される

宛先やメッセージを追加してでき上がり…。

メールソフトの環境を設定する

文字でできているイラストを送るので、使用するメールソフトでフォントの種類や形式などを設定しておきます。種類や形式が違うと、イラストが崩れる場合があります。
また、イラストメール上の[E- メール]ボタン（ 本書 136 ページ）からメールソフトを起動するために、メールソフトを MAPI 対応(下記)に設定しておきます。

＜Outlook Express (Ver.5.5)を使用する場合の設定方法＞

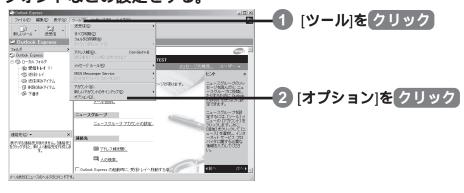
1 デスクトップの を ダブルクリック

2 電話回線に接続せずに初期画面を表示する。

[オフライン作業]を クリック

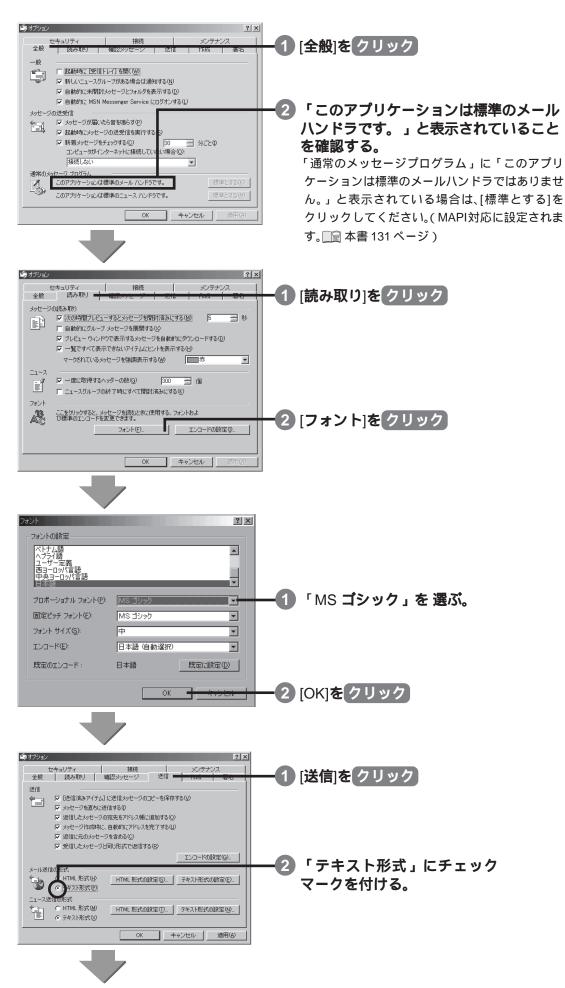
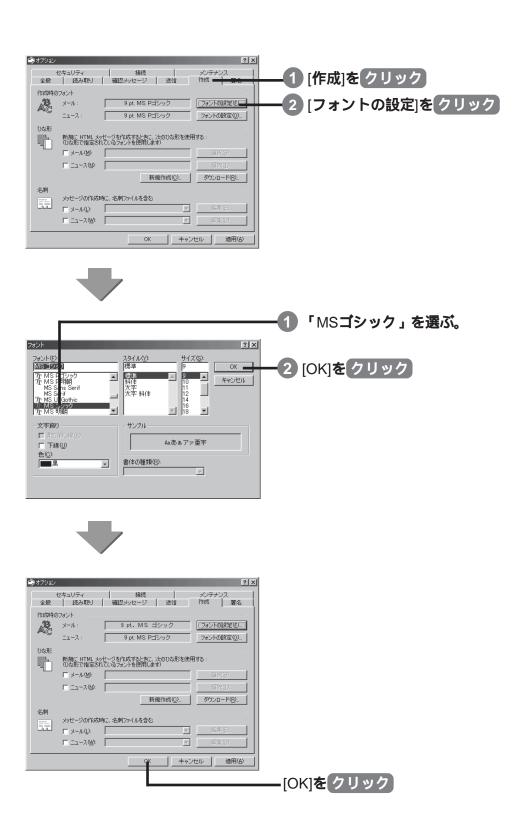
3 フォントなどの設定をする。

① [ツール]を クリック

② [オプション]を クリック

MAPI (Messaging API)：電子メッセージングアプリケーションのための標準システムインターフェースのことで、アプリケーションが個別に持っている情報を一元的に管理します。
- メールソフトによっては、MAPI 対応にできないものもあります。
- Outlook Express(Ver.5.5) 以外のメールソフトについては、イラストメール画面で［ヘルプ］→［イラストメールのヘルプ］をクリックして、「表示フォントの設定方法」と「MAPI の設定方法」をご覧ください。

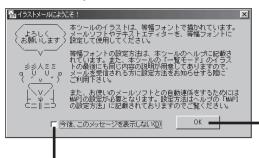
インターネット・メール

1 [全般]をクリック
2 「このアプリケーションは標準のメールハンドラです。」と表示されていることを確認する。
「通常のメッセージプログラム」に「このアプリケーションは標準のメールハンドラではありません。」と表示されている場合は、[標準とする]をクリックしてください。(MAPI対応に設定されます。本書 131 ページ)
1 [読み取り]をクリック
2 [フォント]をクリック
1 「MS ゴシック」を 選ぶ。
2 [OK]をクリック
1 [送信]をクリック
2 「テキスト形式」にチェックマークを付ける。

インターネット・メール

イラストメールを送信する

1 イラストメールを起動する。

デスクトップの をダブルクリックする。

画面の説明を読んで、[OK]をクリックする。

次回起動時からこの画面を表示したくなければ、ここにチェックマーク✓を付けます。

[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[イラストメール]をクリックしても、起動することができます。

2 [フィーリングマップ]をクリックして、マップの種類を選ぶ。

[フィーリングマップ]をクリックするごとに、次の３種類のマップが順に切り換わります。

- 春夏秋冬…季節にあったイラストを選ぶことができる。
- 喜怒哀楽…感情や感性にあったイラストを選ぶことができる。
- 用途別…「祝福」や「案内」など様々な用途にあったイラストを選ぶことができる。

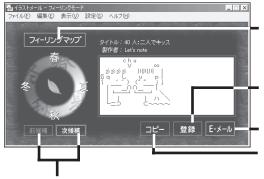
3 フィーリングマップ上をクリックしてイラストを選ぶ。

例えば「春」と表示された周辺をクリックすると、春らしいイラストを選ぶことができ、「夏」と表示された周辺をクリックすると、夏らしいイラストを選ぶことができます。クリックした位置にポインター（、、）が移動します。

4 [設定]をクリックし、「E-メール連携ON」にチェックマーク✓が付いていることを確認する。

工場出荷時には、すでにチェックマークが付けられています。チェックマークが付いていない場合は、「E-メール連携 ON」を選んでチェックマーク✓を付け、確認のメッセージが表示されたら[OK]をクリックしてください。

[E-メール]ボタンを使ってメールメッセージ作成用画面を起動したい場合は、必ず「E-メール連携 ON」にチェックマークを付けてください。

フィーリングモードの画面について

イラストのジャンルを示す「フィーリングマップ」を切り換えます。

自分でテキストイラストを作り、登録します。

電子メールのメッセージ作成画面を起動します。

表示中のイラストをクリップボードにコピーします。
ここでコピーしたイラストは、メールソフトのメッセージ作成画面やワードパッドなどに「貼り付け（ペースト）」機能を使って挿入することができます。

イラストの候補を表示します。

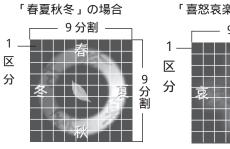
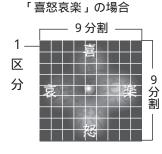
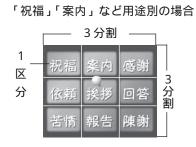
フィーリングマップの区分について

各区分に対して、複数個のイラストが登録されています。
[次候補]をクリックすると、選んだ区分に登録された次の候補が表示されます。
[前候補]をクリックすると一つ前の候補が表示されます。

・ポインター（、、）を、←、→、↑、↓で各区分ごとに移動させることもできます。

「春夏秋冬」の場合

「喜怒哀楽」の場合

「祝福」「案内」など用途別の場合

一覧モードでイラストを選ぶ方法

表示モードを切り換えてイラストを一覧から選ぶこともできます。
①フィーリングモードの画面で[表示]→[一覧モード]をクリックする。
イラストが一覧で表示されます。[次ページ][前ページ]をクリックすると、ページ単位で画面表示が切り換わります。
②好きなイラストをクリックする。または、←、→、↑、↓を使って選ぶ。
選択されたイラストは青色の枠で囲まれます。
フィーリングモードに戻したい場合は、[表示]→[フィーリングモード]をクリックしてください。

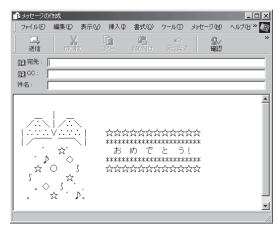
自分用のイラスト集をつくるには

フィーリングモードまたは一覧モードで元となるイラストを選び、自分で文字を追加して、登録しておくことができます。登録の操作方法については、画面で見るマニュアル『ワンポイント情報集』をご覧ください。『ワンポイント情報』を表示するには、[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[オンラインマニュアル]→[ワンポイント情報集]を順に選びます。

5 [E-メール]をクリックする。

確認のメッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、[はい]をクリックしてください。選んだイラストが挿入された状態で、メールメッセージ作成用の画面が起動します。

(例)「Outlook Express」を使用する場合

 お願い

[E-メール]ボタンを使ってメールメッセージ作成用画面を起動するには

- **メールソフトをMAPI対応に設定しておいてください。(本書131ページ)**
- **必ず、[E メール連携 ON]にチェックマークを付けておいてください。(本書134ページ)**

6 宛先、メッセージ等を書き加えて、メールを送信する。

送信のしかたなどについて詳しくは『はじめましてパソコン』または本書122ページをご覧ください。

- **[E-メール]ボタンを使用時には、メールメッセージ作成用画面に署名を自動で追加することはできません。**

テキストイラストを挿入した文書を読む

- **フォントを「MSゴシック」などの等幅フォントに設定しておく必要があります。字詰めを行う「MS Pゴシック」などを使用すると、イラストがくずれることがあります。**
  イラストサンプルの中に、主なメールソフトの等幅フォントの設定についての説明文を用意しています。(一覧表示モードの最後のほうにあります。)テキストイラストをはじめて読むかたには、メッセージにその説明文を挿入して送ると便利です。内容は[ヘルプ]→[イラストメールのヘルプ]の「表示フォントの設定方法」と同じです。
- **一部のメールソフトやワープロソフト、また携帯電話のメール機能では、連続するスペースを省略するなど自動的に文字列を変換するものがあります。この場合、等幅フォントに設定しても、イラストが正しく表示されないことがあります。**

いろいろ

日々の暮らしに活かせる機能がいっぱい。

毎年変わる住所録の管理やはがきのおもてうらの印刷が簡単にできたり、外出時に最適経路を調べたり。
たまったデータをＣＤに書き込んですっきり保管したり、音楽CDのバックアップコピーをつくったり。
暮らしの中で大活躍です。

はがきをつくろう

筆ぐるめ

「筆ぐるめ」では、はがき（おもて・うら）や名刺、タックシール、表彰状などの印刷や住所録管理ができます。ここでは、はがきのおもてとうらをつくるための基本的な操作方法を説明します。
さらに詳しく知りたい場合には、オンラインマニュアルやヘルプをご覧ください。（本書 150、151 ページ）

準備するもの
- ●はがき
- ●プリンター（別売り）
  接続方法やドライバーのインストール、パソコンへの設定などについては、プリンターの説明書を参照して準備しておいてください。

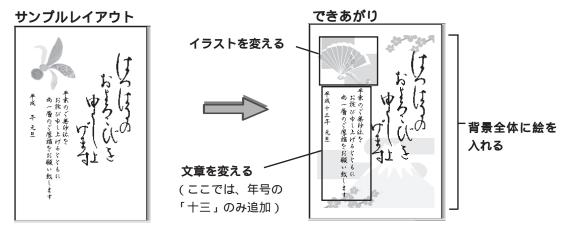
操作の流れ

あて名面（おもて）をつくる

はがきにあて名を印刷するためには、まず、「住所録」をつくります。
住所録に名前や住所を入力、保存しておくと、いつでも呼び出して、はがきや一覧表を印刷したり、簡単に住所を追加、変更ができます。

あて名のレイアウトを選ぶだけで、自動であて名や差出人が配置されます。

文面（うら）をつくる

レイアウトを選び、文章やイラストを入れ換えるだけで、楽しいはがきをつくることができます。

筆ぐるめを起動する

他のアプリケーションや常駐ソフトウェアは、終了してください。

1 デスクトップの［筆ぐるめ Ver.8.0アイコン］をダブルクリックする。

2 マニュアル販売やお問い合わせの情報を読む。

[OK]を クリック

3 作業案内のウィンドウを表示するかどうか、選ぶ。

❶ ここでは、「年賀状・暑中見舞いの作り方」を クリック

❷ [ナビ開始]を クリック

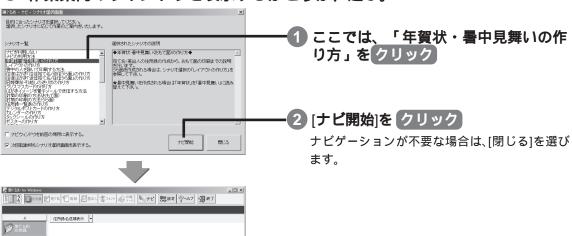
ナビゲーションが不要な場合は、[閉じる]を選びます。

<ナビウィンドウ>

「ナビウィンドウ」が筆ぐるめの画面下部と重なっている場合は、下へ移動してください。

次のステップの案内を表示するときにクリックします。

ナビウィンドウを閉じるときにクリックします。

お願い

ご使用の前に「筆ぐるめ Note」をご覧ください。

「筆ぐるめ Note」は、[スタート]→[プログラム]→[筆ぐるめ Ver.8.0]→[筆ぐるめ Note]を順にクリックして、起動します。

いろいろ

あて名面（おもて）をつくる

あて名を印刷するには、まず、住所録をつくります。

新しく住所録をつくる

1 住所録をつくる。

① 「おもて」が赤色の字になっているのを確認する。

なっていないときは［おもて］をクリックします。

② ［新規］を クリック

これからつくる住所録の名前を入力する画面が表示されます。

住所録名といっしょに表示するアイコンを選ぶことができます。

① ここをクリックし、Back space で文字を消して住所録名を入力する。

② ［OK］を クリック

印刷可能枠を正しく表示する

はがきの印刷イメージ上の印刷可能範囲を示す点線枠を正しく表示するために、お使いのプリンターを設定します。

1 「おもて」が赤色の字になっているのを確認する。

2 [印刷/メール]を クリック

[プリンタ設定]を クリック

1 複数のプリンターが設定されている場合は、使用するプリンターを選ぶ。

2 用紙の向きを指定し、プリンターに応じて用紙サイズ、給紙方法を確認する。

3 [OK]を クリック

[宛て名]を クリック

1件目のあて名カードが表示されます。

を クリック

上記画面に戻す場合は

を クリック

画面右半分にあて名の印刷イメージが表示されます。

いろいろ

あて名を入力する

1 氏名を入力する。

＜あて名カード＞

❶「自宅宛て」になっているのを確認する。
「自宅宛て」と「会社宛て」の２種類の住所録をつくることができます。

❷「氏名」を入力する。

氏名の入力

①姓（例：田中）を入力する。
Enterを押して姓を確定します。
②スペースキーを押す。
（姓と名前の間を１文字分空けます）
③同様に名前（例：文香）を入力する。
文字の入力方法について詳しくは『はじめましてパソコン』をご覧ください。

❸「氏名読み」のカタカナを確認し、違っていれば変更する。

2 住所を入力する。

❶「〒」の欄をクリックし、郵便番号を入力する。
ハイフン「-」は入力しません。

❷「住所」の欄をクリックし、住所を入力する。

住所を２行に分けるには（改行）

２行に分ける位置にカーソル（I）を移動してクリックし、Ctrl＋Enterを押します。カーソルの位置以降が２行目になります。２行目の行頭でBack spaceを押すと、改行が解除されます。

住所から郵便番号を調べるには

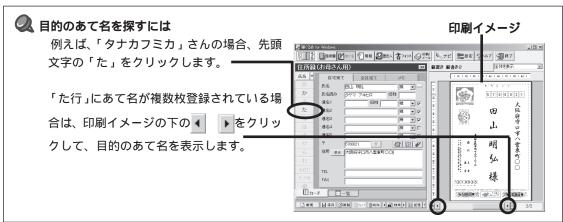
①住所を入力し、〒をクリックする。
②表示された郵便番号の中から選ぶ。
郵便番号は変更される場合がありますので、必ずご確認ください。

3 あて名を追加する場合は、[新規]をクリックして入力する。

[新規]をクリックした時点で、「タナカフミカ」さんのあて名が「た行」に登録されます。

目的のあて名を探すには

①例えば、「タナカフミカ」さんの場合、先頭文字の「た」をクリックします。

②「た行」にあて名が複数枚登録されている場合は、印刷イメージの下の◀ ▶をクリックして、目的のあて名を表示します。

あて名のレイアウトを選ぶ

ここでは、年賀はがきにあて名と差出人を縦書きで印刷するレイアウトを選びます。

1 [用紙]を クリック

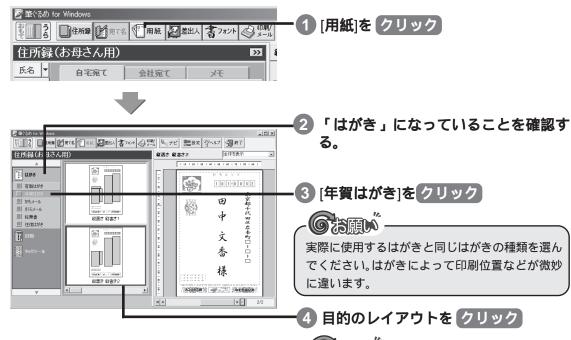
2 「はがき」になっていることを確認する。

3 [年賀はがき]を クリック

お願い

実際に使用するはがきと同じはがきの種類を選んでください。はがきによって印刷位置などが微妙に違います。

4 目的のレイアウトを クリック

お願い

印刷可能範囲を示す点線枠内に差出人の郵便番号が完全に入っていない場合は、お使いのプリンターでこの位置に印刷することができません。その場合、「縦書き 1」を選んでください。

いろいろ

差出人を入力する

1 [差出人]を クリック

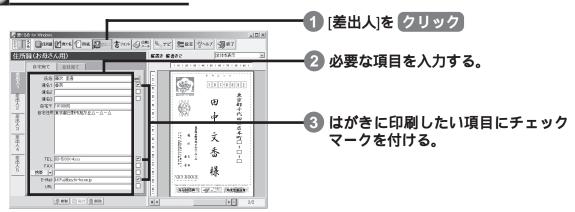
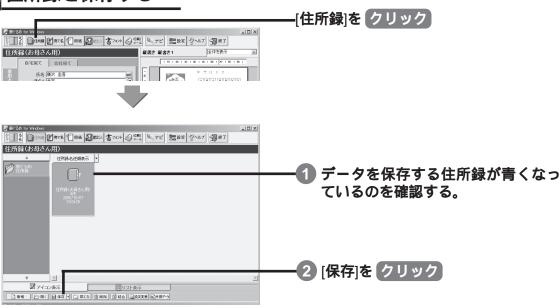
2 必要な項目を入力する。

3 はがきに印刷したい項目にチェックマークを付ける。

住所録を保存する

[住所録]を クリック

1 データを保存する住所録が青くなっているのを確認する。

2 [保存]を クリック

保存した住所録を開くには

1 筆ぐるめを起動する。（本書139ページ）

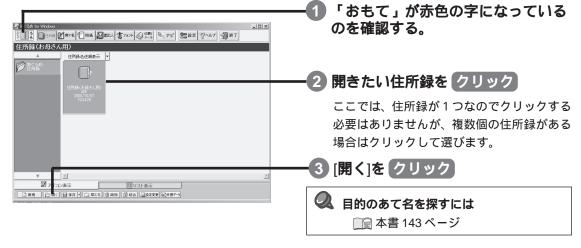
2 住所録を開く。

1 「おもて」が赤色の字になっているのを確認する。

2 開きたい住所録を クリック

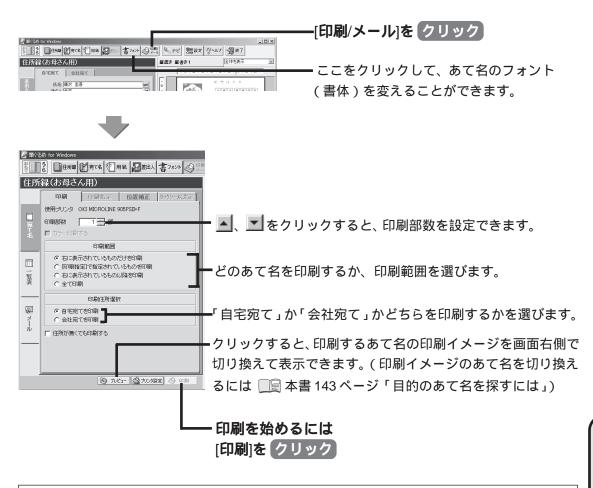
ここでは、住所録が１つなのでクリックする必要はありませんが、複数個の住所録がある場合はクリックして選びます。

3 [開く]を クリック

> **目的のあて名を探すには**
> 本書 143 ページ

あて名面を印刷する

1 プリンターを印刷可能な状態にする。（プリンターに付属の説明書参照）

はじめは、はがき以外の用紙に試しに印刷することをおすすめします。

2 印刷の設定をする。

郵便番号が枠からずれて印刷される場合には
[位置補正]タブをクリックして、印刷位置を調整することができます。

この後、用途に応じて次のように進んでください。

●文面（うら）をつくる場合 本書 146 ページ
●筆ぐるめを終わる場合 本書 150 ページ

文面（うら）をつくる

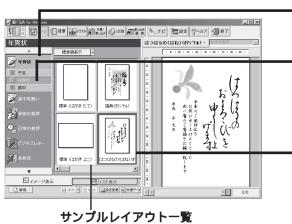
サンプルレイアウトの中から気に入ったものを選び、必要な部分だけを書き換えたり、イラストを入れ換えたりします。
ここでは、例として、年賀状をつくります。

年賀状のレイアウトを選ぶ

1 文面（うら）を表示する。

[うら]を クリック

「うら」が赤色の字で表示されます。

2 年賀状のレイアウトを選ぶ。

サンプルレイアウト一覧

1 ここでは、「年賀状」になっているのを確認する。

2 [■年賀状]を クリック

3 目的のレイアウトを クリック

画面右側に印刷イメージが表示されます。

ジョグホイールを回すだけで、サンプルレイアウト一覧をすばやくスクロールできます。

戻る

進む

背景を追加する

[背景]を クリック

目的の背景を クリック

画面右側の印刷イメージに背景が追加されます。

ジョグホイールで背景一覧をスクロールできます。

背景一覧

イラストを入れ換える

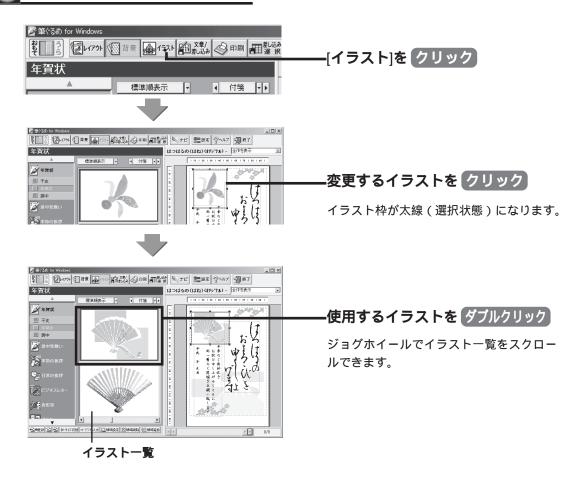
[イラスト]を クリック

変更するイラストを クリック

イラスト枠が太線（選択状態）になります。

使用するイラストを ダブルクリック

ジョグホイールでイラスト一覧をスクロールできます。

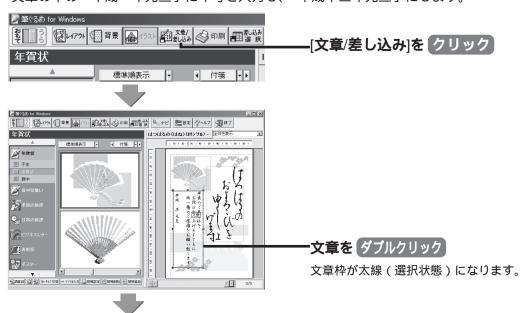
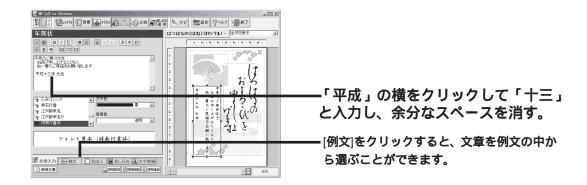
イラスト一覧

文字を追加する / 書き換える

文章の中の「平成　年元旦」に年号を入力し、「平成十三年元旦」にします。

[文章/差し込み]を クリック

文章を ダブルクリック

文章枠が太線（選択状態）になります。

いろいろ

文面（うら）を印刷する

1 プリンターを印刷可能な状態にする。（プリンターに付属の説明書参照）

はがき以外の用紙に試しに印刷することをおすすめします。

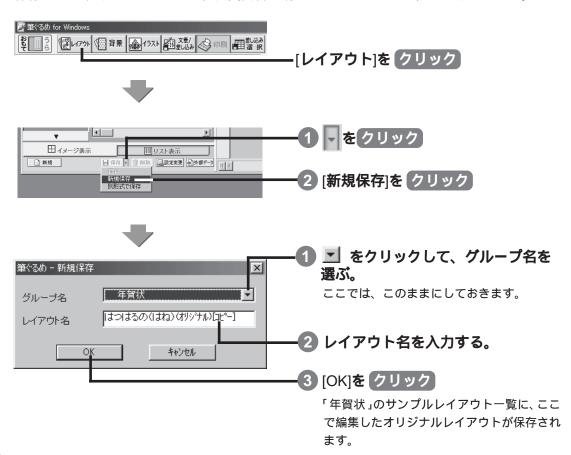
2 印刷の設定をする。

[印刷]を クリック

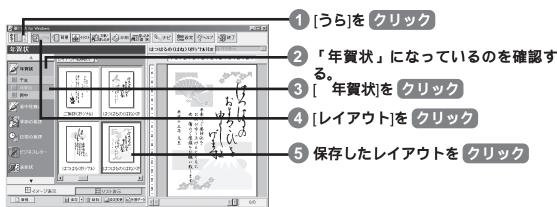
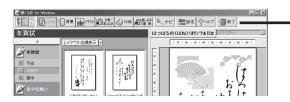
印刷範囲枠（印刷イメージの点線）からはみだしていないか確認してください。

印刷範囲からはみ出した部分は印刷できません。
はみ出している部分があれば、印刷範囲枠内に移動してください。
イラストや文章にポインターを置き、ドラッグ＆ドロップすると、移動できます。

年賀状を保存する

ご自分で変更した年賀状をサンプルレイアウトとして保存します。
保存せずに筆ぐるめを終わると、変更内容は消えてしまいますので、ご注意ください。

保存した年賀状のレイアウトを使うには

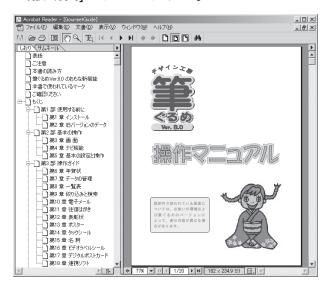
保存した年賀状は、次のようにして画面に呼び出します。

いろいろ

筆ぐるめを終わる

[終了]を クリック

はがきのあて名面（おもて）または文面（うら）が保存されていない場合は、確認のメッセージが表示されます。メッセージに従って保存してください。

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

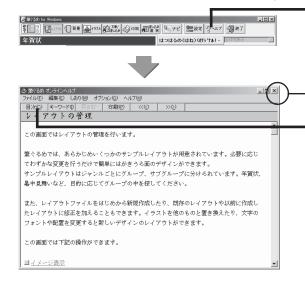
筆ぐるめの機能について、さらに詳しく知りたいときには、「取扱説明書（PDF 形式）」を参照してください。

1 [スタート]メニューをクリックし、[プログラム]→[筆ぐるめ]→[筆ぐるめ PDF形式説明書]をクリックする。

●はじめて起動したとき

- Acrobat Readerの「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示された場合、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。
- 取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法は 『一問一答集』「画面で見るマニュアル」

ヘルプの使いかた

選択中のメニューについてのヘルプを見ることができます。

1 筆ぐるめの画面でヘルプを表示する。

[ヘルプ]を クリック

現在、選択中のメニューのヘルプが表示されます。あらかじめ、知りたいメニューを選んでおくとよいでしょう。（左記の例では、「レイアウト」）

ヘルプを終わるには ✕ を クリック

ほかの機能のヘルプを参照したいときは[目次]を クリック

目次では、表示された項目の中から目的の項目を選ぶことができるので、便利です。

ユーザー登録について

本ソフトウェアのユーザー登録は、付属の「ユーザー登録カード」の記載内容をよくお読みの上、行ってください。ユーザー登録を行うことにより、『はじめましてパソコン』に記載されている、筆ぐるめ「ソフトウェア使用許諾書　第６条」のアフターサービスを受けることができます。

いろいろ

経路・時刻・運賃を調べよう

駅すぱあと

「駅すぱあと」を使うと、出発地と目的地を入力するだけで最適の経路、所要時間、運賃を調べることができます。
また、出発時刻や到着時刻を指定するだけで、いくつかの候補ダイヤを調べることができます。
（時刻表・運賃は、2001年3月1日現在のものです。駅すぱあとのバージョンアップについて付属の別紙をご覧ください。）

経路・所要時間・運賃を調べる

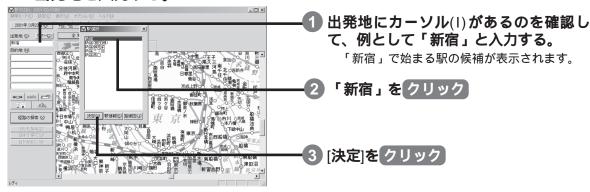
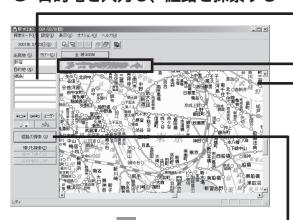
ここでは、例として、「新宿」駅から神奈川県の「綱島」駅までの経路・時刻・運賃を調べてみます。

1 「駅すぱあと」を起動する。
デスクトップの [駅すぱあと] をダブルクリックする。

2 出発地を入力する。

1 出発地にカーソル(|)があるのを確認して、例として「新宿」と入力する。
「新宿」で始まる駅の候補が表示されます。

2 「新宿」をクリック

3 [決定]をクリック

3 目的地を入力し、経路を探索する

1 同様にして、目的地に「綱島」と入力する。

赤い四角で示されている地域の路線図が表示されます。

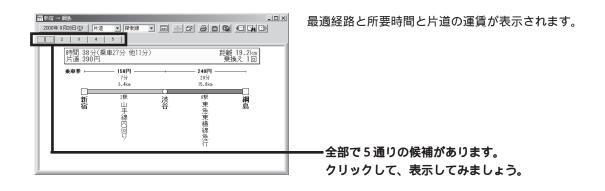
路線図

路線図から出発地や目的地を入力するには
- 出発地や目的地は画面上の路線図の駅名をクリックしても入力できます。
- 路線図のスクロール
  縦（南北方向）：ジョグホイールを回す。
  横（東西方向）：Shift + Ctrl を押しながらジョグホイールを回す。

路線図の地域や種類を変えるには次の2通りの方法があります。
- [地図] 上の目的の地域をクリックする。
- [全域] をクリックし、目的の地域または路線の種類を選びます。

2 [経路の探索]をクリック

最適経路と所要時間と片道の運賃が表示されます。

全部で５通りの候補があります。
クリックして、表示してみましょう。

電車のダイヤを調べる

続いて、到着時刻を 14 時 30 分に指定して、電車のダイヤを調べてみます。

をクリック

1 [到着時刻]をクリック

2 、をクリックして、到着時刻を設定する。

3 [探索]をクリック

前のダイヤを表示する。

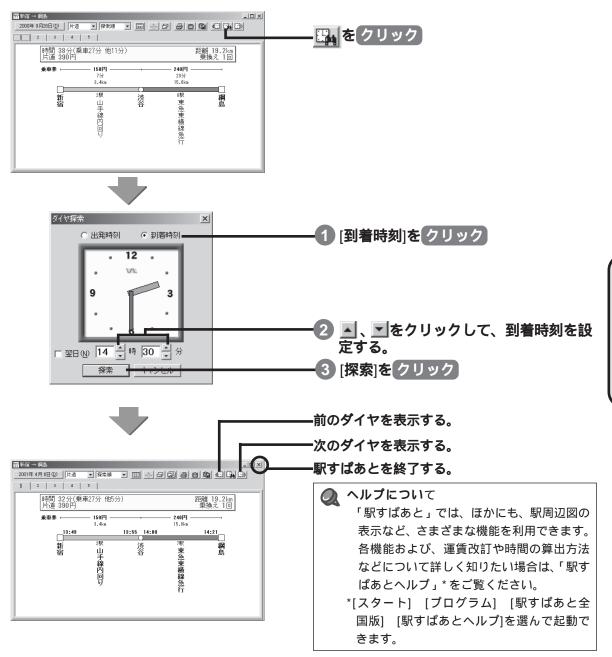
次のダイヤを表示する。

駅すぱあとを終了する。

ヘルプについて

「駅すぱあと」では、ほかにも、駅周辺図の表示など、さまざまな機能を利用できます。各機能および、運賃改訂や時間の算出方法などについて詳しく知りたい場合は、「駅すぱあとヘルプ」*をご覧ください。

*[スタート]→[プログラム]→[駅すぱあと全国版]→[駅すぱあとヘルプ]を選んで起動できます。

いろいろ

CD にデータを書き込もう

B's Recorder GOLD /B's CLiP

● B's Recorder GOLD（以後、「B's Recorder」と記載）でできること
・データ CD の作成
・音楽 CD の作成
・音楽トラックとデータトラックが共存する CD の作成
・ビデオ CD の作成
・CD のバックアップコピーなど
● B's CLiP でできること（操作方法：📖『一問一答集』）
・CD-R や CD-RW にフォルダーやファイルをドラッグ＆ドロップで書き込む

使用できる CD メディア
・CD-R（CD-Recordable：1 回だけ書き込み可能な CD メディア）
CD-ROM ドライブ、CD-R ドライブ、CD-RW ドライブで読むことできます。一度、書き込んだデータは変更することができません。（クローズ処理を行うまでは削除のみできます。）データを保存する場合に使用してください。
ただし、マルチセッション（📖 本書 159 ページ）という形式で書き込むと、CD-R の容量がある限り、最大 99 回まで追記することができます。
・CD-RW（CD-ReWritable：書き込みおよび消去可能な CD メディア）
CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブで読むことできます。書き込んだデータを消去し、新たに情報を書き換えることができます。随時、更新するデータのバックアップ用などとして使用するとよいでしょう。

ブランク（新品）の CD メディアをドライブにセットしたままにしないでください。セットしたままにするとドライブへのアクセスが発生し、パソコンの動作が遅くなります。

ここでは、いくつかの基本的な操作例を紹介します。さらに詳しく知りたい場合は、オンラインマニュアル（📖 本書 160 ページ）をご覧ください。

書き込みエラーを起こさないための " お願い "

「書き込んだはずの CD-R/RW が読めない」などということのないように、B's Recorder や B's CLiP を起動する前に、必ず、次のことを実行しておいてください。
●必要のないアプリケーションはすべて終了する。
●指定の時間になると起動するプログラムや常駐プログラムはすべて終了する。
●コントロールパネルの「電源の管理」→「電源設定」で、「モニタの電源を切る」「ハードディスクの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」をすべて「なし」に設定する。
（📖『一問一答集』「省電力機能を使いたい」）
●スクリーンセーバーを設定している場合、データの転送が中断されないように、解除する。
（[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[画面]で、「スクリーンセーバー」を「なし」に設定します。）
●パソコンを再起動する。
● Microsoft® Office XP Personal を再インストールする際には、『一問一答集』147 ページの「お願い」に書かれたアプリケーションを「インストールしない」に設定する。（工場出荷時は「インストールしない」に設定されています。）

複製について
・映像・音楽などの著作物の複製は、個人的または家庭内で使用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・DVD ビデオは、コピーガードされているため、複製することができません。

CD のバックアップコピーをつくる

「B's Recorder」を使い、ご自分の大切な CD が万一破損しても大丈夫なように、CD-R（別売り:前ページご参照）にコピーし、予備（バックアップ）をつくることができます。

- CD-R に書き込むと、データの追加ができません。書き込む前によく確認してください。
- 書き込んだ CD-R は、CD-ROM ドライブ、CD-R ドライブ、CD-RW ドライブで読み込むことができます。

1 デスクトップの［B's Recorder GOLD］をダブルクリックする。

＜初回起動時のみ＞

「ユーザー情報登録」画面が表示されます。付属の B's Recorder GOLD/B's CLiP ユーザー登録カード（またはお客様控）に記載されているシリアル番号を入力してください。また、名前、会社名に必ず文字を入力してください。

[CD-ROM バックアップ]を クリック

補助メニュー

よく使う機能が一覧になっています。目的の機能のボタンをクリックすると、画面の操作案内に従って簡単に操作できます。

よく読み、[はい]を クリック

1. バックアップするCDをセットする。
   （『一問一答集』）
2. [開始]を クリック

2 必要に応じて書き込みの設定をする。

1 ▼をクリックして、書き込みの種類などを選ぶ。

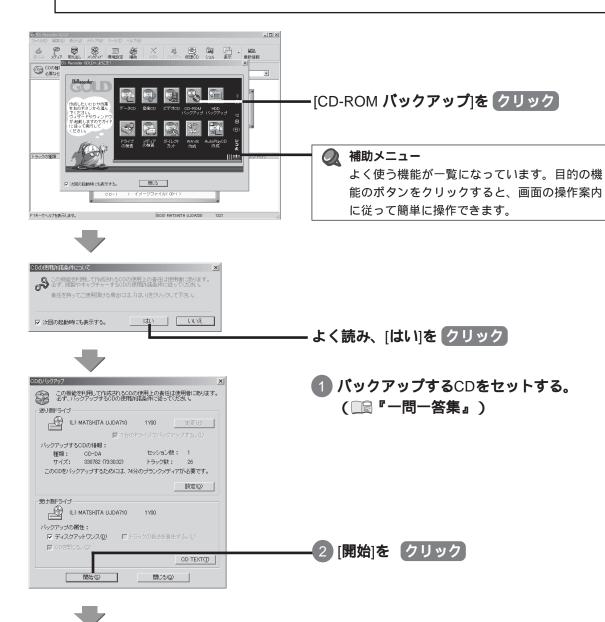
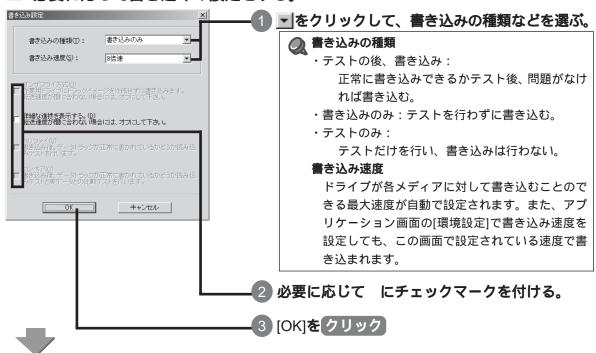
書き込みの種類

- テストの後、書き込み：
  正常に書き込みできるかテスト後、問題がなければ書き込む。
- 書き込みのみ：テストを行わずに書き込む。
- テストのみ：
  テストだけを行い、書き込みは行わない。

書き込み速度

ドライブが各メディアに対して書き込むことのできる最大速度が自動で設定されます。また、アプリケーション画面の[環境設定]で書き込み速度を設定しても、この画面で設定されている速度で書き込まれます。

2 必要に応じて□にチェックマークを付ける。

3 [OK]を クリック

「現在、イメージ作成中」と表示され、作成処理が始まります。
処理が終わると次の画面が表示されます。

4 コピー先として、ブランク（新品）のCD-Rをセットする。

5 [OK]をクリックし、メッセージに従って操作する。

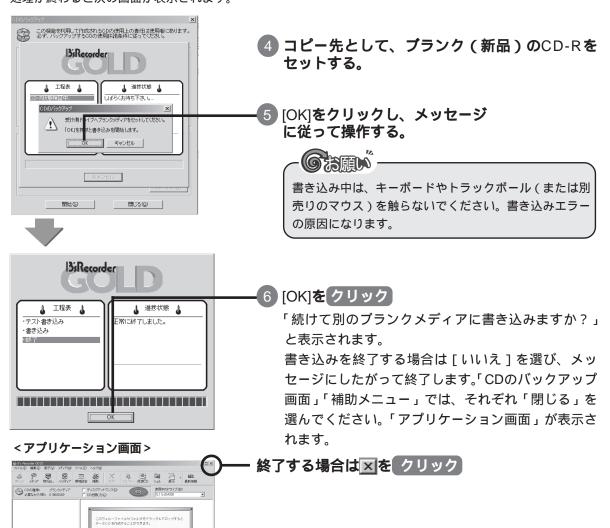
お願い

書き込み中は、キーボードやトラックボール（または別売りのマウス）を触らないでください。書き込みエラーの原因になります。

6 [OK]を クリック

「続けて別のブランクメディアに書き込みますか？」と表示されます。
書き込みを終了する場合は［いいえ］を選び、メッセージにしたがって終了します。「CDのバックアップ画面」「補助メニュー」では、それぞれ「閉じる」を選んでください。「アプリケーション画面」が表示されます。

<アプリケーション画面>

終了する場合は☒を クリック

データ CD や音楽 CD をつくる

「B's Recorder」を使い、ハードディスクの中のファイルやフォルダーをCD-R/RWにコピーし、データCD をつくることができます。また、ハードディスクの中の音楽データを書き込んで、音楽（オーディオ）CD をつくることができます。

- 154 ページの「書き込みエラーを起こさないための " お願い "」をよくお読みください。
- 音楽 CD に使用できる音楽データの形式は次の通りです。
  - サンプリングレート 44.1kHz、16bit ステレオの WAVE ファイル
  - サンプリングレート 44.1kHz、16bit ステレオの AIFF ファイル
  - CD-DA 規格のファイル
- あらかじめ、BeatJam X-TREME PLAYER などで、音楽 CD からお好きな曲をハードディスクに録音しておいてください。（本書 12 ページ）

以下に従って書き込むフォルダーやファイルを B's Recorder に登録した後、CD-R/RW に書き込みます。

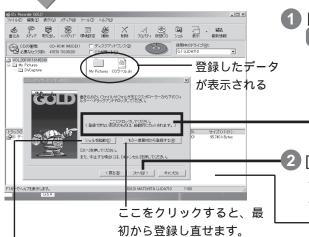
CD-R/RW に書き込むデータを登録する

1 デスクトップの B's Recorder GOLD をダブルクリックする。

[データCD]または[音楽CD]をクリック

＜初回起動時のみ＞
「ユーザー情報登録」画面が表示されます。付属の B's Recorder GOLD/B's CLiP ユーザー登録カード（またはお客様控）に記載されているシリアル番号を入力してください。また、名前、会社名に必ず文字を入力してください。

[次へ]を クリック

登録したデータが表示される

1 目的のファイルやフォルダーをドラッグ＆ドロップ

2 [次へ]をクリック
- 「データ CD」を作成する場合は、手順 *2* へ
- 「音楽 CD」を作成する場合は、手順 *4* へ

音楽データを登録した場合は、この領域に登録したフォルダ－やファイル名が表示されます。

ここをクリックすると、最初から登録し直せます。

ここをクリックすると、エクスプローラーを起動できます。

いろいろ

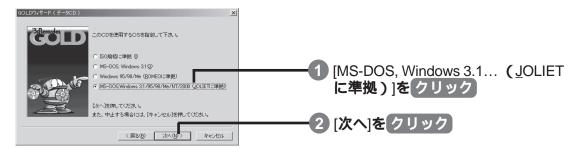
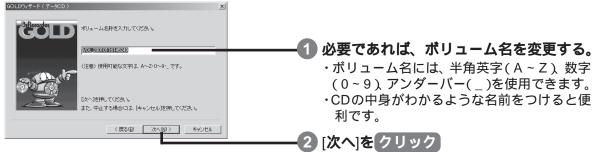
2 <データCDを作成する場合のみ>

1. [MS-DOS, Windows 3.1…（JOLIETに準拠）]を クリック
2. [次へ]を クリック

3 <データCDを作成する場合のみ>

1. 必要であれば、ボリューム名を変更する。
   - ボリューム名には、半角英字（A～Z)、数字（0～9)、アンダーバー（_）を使用できます。
   - CDの中身がわかるような名前をつけると便利です。
2. [次へ]を クリック

4 登録を完了する。

[完了]を クリック

アプリケーション画面が表示されます。
引き続き、以下の操作をします。

CD-R や CD-RW に書き込む

以下に従って、B's Recorder に登録したフォルダーやファイルを、CD-R/RW に書き込みます。

お願い

- 音楽 CD を作成するときは、必ず、ブランク（新品）の CD-R をご使用ください。
- 音楽データは、基本的にブランクメディアに1度しか書き込めません（音楽CDとしてCDプレーヤーで聴けるように、書き込み後に「CDを閉じる」処理が行われるため)。1度でまとめて書き込んでください。
- B's CLiP でフォーマットしたメディアには書き込むことができません。
- 154 ページの「書き込みエラーを起こさないための "お願い"」をよくお読みください。

1 CD-RまたはCD-RWをドライブにセットする。

音楽CDの場合、CD-R をセットしてください。CD-RW に書き込んでも再生できない場合があります。

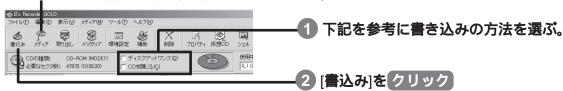
2 書き込む。

<アプリケーション画面>

CD-R/CD-RW の情報を表示し、確認することができます。

1 下記を参考に書き込みの方法を選ぶ。

2 [書込み]を クリック

<CD-R に書き込むとき>

音楽 CD の場合

「ディスクアットワンス」にチェックマークを付けてください。(ただし、ディスクアットワンスでは1度しか書き込めませんので書き込む音楽データと再生順序を考えて登録しておいてください。)

データ CD の場合

- 「ディスクアットワンス」にチェックマークを付けると、1 枚の CD に対して、1 回の書き込みでデータの記録を完了します。CD-R に空き容量があっても残りの部分にはデータを書き込むことができません。
- 「マルチセッション」でデータを書き込むには、「ディスクアットワンス」のチェックマークを外します。「マルチセッション」では、1 枚の CD-R に対して、容量が残っている限り、最大 99 回(セッション)まで書き込めます。(1 回の書き込みから終了までが「1 セッション」です。)
- 「マルチセッション」の場合で、今回の書き込みを最後に追記しないときには、「CD を閉じる」にチェックマークを付けておきます。

マルチセッションで作成する場合の留意点

工場出荷状態では、最後に書き込んだセッション(ラストセッション)が、CD-ROM ドライブなどで読めるように登録されています。

過去の任意のセッションを読むには、次のようにセッション情報を登録しなおします。

①[編集]→[セッション情報の読み込み]をクリックする。

②読み込みたいセッション番号を選び、[読み込み]をクリックする。

<データの消去について>

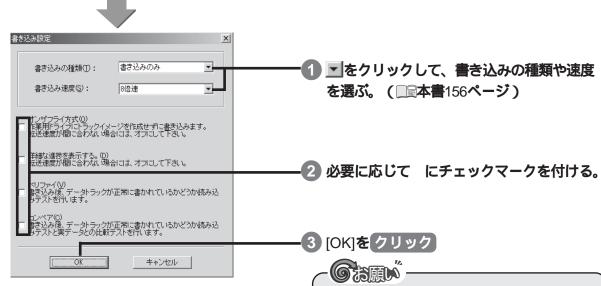
すでに書き込み済みのCD-RWを全消去すると、ブランクメディアとして、再び全容量を書き込みに使えます。

①消去したい CD-RW をセットする。

②[メディア]→[消去]をクリックする。

③ここでは[メディア全体を高速消去する]を選び、[消去開始]をクリックし、メッセージに従って操作する。

1 ▼をクリックして、書き込みの種類や速度を選ぶ。(本書156ページ)

2 必要に応じて□にチェックマークを付ける。

3 [OK]を クリック

- 書き込みが始まり、進捗状況が表示されます。
- 書き込みが完了すると、メディアがドライブから排出されますので、[OK]をクリックしてください。

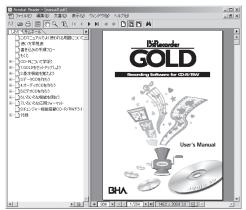
お願い

書き込み中は、キーボードやトラックボール(または別売りのマウス)を触らないでください。書き込みエラーの原因になります。

いろいろ

取扱説明書（オンラインマニュアル）を表示する

さらに詳しく知りたいときには、「ユーザーズマニュアル（PDF 形式）」を参照してください。

1 [**スタート**]**メニューをクリックし、**[**プログラム**]**→**[B's Recorder GOLD]**→**[**ユーザーズマニュアル**]**をクリックする。**

●はじめて起動したとき

- Acrobat Reader **の「ソフトウェア使用許諾書」画面が表示された場合、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。**
- **取扱説明書（PDF 形式ファイル）の操作方法は 『一問一答集』「画面で見るマニュアル」**

ヘルプの使いかた

必要に応じて「ヘルプ」を使用することができます。

1. [**ヘルプ**]**→**[**トピックで検索**]**を クリック**
2. **知りたいトピックを クリックし、**[**開く**]**を クリック**

サポートサービスについて

「B's Recorder GOLD」および「B's CLiP」についてのサポートサービスは、下記のお電話またはFAX にてお願いします。（松下電器産業株式会社では、受け付けておりません。）

●株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター

Windows 用製品向け代表番号

TEL:06-4861-8234	FAX:06-6378-3336

受付時間：月～金曜日　10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く)

●株式会社ビー・エイチ・エー　Web サイト

http://www.bha.co.jp/

お電話の前に

サポートセンターへお電話される前に次の事項を確認してください。

●お電話される場合は、事前に次のことを調べてメモするなどした上でお電話をおかけください。

- ・付属のユーザー登録はがきに記載されているシリアルナンバーを確認してください。また、「B's Recorder GOLD」「B's CLiP」のバージョンを確認してください。
- ・パソコン本体のメーカー名および型番、OS のバージョン、増設している周辺機器の種類、メーカー名および型番を確認しておいてください。
- ・どんな症状が発生するのか。また、その症状は再現性（同じ操作をすると同じ症状が発生すること）があるのか、症状が一定しないのか。などを事前にお調べください。
- ・もし、パソコンの前で会話が可能な場合は、パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。

●FAX される場合は、下記のシート（コピーしたもの）と詳しい状況を記入したお手持ちの用紙*をFAX してください。

TEL 06-4861-8234
FAX 06-6378-3336

B's Recorder GOLDサポートシート

ふりがな お名前　様	TEL（　）－　／FAX（　）－				
お勤め先	TEL（　）－　／FAX（　）－				
シリアル No.：	ユーザー登録　している・していない・不明				
お使いのコンピュータ　型番：	OS のバージョン				

お使いの周辺機器	メーカー名	種類	型番	メーカー名	種類	型番

お問い合わせの内容

書き込みフォーマット：ISO9660 ／オーディオ／ビデオ CD ／ミックスモード／ CD Extra ／
その他（　）

書き込み方法　：（例）CD のバックアップ

エラーメッセージ　：

障害番号

* 用紙にできるだけ詳しい状況をご記入ください。（異常が発生する場合、操作手順や発生頻度についてご記入ください）

いろいろ

携帯電話の電話帳をパソコンで編集しよう

MobileEditor 2000

MobileEditor 2000を使うと、携帯電話では操作しづらい氏名・電話番号の入力や入力したデータの編集をパソコン上で簡単に行うことができます。
ここでは、携帯電話に登録されている電話帳をパソコンで編集するための基本的な操作の流れを説明します。
詳しくは、MobileEditor 2000の「ヘルプ」をご覧ください。

準備するもの	●ご自分の携帯電話 ●携帯電話接続ケーブル 当社製：CF-VCF31KAJ（別売り） このケーブルはデジタル携帯電話専用です。アナログ携帯電話、cdmaOne、PHS電話には使用できません。 使用可能な携帯電話の機種について詳しくはカタログやパナソニックPCのホームページ（『はじめましてパソコン』「保証とアフターサービス」）をご覧ください。

操作の流れ

パソコンと携帯電話をつなぐ

通信ポートの設定をする

携帯電話に登録されている電話帳をパソコンで受信する

パソコンで電話帳を新規作成したり、1件ずつ受信することもできます。

受信した電話帳は、保存しておくと、万一のときのために安心です。
保存するにはMobileEditor 2000の画面で[ファイル]→[名前を付けて保存]を選びます。

パソコンで電話帳を編集する

追加入力したり、50音順に並べ替えたりすることができます。

パソコンで編集した電話帳を携帯電話に送信する

パソコンから送信したデータは、携帯電話の電話帳に上書きされます。
変更したデータを1件ずつ携帯電話に送信することもできます。

電話帳の件数が多い場合、送受信に多少時間がかかります。パソコンは、ACアダプターを接続して使用することをおすすめします。

1 デスクトップの MobileEditor... をダブルクリックする。

MobileEditor 2000 が起動します。

2 携帯電話の電源を切った状態で、携帯電話接続ケーブルを使って携帯電話とパソコンの「ワイヤレスコムポート」をつなぐ。

・接続のしかた 『一問一答集』「携帯電話で接続したい」

3 携帯電話の電源を入れる。

4 「自動機種設定を行います」とメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。（初回起動時のみ）

・メッセージが表示された場合、手順5の<携帯機種設定>を省略できます。
・メッセージが表示されない場合、手順5で<携帯機種設定>を行ってください。

5 通信ポート、使用機種などを設定する（初回起動時のみ）。

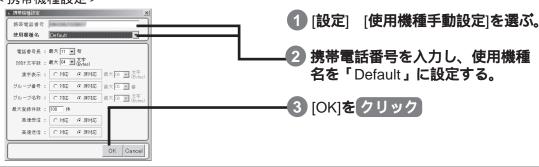
<通信ポート設定>

ポート番号を「4」、ポートモードを「ワイヤレスコムポート」に設定します。複数のモデムをインストールしている場合などは、下記を参照しワイヤレスコムポートのポート番号を確認してください。

1. [設定]→[通信ポート設定]を選ぶ。
2. ▼をクリックして、「4」を選ぶ。
3. ▼をクリックして「ワイヤレスコムポート」を選ぶ。
4. [OK]をクリック

<携帯機種設定>

1. [設定]→[使用機種手動設定]を選ぶ。
2. 携帯電話番号を入力し、使用機種名を「Default」に設定する。
3. [OK]をクリック

いろいろ

ポート番号の確認のしかた

ポートとは、パソコンと周辺機器（この場合は携帯電話）とのデータの出入り口のようなものです。使用中の出入り口には番号が割り当てられます。「ワイヤレスコムポート」のポート番号は「4」ですが、複数のモデムが追加されている場合、変更されることがあります。下記の方法で確認してください。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選び、[モデム]をダブルクリックする。
「モデム」アイコンが表示されていない場合、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

②[検出結果]タブをクリックする。

6 携帯電話に登録されている電話帳をパソコンに受信する。

3 必要に応じて、携帯電話の電話帳のどの番号からどの番号までを受信するかを指定する。

4 [OK]をクリック

「携帯電話から高速受信」は、機種によっては対応していない場合があります。

受信が終わると、「受信が終了しました」と表示されますので[OK]をクリックします。

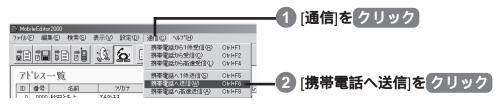
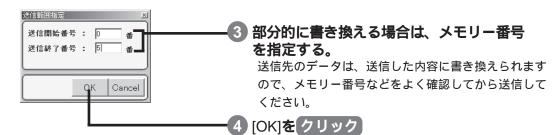
お願い
すでに画面上にアドレス一覧が表示されている場合、「携帯電話から受信」を実行すると画面上の内容は消えます。(「携帯電話から1件受信」を選んだ場合は、指定したデータが画面上のアドレス一覧の末尾に追加されます。)

7 電話帳を編集する。

変更したい項目にポインターをあわせてダブルクリックすると、文字を入力できます。

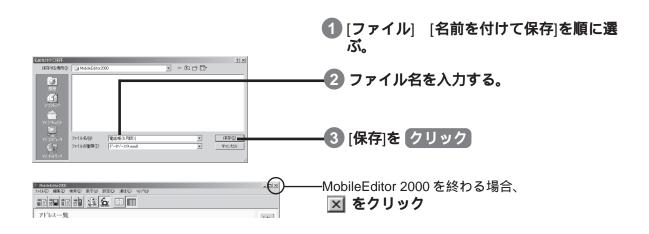
電話帳に追加する場合は、▼ をクリックして電話帳の末尾を表示して入力します。

8 パソコンで編集した電話帳を携帯電話に送信する。

3 部分的に書き換える場合は、メモリー番号を指定する。
送信先のデータは、送信した内容に書き換えられますので、メモリー番号などをよく確認してから送信してください。

4 [OK]をクリック

送信が終わると、「送信が終了しました」と表示されますので、[OK]をクリックします。

9 電話帳（アドレス一覧）をパソコンに保存して、終了する。

パソコンに電話帳を保存せずにMobileEditor 2000を終了すると､パソコンで編集した内容は、消えてしまいます。保存しておくと、変更があればすぐにファイルを開き（[ファイル]→[開く]）、編集して携帯電話に送れるので便利です。

10 携帯電話の電源を切り、ケーブルを取り外す。

・ケーブルの取り外しかた　『一問一答集』「携帯電話で接続したい」

ヘルプの使いかた

いろいろ

さくいん

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

著作権について

●放送やCDその他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
従って、それらから録音したMDやCD（CD-R）を売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	tel（03）3481-2121
北海道支部	tel（011）221-5088
盛岡支部	tel（019）652-3201
仙台支部	tel（022）264-2266
長野支部	tel（026）225-7111
大宮支部	tel（048）643-5461
上野支部	tel（03）3832-1033
東京支部	tel（03）3562-4455
西東京支部	tel（03）3232-8301
東京イベントコンサート支部	tel（03）5286-1671
立川支部	tel（0425）29-1500
横浜支部	tel（045）662-6551
静岡支部	tel（054）254-2621
中部支部	tel（052）583-7590
北陸支部	tel（076）221-3602
京都支部	tel（075）251-0134
大阪支部	tel（06）6244-0351
神戸支部	tel（078）322-0561
中国支部	tel（082）249-6362
四国支部	tel（0878）21-9191
九州支部	tel（092）441-2285
鹿児島支部	tel（099）224-6211
那覇支部	tel（098）863-1228

（2001年4月1日現在）

●市販されているビデオ、印刷物、インターネットなどから取り込んだ画像データ、MotionDV STUDIOのサンプル画像データなどは個人として楽しむもののほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。